

第七十四回帝國議會
衆議院
軍馬資源保護法案外一件委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和十四年二月十六日(木曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事佐藤謙之輔君 理事河野 一郎君

理事土田 莊助君 理事中野 寅吉君

理事大石 倫治君

森田重次郎君 松尾 三藏君

服部 英明君 鈴木憲太郎君

遠山 房吉君 小串 清一君

坪山 德彌君 小笠原八十美君

池田七郎兵衛君 服部 岩吉君

永田 良吉君 中野 寅吉君

陣 軍吉君 山崎 常吉君

野溝 勝君 富吉 榮二君

三木 武夫君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣兼拓務大臣 八田 嘉明君

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

對滿事務局長 原 邦道君

內務政務次官 漢那 憲和君

內務省警保局長 安藤狂四郎君

陸軍少將 中村 明人君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

農林參與官 林 讓治君

馬政局長官 荷見 安君

馬政局事務官 伊藤莊之助君

拓務省拓務局長 安井誠一郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
馬政局事務官 佐々木 登君
馬政局技師 左々田伴久君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軍馬資源保護法案(政府提出)

種馬統制法案(政府提出)

競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)

提出)

○東委員長 是ヨリ開會致シマス——森田重次郎君

○森田委員 一番最初ニニツノ議案ヲ提出サレタ其ノ心構ヘニ付テ、一言御伺シタイ

コトガアリマス、軍部ノ方ノ方ト農林省ノ方ニ御伺致シタイノデスガ、ソレハ何カシ

ラ此ノ二ツノ法案ガ、此ノ事變關係ノ一ツ

ノ應急策トシテノ臨時立法デモアルカノヤ

ウナモノガ、此ノ内容ノ中ニ含マレテ居ル

ト思ハレル節ガアル、併シハ馬政計畫ノ

上カラ考ヘマシテモ、相當長イ間ノ計畫ヲ

持ツ譯デゴザイマスカラ、此ノ兩案ヲ審査

スルニ當リマシテ、今ノ事變ト云フコトヲ

拔キニ致シマシテ、平時ニナツタ場合ニモ

尙且ツ此ノ法案デ馬産計畫ノ實現ガ出來ル

カ、斯ウ云フコトデ議論シテ行カナイト、

何カシラソコニ議論スル以前ニ假定的ナモ

ノガアツテ、ソコニハ觸レナイデ今ハ事變

ダカラ我慢シテ宜イデハナイカト云ツタヤ

ウナモノガ、何カソコニ附加ツテ來ルノデ

ハナイカト思ハレル節ガアリマス、其ノ意

味ニ於テ私ハ臨時立法デハナイノダ、隨テ

將來事變ガ落付イタ時ノ場合ヲ想定シタモ

ノトシテ、此ノ全般ヲ審議シテ行クコトガ

大事ナコトデハナイカ、サウ云フ立場カラ

批判シテ見タイ、斯ウ云フノデゴザイマス

ガ、當局ノ其ノ點ニ關スル御意見ヲ御伺致

シタイ

○荷見政府委員 只今ノ御質問ノ點デアリ

マスガ、是ハ最初提案ノ理由ノ説明ノ際ニ

付託議案
軍馬資源保護法案(政府提出)
種馬統制法案(政府提出)
競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)

大臣カラモ申上ゲタト思フノデゴザイマス

ガ、今回ノ支那事變ノ結果、未曾有ノ多數

ノ馬ヲ使用致シマシタ經驗カラ、又同時ニ

之ニ關シテ周到ナル調査ヲセラレマシタ陸

軍ノ研究ノ結果、第二次馬政計畫ヲ以テシ

テハ十分デナイ點ガゴザイマスノデ、其ノ

馬政ノ變更ヲ要スル點ニ付テ軍ノ意向ヲ決

定シテ、農林省ノ方ニ御要求ガアツタ譯デ

アリマス、私共モ其ノ御要求ハ最も合理的

ナルモノデアリ、緊急ニ實行スベキモノデ

アルト考ヘマシタノデ、馬政調査會ニ付議

致シマシテ、第二次馬政計畫ヲ改變致シマ

シテ、茲ニ新シク内地馬政計畫ヲ確立致シ

タヤウナ次第デゴザイマス、尙ホ國際情勢

等ニ於キマシテモ、滿洲、支那等トノ密接

ナル關係モアリマスノデ、日滿ニ互リマシ

テノ馬政ノ國策ヲ決定スル必要ガアリマシ

テ、是モ昨年ノ七月企畫院ニ關係官省ノ者

ガ集合致シマシテ、日滿ニ互ル馬政ノ國策

ヲ決定致シ、内地外地滿洲各、適當トスル所

ニ隨ツテ、分擔スル馬政ノ要綱ト云フモノ

ヲ決メタノデアリマス、ソレハ御手許ニ差

上ゲデアリマス日滿支ニ互ル馬政國策ニ依

ツテモ明瞭ナモノデアリマス、ソレデ日滿ニ互ル馬政國策等モ決マリ、又陸軍ノ方ノ馬政ニ關スル御要求モ決定致シマシテ、ソレ等ヲ參酌致シマシテ内地馬政計畫モ決定致シマシテ、其ノ馬政計畫ヲ遂行スルガ爲メ必要ナル法案ガ、茲ニ提出サレタ譯デアリマスノデ、御尋ノヤウニ此ノ二法案ハ、固ヨリ臨時的ノモノデハナイノデアリマス、隨テ第二次馬政計畫ニ於キマシテハ、計畫ニ年限ガ附シテアツタノデアリマスケレドモ、是ハ國策ノ存在スル限り變改スベキモノデナイト云フ見解カラ、今回ノ内地馬政計畫ニ於キマシテハ之ニ期限ヲ附シマセヌ、唯是ガ實行方法ニ付キマシテハ、内地馬政計畫要領ニ於キマシテ、昭和十四年度ヨリ昭和二十年度ニ至ル要領ヲ定メタノデゴザイマス、其ノ實行方法ニ付キマシテハ、實施ノ經過或ハ其ノ他各般ノ情勢ニ依ツテ、若干ハ變更スルコトガアルカモ知レヌト云フノデ、計畫要領ハ差當リ年度ガ附シテアル譯デアリマス、併シ只今デハ之ニ付キマシテモ、變改スベキヤウナ考ハ當局ノ間デハ持ツテ居ラナイ、斯様ナ次第デアルノデアリマシテ、只今御尋ノ此ノ軍馬資源保護法案並ニ種馬統制法案ノ二法案ハ、決シテ臨時的ニ之ヲ爲スト云フヤウナ次第ノモ

ノデハナイノデゴザイマス
尙ホ此ノ際附加ヘテ申上ゲテ置キマス、今回ノ内地馬政計畫ガ、第二次馬政計畫ニ比較致シマシテ變ツテ居リマス著シイ點ハ、從來馬政計畫ニ於キマシテハ、馬ノ生産改良ノ方ニ主力ヲ注イダノデゴザイマスルケレドモ、今次事變ノ經驗等ニ鑑ミマシテ生産以後、詰リ生産セラレマシタル國內保有馬ノ資質ノ向上ヲ圖ツテ置クト云フコトガ、又最モ重要ナル一ツノ方法デアルト云フコトヲ確信致シマスノデ、生産ノ方面ニ付テモ國ノ力ヲ注グベキハ勿論デアリマスケレドモ、生産以外ニ於キマシテモ、尙ホ國內保有馬ノ資質ノ向上ヲ圖ルト云フコトヲ一大重要項目ト致シマシテ、計畫ニ織込シデアル次第デアリマス、隨テ今回ノ此ノ二法案ハ御話ノヤウニ勿論恆久的ノ問題デアリマス、アリマスケレドモ、直チニ現時ノ情勢ニ對應シテ、其ノ效果ヲ發揮シ得ルヤウナ組織ノモノデアリマスカラ、時局ニハ無關係ノモノデハナイノデアリマシテ、此ノ際ニ生産力ノ擴充ヲ圖ル方法トシテノ種馬統制關係、或ハ軍馬ノ資質ノ向上、國內保有馬ノ資質ノ向上ヲ圖ル方面ノ軍馬資源保護法案ハ、只今ノ時局ニ適應致シマシテモ最モ有效ナル手段デアル、之ヲ將來久恆的ニ考ヘ

マシテモ亦最モ適切ナル手段デアラウ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、現在ノ時局ニモ、將來恆久的ノ制度ト致シマシテモ、共ニ適切ナル法案ト考ヘマシテ、御審議ヲ願ツテ居ルヤウナ次第デアリマス
○中村政府委員 只今ノ問題ニ關シマシテ、軍カラモト云フ御要求デアリマス、軍ノ言ハント欲スル所ハ全ク只今農林當局ノ御説明ノ通りデアリマス、現下不動ノ國策ニ順應致シマシタ確固不動ノ計畫デアリマシテ、決シテ一時的ノモノデナイト云フコトヲ確ク信ジテ居リマス、其ノ不動ノ國策ノ變化シナイ限り、此ノ馬政計畫ハ不動ニ持續セラルベキモノト信ジテ居ル、決シテ今次事變ノ爲ト云フヤウナ、局限セラレタ臨時的ノモノデハナイノデゴザイマス
○森田委員 大變ニ御丁寧ナ御答辯デアリマスガ、私少シ長イ質疑ヲ致シタイと思ヒマスカラ、政府ノ方ノ御態度モ一ツ成ベク簡單ニ御答下サツテモ満足致シマス、私ノ今御伺ヒ致シマシタ要點ハ其ノ點デハナイノデ、詰リ斯ウ云フコトヲ御伺ヒ致シタイノデス、此ノ案デ行クト、或ル場面デハ馬産家ガ相當手痛イ打撃ヲ受ケルノデハナイカト云フコトデス、ソコデ此ノ犧牲ハ將來若シ平和時代ニナツテモ、ズツト負擔スル

モノダト云フコトニナルト、果シテドウカ、今ノ場合有ユル方面デ犧牲ヲ受ケテ居ルノデスカラ、今ノ場合ナラバ一般ガサウ云フ犧牲ヲ受ケテ居ルノダカラト云ツテ、問題ニシナクテ宜イノデス、其ノ意味デ生産家ノ經濟的ナ立場カラ見テ、私ハ將來平和ニナツテ、ズツト後ニ至ルマデ馬産家ガ犧牲ヲ受ケルヤウナコトダト、困ル場合ガ發生シテ來ハシナイカ、其ノ點ヲ考ヘテ私等ノ此ノ案ヲ探究スル一ツノ心構ヘ、私ノ方ノ考ヲ申上ゲテ、將來ノ事マデ想定シテ行ク意味デ、一時的ノ立法ヂヤナイノダ、サウ見テ行ツテ宜イノカ、斯ウ云フコトヲ御尋致シタ次第デアリマス、ソレヲ簡單ニ一ツ……
○荷見政府委員 簡單ニ御答致シマスガ、私ハ今回ノ馬政計畫ノ改變ハ、一般馬産家ト致シマシテハ第二次馬政計畫ニ比較致シマシテ、却テ有利ナ方向ニ動イテ居ルノデアリマシテ、從來ヨリハ其ノ負擔モ輕減サレルモノト考ヘテ居リマス
○森田委員 ソレデハ其ノ問題ハサウ云フコトニ承リマシテ、刑事局長ニ對シテ、外ノ方ノ委員會ニ御出席ニナラレルサウデゴザイマスカラ、簡單ニ御伺致シタイと思ヒマス、ソレハ軍馬資源保護法ノ中ニ、競技ノ

競走ヲサセル場面ガアルノデスガ、是ハ一ツノ競馬ナノデアリマス、所ガ此ノ競馬ノ條件ガ、私等ノ方ノ眼カラ見ルト云フト、相當嚴格ナ制限ヲ受ケテ行ツテ居ルノデアリマシテ、果シテ此ノ通りデ競馬興味ト云フヤウナモノガ、持テルカドウカ、其ノ結果競馬興味ガ持テナイト云フコトニナルト、馬ノ値モ上ラナイ、馬ノ値ガ上ラナイト云フコトハ生産ノ方ニ直グ響ク、斯ウ云フ考ヘ方ニナリマス、ソコデ此ノ競馬興味ヲ持タセル爲ニハ、或ル點マデ之ヲ緩和シテ戴カナケレバナナイト思フ、所ガ聞ク所ニ依リマスと云フト、司法省ト内務省ノ態度ガ相當強硬ナノデ、ソレデ斯ウ云フ風ナ制限ニナツタト、斯ウ聽イテ居ルノデアリマスルガ、此ノ競馬ニ對シテ一體司法省ガドウ云フヤウナ御考ヲ御持チニナツテ居ラツシヤルカ、其ノ點ヲ一ツ……

○松阪政府委員 只今ノ御尋デゴザイマスルガ、多分本法案ニ於テ金額ハ三圓ニ限定シ、一人一枚ニ限ルト云フ點ガ、極メテ嚴重デアルト云フ御趣旨グラウト存ジマス、競馬ノ興味ヲ唆リ之ヲ盛ニスルト云フ上カラ申セバ、之ヲ緩和スルト云フコトモノノ考ヘ方ニハ相違ナイノデアリマスルガ、御承知ノ如ク此ノ競技ニ對シ優等馬票ヲ販賣

スルト云フコトハ、刑法上ノ立場カラ申シマス、一種ノ本質的ニハ賭博行爲或ハ富籤行爲ニ當ルベキモノデアリマシテ、之ヲ本法ニ於テ除外スルノデアリマスカラ、競馬ノ賭博性或ハ富籤タルノ規定ヲ排除スルコトニナルノデアリマス、隨テ社會風教上ノ立場カラ見マスと云フト、相當ヤハリ嚴重ナル制限ヲ設ケルト云フコトモ、風教ノ維持上已ムラ得ザル次第デアリマス、今日ノ社會情勢、或ハ經濟事情、若クハ貨幣價値ノ點カラ見マスレバ、先ヅヤハリ三圓程度、或ハ一人一枚ニ限ルト云フ點ガ、最モ妥當デアルト司法當局デハ考ヘテ居ル次第デアリマス、之ヲ緩和スルト云フコトハ餘リニ射倖心ヲ挑發スルノ危險ハナイカ、馬ノ方モ大切デアリマスガ、社會風教ノ維持ト云フコトモ亦大切デアリマスカラ、是等ノ點ヲ考慮致シマシテ、此ノ邊ヲ以テ妥當デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○森田委員 此ノ間資料ヲ戴イタノデアリマスルガ、ソレニ依リマス、競馬ニ於テ惹起シタル問題ニ關スル件ト云フ表ノ中ニ、千葉、東京、京都、兵庫、愛知、此ノ邊ニ三百件カラ二百件前後ノ事件ガアルヤウデアリマス、是ハ主ニドウ云フ事ガ、事件トシテ摘發サレテ居ルカト云フコトガ一ツ、

ソレカラ埼玉縣ニ於テ千六百九十二件ト云フモノガ事件ニナツテ居ルヤウデアリマス、斯ノ如ク著シイ檢舉ガアツタト云フコトハ、一體ドウ云フ所ガ問題ニナツテ、サウ云フ風ナコトニナツテ居ルノカ、其ノ實情ヲ御伺致シマス

○松阪政府委員 只今ノ問題デアリマスルガ、競馬ノ犯罪ハ色々ゴザイマスルガ、所ニ依リマシテハ多ク個人間ニ於テ、馬券賣買ヲヤルト云フヤウナコトガアリマスルガ、埼玉縣ニ於テキマシテ千何百人ト云フ多數ノ違反ヲ起シマシタノハ、専ラ地方競馬ニ依リマスル一人ノ者ガ數枚ノ馬券ヲ買ツタト云フノガ、犯罪ニナツテ居リマス、元來申セバ二枚以上ハ總テ處罰シナケレバナラヌノデアリマスルガ、餘リニモ違反ガ多カツタ爲ニ、極メテ程度ノ低イ枚數ノ少イモノハ、事情ヲ斟酌シテ起訴猶豫ニシタモノモゴザイマスルガ、數ノ多イモノハソレトノ罰金ニ處シタト云フ事情ニナリマシテ、斯ク多數ノ違反者ヲ檢舉シ、且又處罰ラシタト云フ事件ガ起ツタノデゴザイマス

○森田委員 ソコデモウ一ツ御伺致シタイノデスガ、此ノ競馬ノ害惡ノアルモノダト云フコトハ、是ハドナタモ異存ノナイ所ダト思フノデゴザイマスガ、併シ一面又軍馬

ノ確保ト云フコトモ、國策上極メテ重要ナコトダト思フ、其ノ制限ノ内容ヲ見マスルト、一縣一箇所ト云ツタヤウナ制限ニナツテ居ル、所ガ一縣一箇所デハ競馬ニナラヌ所モ、場合ニ依ツテハ發生シテ來ルノデヤナイカト思ハレル、ソレハ地方ノ殆ド此ノ競馬ナドニ餘リ興味ノナイヤウナ所デハ、競馬トシテハ成立タスグラウト思フ、所ガ東京デアルトカ其ノ他六大都市附近ニ於テハ、競馬トシテハ相當ノ興味ヲ持ツ人ガアルノデアリマシテ、是ハ競馬トシテハ立派ニ成立ツテ行クト思フ、其ノ一縣一箇所ト云フノハ非常ニ公平ノヤウデハアルガ、競馬ノ方面カラ見ルト云フト値打ガナイ、六大都市ノ附近デハ成立ツ、其ノ成立ツト云フ所ガ一般的ニ馬ノ値段ヲ上ゲルト云フ結果ニナツテ來ルノデ、其ノ點ハ相當重要ナル馬產計畫上ノ一ツノ有力ナ條件ニナツテ居ルノダト私等ハ考ヘル、ソコデ私等ハ此ノ點ニ對シテハ、マダ相當深究シ有ユル方面カラ御伺シテ見タイト思フノデアリマスガ、此ノ條件ヲ緩和スルノデナケレバ、私ハ此ノ案ハ將來行詰リガ生ズルト云フノガ、私ノ意見ナノデス、サウ云フ點ガモウ少シ客觀的ニ論證サレテ居リマスルナラバ、司法當局ニ於テハ必要の害惡ノ程度ニ依ツテ、

或ル點マデ條件ヲ緩和スルコトニ、國策上御賛成ニナツテモ宜シイノデヤナイカ、斯ウ私ハ思フノデゴザイマスガ、其ノ點ニ對シテ一ツ御意見ヲ御伺シタイ

○松阪政府委員 馬政ノ立場或ハ競馬の興味ヲ持タセ、延イテハ馬ノ生産ニ便益ヲ與ヘルト云フ點カラ申セバ、御意見洵ニ御尤ト思フノデアリマスガ、ヤハリ私共ノ立場カラ致シマスルト、其ノ方モ必要ダガ、社會ノ風教ヲ維持スル、所謂射倖心ヲ餘リ挑發スルコトノナイヤウニト云フコトモ亦、

是レ國家の見地ヨリ大切ナ事デアリマスルカラ、其ノ方面カラ考ヘマスルト、先ヅ此ノ法案ノ程度ガ最モ妥當適切デヤナイカト考ヘテ居リマス、此ノ點内務當局トモ打合せタ上デ、左様ニ決定シタ次第デアリマスコトモソレデ終リマス

○森田委員 刑事局長ニ對スル私ノ質問ハソレデ終リマス

○東委員長 森田君、拓務大臣ニ對スル御質問ヲ……

○森田委員 多分御急ギダラウト思ヒマスカラ、拓務大臣ニ御質問致シマス、ソレハ馬トノ關係ニ付テ色々御伺シタイコトガアルノデアリマスガ、一番先ニ御伺シタイコトハ、滿洲ノ農業經營デス、其ノ農業經營ト云フノハ、動作ヲ共同ニスルトカ何ト

カ云フ意味デナク、仕事ヲシタ後ノ全部ノ責任ノ歸著點ヲ何處ニ置クカ、斯ウ云フ意味デ經濟上ノ最後ノ責任ヲ、誰ガ負ウカト云フ主體上ノ關係デ私ハ御伺シタイノデスガ、露西亞ノヤウナ組合農業、或ハ國營農業ト云ツタヤウナ譯デ、一遍ハ國家ニ其ノ責任ガ歸著スル、或ハ其ノ組合ニ其ノ責任ガ歸著スル、然ル後ニ之ヲ分配スルト云ツタヤウナ一ツノ農業經營ノ方法モアルト思フ、ソコデ滿洲ニ於テハ露西亞ノヤウナ組合農業ト云ツタヤウナモノヲ建前ニスル經營ノ方法ヲ、御執リナサルノデアルカ、ソレトモ一家族單位ノ經營ト云フコトヲ基本ニシテ、指導原理ヲ御立テニナツテ居ラツシヤルノデアリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○八田國務大臣 滿洲ニ於ケル日本移民ノ農業經營ニ付キマシテハ、勿論露西亞ノ集團ノ組合經營ト云フノデアリマセス、全ク一家族ノ經營デアリマス、唯或ル土地ニ共同ノ農耕ヲ致シマシテ、其處ハ自然其ノ經營及ビ收支等ニ於テハ、共同的ニ計畫サレルコトニ相成ルト思ヒマス、ソレカラ又必需品ノ購買デアリマスとか、或ハ生産サレタ物ヲ他ニ販賣スルト云フヤウナ點ニ於キマシテハ、無論共同的ノ制度ヲ執ツ

テ行クト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス

○河野委員 一寸議事進行デ發言ノ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス——最近承ル所ニ依リマス、滿洲國ニ於キマシテ雜穀類ノ輸出

統制稅ヲ、設置セラレルヤニ承ツテ居ルノデアリマスガ、而モ此ノ問題ハ非常ニ緊迫致シテ居リマシテ、今月ノ中ニ實施セラレルヤニモ承ツテ居ルノデアリマス、所ガ御承知ノ通り、現在既ニ國內ニ於キマスル馬糧、家畜飼料等ノ騰貴ハ、未ダ曾テ見ザル所マデ行ツテ居ルノデアリマス、而モ此ノ際ニ滿洲國ニ於キマシテ大豆、大豆粕其ノ他ノ雜穀ノ輸出ニ關シテ、稅ヲ課セラレルヤウナコトニナリマス、是ガ國內ニ及ボス影響ト云フモノハ非常ニ大キイノデアリマス、吾々マダ其ノ内容ヲ詳カニ致シマセ

スノデ、茲ニ論議ノ餘地ハナイノデアリマスガ、事苟モ非常ニ我ガ農村ノ經濟ニ重大ナル關係ガアルノミナラズ、特ニ馬政畜政ノ上ニハ重大ナル關係ガアリマスノデ、此ノ機會ニ於キマシテ、私ハ委員長ヲ通ジマシテ、午後ノ委員會ニ陸軍大臣ト申シマスカ、對滿事務局總裁ト申シマスカヨリ、此ノ内容ニ付テ詳細ニ御説明ヲ願ヒマシテ、之ヲ十分ニ拜聽致シタイト考ヘルノデアリマ

ス、尙ホ其ノ機會ニハ御説明ノ如何ニ依リマシテハ、適宜質問モ御許シ願ヒタイト思ヒマスガ、委員長ニ於テ然ルベク御取計ヒヲ願ヒタイト思ヒマス、宜シク願ヒマス

○東委員長 承知シマシタ、適當ニ取計ラヒマス——森田君

○森田委員 ソレデハ續ケマス、ソコデ其ノ一家族單位ノ農業經營ダト斯ウ言ツテ居ルガ、サウシテ相當廣面積ニ互ツテソレニナルノデアリマスカラ、人間ノ力ヲ以テシテハ耕作ガ困難ダト云フコトモ、亦、自然ノ數ダト思フ、結局農業耕作上ノ動力ヲ何處ニ御求メナサルカ、此ノ點ニ對シテ將來ノ御方針ヲ承リタイト思ヒマス

○八田國務大臣 滿洲ニ於ケル日本ノ集團移住地ニ於ケル所ノ農耕法ニ付テハ主トシテ馬耕ニ依ルヤウニ考ヘテ居リマス、尤モ馬其ノモノノ供給ト云フヤウナコトニ關係モアリマスノデ、急激ニ總テガサウ云フ風ニナルト云フコトハ、申上ゲ兼ネルノデアリマスケレドモ、考ヘ方ト致シマシテハ、決シテ機械ニ依ル米國式ノ大農法ト云フヤウナモノニハ依ラナイト云フコトデアリマスノデ、大體ニ於テ只今申上ゲタヤウナコトニナルノデアリマス、一部ノ共同耕作地ニ對シマシテハ、或ル程度ノ機械農業ヲ

スルト云フコトガ考ヘラレテ居ルヤウデア
リマスガ、精神的ニハ日本移民ガ自ラ自分
ノ手ニ依ツテ、アノ大地ヲ耕作シテ行ク、
斯ウ云フ信念カラ出發致シマシテ、サウシ
テ馬耕ヲ以テ是ガ開拓ヲ致シテ行ク、只今
ノ所デハ主トシテ蒙古ノ馬、又日本ノ馬、
又朝鮮ノ牛ヲ使用シテ居ルヤウナ次第デア
リマス

○森田委員 サウスルト結局馬ノ力ヲ中心
トセル勞働力ニ依ツテ、滿洲ノ農業ガ行ハ
レルト云フコトニナルノデアリマスレバ、
馬ト云フモノハ極メテ重要ナ役割ヲ持ツコ
トニナルト思フノデアリマス、ソレニ對シ
テ現在滿洲ニアル馬、或ハ蒙古馬、サウ云
ツタヤウナモノニ依ツテ、是ハ十分ダト云
フ御考ナノデアリマスカ、ソレトモ内地カ
ラ相當數持ツテ行クノデナケレバイカスト
云ツタヤウナコトニナルノデアリマスカ、
其ノ點ニ對スル御答ヲ得タイト思ヒマス

○八田國務大臣 昨年マデハ馬ノ供給ハ滿
洲ノ拓植公社ガ取扱ヒマシテ斡旋シ、供給ヲ
致シテ居ツタノデアリマス、昨年以後ハ滿洲
ニ滿洲畜産會社ト云フモノガ創設サレマシ
テ、其ノ方デ馬ヲ供給スルト云フヤウナ風
ニ變ツテ來テ居リマスノデ、只今マデハ比
較的日本ノ馬ノ數ハ少イノデアリマス、併

シナガラ將來ニ於テハ是ハ段々増加サレテ
行クト思フノデアリマス、勿論是ハ日本カ
ラ移住致シマスル農民ノ戸數ノ増加ト共ニ、
又耕地ノ開拓サレテ行キマスル其ノ面積ニ
比例致シマシテ、増シテ行クト云フコトニ
相成ルノデアリマス、勿論先程來馬政局長
官ノ御話ニアリマシタ如ク、日滿間ノ馬政
ノ問題モ他ノ日滿間ノ産業ノ一貫的政策カ
ラ、總テ決定セラレテ居ルノデアリマス、
其ノ邊ノ詳シイコトハ、拓務省トシテハ御
話スル自由ハ持ツテ居リマセスガ、要スル
ニ日滿間ノ産業ノ全體カラ、サウ云フ問題
モ決定サレ、而シテ日本ノ移住地ニ於テソ
レガ利用サレテ行ク、斯ウ云フコトニ相成
ルト思ヒマス

○森田委員 今ノ點デ、モウ少シ御同致シ
タイノデスガ、日本カラ行ツテ居ル移民ノ
馬ノ問題ダケデナク、滿洲ノ農業ト云フコ
トハ、日本ノ内地ト有無共通ノ關係カラ
考ヘテモ、原料地トシテハ極メテ重要ナル
役割ヲ持ツテ居ルト思フノデアリマス、隨
テ獨リ移民ノ關係ヲ中心トシタル議論ダケ
デナク、滿洲全體ノ農業計畫トシテ考ヘマ
シテモ、私ハ早急ノ間ニ相當ノ開拓ヲシテ
行カナケレバナラスノデハナイカ、サウス
ルト馬ノ需要ト云フモノハ相當多イト思フ

ノデアリマス、尤モ今内地カラ持ツテ行カ
ウトシテモ、内地サヘ足リナイト云フノデ
アルカラ、是ハ萬已ムヲ得ナイコトデアリ
マセウ、兎ニ角母體ト致シマシテモ内地
ノ方ガ多イノデアリマスカラ、結局内地カ
ラ或ル年限以後ハ、馬ヲ相當持ツテ行クト
云フコトヲ中心トシタモノデナイト、此ノ
動力ノ供給ト云フモノハ十分デハナイカ、
斯ウ云フコトガ私ノ考ヘ方デアリマス、ソ
レニ對スル御考ハ如何デゴザイマスカ

○八田國務大臣 只今御尋ノ件ハ、日滿間
ノ馬政問題ニ關聯スルコトデアリマスカラ、
農林省又ハ對滿事務局ノ方カラ、御答シテ
戴クコトニ致シタイト思ヒマス

○森田委員 私ノ拓務大臣ニ對スル質問ハ
是デ終リマス

○服部英委員 只今ノ問題ニ關聯シテ御
尋致シタイ——只今拓務大臣ノ御説明ニ依
ルト、滿洲國ニ於ケル農業ハ米國式ノ機械
的耕作ニ依ルニアラズシテ、主トシテ馬耕
ニ依ツテ之ヲヤルノデアアル、斯ウ云フ御趣
旨ハ能ク分リマシタガ、マダ滿洲國ヘハ相
當移民ヲ爲スト云フコトモ承知致シテ居リ
マス、ソレニ對シテハ色々ノ援助補助ヲ與
ヘルト云フコトモ承ツテ居リマスガ、單ニ
農業ニ從事スル人バカリデハナク、既ニ馬

耕ヲ基礎トシテノ農業ヲ、目的トシテ居ル
ノデアルト云フコトニナリマス、此ノ馬
耕ニ對スル指導、即チ技術者ト云フモノガ
相當必要ニナルモノト考ヘマスガ、是等ノ
者ガ滿洲ニ參ツテ其ノ業ニ就キタイト云フ
場合ニハ、單純ナル農業移民ト異ナツテ、
特別ナル手當乃至ハ援助ヲ爲サルト云フヤ
ウナ御心持ハナイノデアリマスカ、ソレニ
由ツテ以テ此ノ渡滿シテ是等ノ業ニ從事ス
ル者ヲ、優遇スルト云フ考ハナイノデアリ
マスカ

○安井政府委員 只今ノ御質問デアリマス
ガ、今畜産ノ技術者ヲ各移住村ニ一人ヅツ
附ケマシテ、畜産ノ方ノ指導ヲサシテ居リ
マス、サウ云ツタ特殊ノ技能ヲ持ツテ居ラ
レル人ガアリマスレバ、ソレハ非常ニ希望
致シテ居リマス、私ノ方ト致シマシテハ非
常ニ歡迎シテ居リマシテ、移住ノ指導者ト
シテ——普通ノ移民デナク、移民團ノ指導
者トシテ御願ヒスルコトニナツテ居リマス
○服部英委員 御希望ニナツテ居ルコト
ハ分リマシタガ、ソレニ對シテ物質的援助
トカ、何カ特別ノ手當等ガ行ハレテ居リマ
スカ、或ハ將來行ハレマスカ
○安井政府委員 是ハ拓務省ノ囑託ニナツ
テ居リマス、普通ノ移民デナクシテ囑託ト

致シマシテ、毎月々々其ノ經歷學歷等ヲ參酌致シマシテ、適當ノ待遇ヲ致シテ居リマス

○大石委員 關聯シテ一寸伺ヒタイ——滿

洲拓士ハ五箇年十萬戸移植ノ御計畫ニナツテ居リマスガ、現在ニ於テハマダ幾ラモ行ツテ居ラナイノデアリマス、所ガ滿洲移民ノ最モ不自由ヲシ、又望ンデ居リマスルノハ、日本ノ内地馬ノ供給デアリマス、只今森田君カラ御尋ガアリマシタガ、實際滿洲ノ移民地ヲ觀察致シテ見マスルト、滿洲畜產會社ガ馬ノ供給ヲスルト云フノデアリマスカラ、是ハ大抵滿洲馬ノミヲ買ヒ集メテ供給ヲスルノデ、中々ソレニハ満足ガ出來ナイ、第一言葉ノ關係カラ、滿洲馬ノ操縦ニモ相當ノ年月ヲ費サナケレバ鍛鍊出來ナイ、第一能力ニ於キマシテ、ドウシテモ内地馬ノ二分ノ一ニナラス、大體五分ノ二位ノ能力シカナイト云フノデアリマス、或ハ六分ノ二——三分ノ一位ナ能力ヨリ發揮ガ出來ナイ、經濟上カラ言ヒマシテモ、詰リ飼料ノ關係或ハ厩舎トカ色々關係カラ言ヒマシテモ、滿洲人ノ滿洲馬ヲ飼育スルヤウナコトハ、日本人ニハ習慣上出來ナイ、ヤハリ滿洲馬ヲ買ヒ求メマシテモ、内地ニ於ケル飼育管理ノ習慣付ケラレタルコトヲ、ド

ウシテモ通レルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、其ノ飼育管理費ト云フモノハ、滿洲人ガ滿洲馬ヲ飼育管理シテ居ルヨリハ、遙ニ多イノデアリマス、左様ニ飼育管理費ガ多イノニ、能力ガ五分ノ二デアルトカ、或ハ三分ノ一ヨリナイト云フノデアリマシ、不慣レデアリマスカラ、ドウシテモ内地馬ヲ欲シイト云フノデアリマスガ、此タビ馬政局ニ於ケル日滿支一體ノ馬政計畫ヲ立デテ、相當數ヲ内地ヨリ滿洲、北支方面ニ供給スルノデアリマスガ、其ノ數ガ到底私共ハ内地馬ノ補充ヲスル上ニ於キマシテモ、實現性ガ容易デナイト考ヘテ居リマス、假令ソレガ一年一萬或ハ二萬頭ヲヤリマシテモ、中々移民ノ五箇年十萬戸計畫ニハ、大海ノ一粒モ同様デアルト思フノデアリマス、殊ニ内地馬ノ移植ニ付キマシテハ、内地ニ於ケル馬ノ値段ノ騰貴ニ伴ヒマシテ、相當ノ政府及ビ滿洲國ノ力強キ助成ガナケレバ、實現ガ不可能ダラウト思フノデアリマス、ソレ等ニ對シテ大體一年ドノ位ノ移民ニ對シテ、ドノ位ノ馬ヲ供給スルカ、其ノ供給ノ手段方法ニ付テハ、ドレ程ノ力ヲ御入レ下サルカ、其ノ點ノ御計畫ガアルナラバ、御伺シタイト思ヒマス

○八田國務大臣 只今御話ノ移民ノ計畫

ハ、二十年間百萬戸ノ計畫ノ第一期トシマシテ、五箇年間十萬戸ト云フコトデ進ンデ居リマスノデ、是ハ其ノ通り進ムコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、ソレニ伴ヒマシテ、馬耕ニ依ラナラバ十分馬ヲ育成シテ供給シテ行カナケレバナラスデハナイカト云フ點ニ付キマシテハ、御考ノ通りデアリマス、唯如何ナル數ヲドウ云フ風ニヤツテ行クカト云フコトニ付キマシテハ、只今茲ニ申上ゲル自由ヲ持ツテ居ラスノデアリマス、要スルニ日滿間ノ總括的ナ此ノ計畫ノ下ニ、移民地トシテ必要ナル馬耕ニ必要ナル畜產ヲ出來ルダケ供給シテ行ク、サウシテ之ヲ農耕ニ使ツテ行クト云フ考デゴザイマス、數等ニ付キマシテハ、私ヨリ申上ゲル自由ヲ持ツテ居リマセス

○大石委員 數ハ御發表出來ナイト云フコトナラ、敢テ追究ハ致シマセスガ、其ノ供給ノ方法手段ニ付キマシテ、日本ハドウ云フ態度ヲ以テヤリ、滿洲國ハドウ云フ助成ヲ以テヤルト云フヤウナ、モウ少シ力強イ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、殊ニ移民スル者ニ對シテ、所謂滿洲拓士ニ對シテノ力強キ御計畫ヲ、承リタイト思ヒマス、滿洲ノ畜產組合ノ如キハ、第一ニ移民ニ對スル馬ノ供給ノ必要ニ非常ニ迫マラレテ居リマシ

テ、ドウシテモ馬ノ供給ヲシナケレバナラスト云フノデ、昨年三千頭バカリ馬ヲ買入レタ、所ガ昨年ノ夏、例ノ滿洲ノ鼻疽ニ罹ツテ一遍ニ四百頭倒レタ、ソレハ會社側ト滿洲畜產局トノ病原鑑定ガ違ツタノデアリマシタガ、結局ハ鼻疽デアルト云フコトニ結論付ケラレタノデアリマス、移民ハ馬ノ能力ガ不足デアル外ニ、左様ニ危險ナル鼻疽ト云フモノヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、折角畜產會社ガ移民ニ對シテ馬ノ供給ヲ受取ラスノデ、會社デモ困ツテ居ル、第一ニ移民ニ供給スベク會社ガ作ラレ、馬ガ求メラレ、サウシテ供給スルト移民ガソレヲ喜バス、之ニ一番困ツテ居ル、寧ろ軍隊ノ御用ニデモ入レル方ガ早イト云ウヤウナ、逆ナ結果ヲ見テ居ルノデアリマス、此ノ鼻疽ト云フ恐ルベキ傳染性ノ病氣ガアリマサルシ、日本人ニハ鼻疽ト云フモノノ經驗ガナイノデアリマス、偶、日本馬ト支那馬ト滿洲馬ト一緒ニ置カレタリ旁、スルト、忽チ之ニ胃サレル、滿洲馬ハ鼻疽ニハ相當ノ抵抗カヲ持ツテ居リマスケレドモ、日本馬ニハ抵抗カト云フモノガ全然ナイノデアリマスカラ、此ノ供給關係ハ餘程面倒ナ「デリケート」ナモノデアルト思フノデアリマス、

折角邊境開拓ノ爲ニ將來ニ望ヲ懷イテ、去リ難キ墳墓ノ地ヲ去ツテ、サウシテ寒イ北滿洲ニマデ行キマシテ、此ノ難事業ニ從事スル拓土ヲシテ、安心シテ此ノ開拓ノ大業ニ從事セシムルコトノ出來ルカ否カハ、此ノ馬ニ非常ナル關係ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、拓務大臣トシテハ此ノ點決シテ看過スベカラザルモノデアツテ、是ハ單ニ馬政局ノ仕事デアルトカ、滿洲ノ馬政局ト日本ノ馬政局サヘヤレバ宜シイト云フヤウナコトニハ、參ラスト思フノデアリマス、之ニ對シテ拓務省トシテドウ云フ工合ニナサルカ、モウ少シ力強い御計畫及ビ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○八田國務大臣 滿洲ニ於ケル日本移住者ノ將來ニ對シマシテ、畜産ノ問題ガ非常ニ重要性ヲ持ツテ居リ、而シテ滿洲ニ於ケル所ノ畜類ノ防疫ト云フヤウナ問題ニ對シマシテハ、今御話ノ通り洵ニ是ハ重要ナル問題デアルト思ヒマス、隨ヒマシテ今ノ豫定計畫ヲ遂行致シテ參リマスルノニハ、只今御指摘ノ點ニ對シマシテハ、移民事業ヲ擔當致シテ居リマス拓務省ト致シマシテモ、十分慎重ナル注意ヲ拂ハナケレバナラスコトハ、御話ノ通りニ考ヘテ居リマス、今日ハマダ日本馬ノ數モ御承知ノ如ク極メテ少イ

ノデアリマス、今後はガ段々増加セラレ、又他ノ畜類ト相俟チマシテ、是ガ彼ノ地ニ適スルヤウニ改善セラレテ行カナケレバナラスト云フコトニ付キマシテハ、吾々ト致シマシテモ十分考ヘテ居ルノデアリマス、先程申上ゲタノハ——即チドノ位ノ數ガドンナ風ニ増シテ行クカト云フコトニ付キマシテハ、私カラ申上ゲマシタ通り日滿間ノ馬政ノ全體ノ計畫ト睨ミ合セテ、之ニ順應致シマシテ、サウシテ之ヲ利用シテ行ク點カラ申上ゲタノデアリマスガ、畜類其ノモノト農耕其ノモノトノ關係ニ於キマシテハ、十分ナル改善ヲ圖リタイ、日本ノ移住者ガ彼ノ地ニ永劫ニ其ノ土地ニ親ミ、而モ經濟的ニモ精神的ニモ立派ナ成績ヲ擧ゲルト云フ見地カラシテ、有ユル點ニ注意ヲ拂フコトニ付キマシテハ、全ク御話ノ通り考ヘテ居リマス

○大石委員 ドウモ御話ハ大變宜イヤウデアリマスケレドモ、計畫ノ内容ハ餘リニモ貧弱過ギル、殆ド是マデ馬ト云フモノヲ左程重要ニ拓務省デハ御扱ヒニナツテ居ラスヤウナ感ヲ抱クノデアリマス、滿洲拓土ハ此ノ内地戀シサニ所謂歸還ヲ望ム者モアリマスガ、御國ノ爲ニ殆ド兵隊モ同様ノ決意ヲ以テ、サウシテ向フニ難行苦行ヲ致シテ

居ル、ヤハリ日常接スル畜類ノ如キモ、彼等ノ得ント欲スル所ノ懷シキ郷土色ノアル馬ガ、實際必要デアリマスノミナラズ、只今申上ゲマシタヤウナ關係カラ、單ニ考ヘマス位デハイカスト思フノデアリマシテ、是ハ拓務省トシテ、モツト馬政局ト踏込シテ協調連絡ヲ保タレテ、モウ少シ具體的ノ御計畫ヲ進メラレンコトヲ希望シテ、拓務大臣ニ對スル關聯質問ヲ終リマス

○三木委員 關聯事項デ一寸……滿洲移民ニ對シテ拓務省モ色々國策的ニ御指導相成ツテ居ルヤウデアリマスガ、地方ニ於テ一番問題ニナツテ居リマスルコトハ、滿洲移民トシテ或ハ戰列部隊トシテ、滿洲ニ移住シタ場合ニ、少クトモ家族ヲ呼寄セルノニハ一年ト申シテ居リマスケレドモ、二三年掛ツテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、サウシマス、若シ生活ニ餘リ困窮ラシテ居ラナイ移住者デアツタ場合ニハ、自分ガ滿洲ニ移住シタ後ノ家族ノ生活ト云フコトニ對シテハ、不安ガナイノデアリマスガ、事實上トシテ移住サレル方々ノ大部分ハ、自分ガ移住シタナラバアトノ家族ノ生活ニ不安ヲ感ズル人々ガ多イノデアリマシテ、之ニ對シテ拓務省トシテ折角移民ヲ御獎勵ニナリナガラ、アトニ殘ル家族ノ生活ニ對

シテ何等ノ保障ノナイト云フコトハ、分科計畫ヲ致シマシタ時ニ、各村長ガ困リ抜イテ居ル問題デアリマシテ、全部ノ移住者ニ斯ル生活ノ扶助ヲスル必要ハナイノデアリマスガ、特ニ困窮シタ移住者ノ家族ニ對シテハ、何等カノ方法デ生活ノ不安ナカラシメルト云フ扶助ガナケレバ、私ハ移住計畫ト云フモノハ成功シニクイト思フ、殊ニ今回ノ馬政計畫ニ依リマシテ、年々三万頭ノ馬ヲ滿洲ニ送ルト云フ御計畫ノヤウデアリマスガ、サウシマス、其ノ馬ノ運賃ト云フコトモ、自然移住者ニ轉嫁サレル結果ニナツテ、益、移住者ノ負擔ヲ重クシテ家族ヲ呼寄セニモ年限ガ掛ルコトナキヤ懸念致シマシテ、家族ノ生活問題ハ一層大キナ問題ニナリハシナイカト思フノデアリマス、之ニ對シテ拓務大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○安井政府委員 私カラ答辯ヲ申上ゲマス、只今ノ御質問ノ點ハ全ク御意見ノ通りデアリマシテ、先年來モ斯ウ云ツタヤウナ御意見、御希望モ出タノデアリマス、實ハ實際ノ經驗ヲ考ヘテ見マス、今マデ割合ニ數年來出マシタ數ガ少カツタモノデアリマスカラ、實際ノ問題トシマシテハ、サウ緊切ヲ致シテ居ラナカツタノデアリマス、ソレ

ガ昨年、本年來大キイ計畫ニナリマシテ、五

スカ

千、六千ト出ルヤウニナリマス、御意見

○森田委員 マダ澤山アリマスガ、先程ノ

ノ通りノ問題ガ大分眞劍ナ問題ニナツテ參

私ノ質問ニ對シテ、拓務大臣ガ分ラナイト

リマシテ、是ハドウシテモ將來ニ對シテ相

言ハレタ點ノ答辯ガアリマスガ……

當ノ解決ノ方法ヲ考ヘナケレバナラヌト云

○荷見政府委員 滿洲ノ馬資源ノ問題ニ付

フコトヲ考ヘテ居リマス、差當リマシテハ、

キマシテハ、再々申上ゲテアルカト考ヘマ

マダ何分大變ナ數デハナク、實ハ分村計畫、

ヒマス、是ハ日滿ニ互ル馬政國策ニ依リマ

分郷計畫ニ依リマスアノ計畫ハ、農林省ノ

シテ、有事ノ際國軍所要ノ軍馬ノ供給ヲ容

經濟更生指導ノ補助ノ經費ヲ、或ル程度マ

易ナラシムルト共ニ、努メテ産業上ニ及ボ

デ使フコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、

ス支障ヲ少カラシムル爲、左ノ要項ニ依リ

サウ云フ點ヲ、農林省ノ更生部ト御相談ヲ

速ニ日滿ヲ通ジ、馬ノ生産及ビ分布ノ調整

申上ゲマシテ、今ソレヲ援用スル旁、村ノ

ヲ圖リ、以テ馬資源ノ培養充實ニ努ムト云

皆サンノ協力、御援助ヲ得テヤツテ居リマ

フノガ、日滿馬政國策ノ根本デアリマス、

スガ、御意見ノ點ハ近キ將來ニ於テ是非ト

有事ノ際必要トスル軍馬資源ヲ滿洲ニ移植

モ考ヘナケレバナラヌト思ツテ、十分研究

スルト云フコトガ、一ツノ國策ニナツテ居

スル積リデアリマス

ルノデアリマス、而シテ之ニ對應致シマシ

○三木委員 ソレハ各地方ノ財政ヲ以テシ

テ、内地馬政計畫並ニ内地馬政計畫要領等

テハ、地方財政難ノ今日、町村デ其ノ家族

ニ依リマシテモ、滿洲ニ於キマスル馬政ト

ノ扶助料ヲ與ヘルト云フヤウナコトハ至難

絶エズ緊密ナル協調ヲ保持致シマシテ、軍

デアリマシテ、ドウシテモ大量移民ヲ國策

馬資源ノ培養並ニ改良ノ促進ニ付キ、積極

トシテ徹底サス爲ニハ、移住者ノアトニ殘

的援助ヲ圖ルト云フコトニナリマシテ、其

シタ者ノ生活ヲ不安ナカラシムルト云フ方

ノ具體的方策ト致シマシテハ、滿洲等ニ對

策ヲ講ジナケレバ、移民政策ハ行詰ルコト

シ戰列部隊所要ノ有能馬ノ輸出ヲ圖ル外、

ト私ハ考ヘル、特ニ拓務當局ノ深甚ナル御

其ノ地方ノ馬ノ改良ニ必要ナル種馬ヲ供給

考慮ヲ願ツテ置ク次第デアリマス

致スト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、

○東委員長 森田君、御質問ハマダアリマ

其ノ有事ノ際必要ナル軍馬資源ノ供給ト云

フコトヲ致スコトニナルノデアリマスガ、

併シナガラ之ヲ同時ニ滿洲ニ於ケル拓土、

即チ移民ノ使役馬ヲラシメントスル計畫ヲ

立テテ居ル次第デアリマス、其ノ移植數ハ

只今此ノ席デ申上ゲルコトヲ、御許シ願ヒ

タイト思フノデアリマス、其ノ種類ハ軍用

適格馬ナドト共ニ、農業經營上支障ナキモ

ノヲ選ブコトニナツテ居ルノデアリマシテ

移植ノ方法等ニ付テハ、日滿關係當局デ協
議中デアリマス、移植ノ機關ハ、日本ニ於
テハ馬政局ガ指導致シマシテ、之ヲ帝國馬
匹協會ニ行ハシメル積リデアリマス、滿洲
國ニ於キマシテハ日本國ノ馬政國策ニ即應
シテ、適切ナル馬政計畫ヲ事實實行サレテ
居ルト信ジテ居リマスケレドモ、此ノ席上
ニ於テ私カラ答辯ヲ申上ゲルコトハ出來マ
セス

○小串委員 先刻森田君カラ馬政計畫ノ根
本ニ觸レテノ御話ガアリマシテ、先刻來ノ
御答辯ヲ承ツテ居ルト、要スルニ今度ノ馬
政計畫ハ日滿ヲ中心トシテ、ソレニ依ツテ
戰時ニ必要ナル馬ノ資源ヲ養ヒ、更ニ農業
生産其ノ他ニモ裨益スルヤウニ、馬政計畫
ヲ立テルト云フコトデアリマシタ、恰度陸
軍ノ方モオキデスガ、今度ノ計畫ハ兎ニ角
戰役ノ實驗カラ、斯ウ云フ計畫ヲ御立テニ
ナツタノデアリマスガ、日滿ノミヲ以テシ
テ果シテ軍ノ要望サレルヤウナ資質ノ馬、
而モ何處ノ戰爭ニモ役立ツヤウナ馬ガ出來
ルカドウカ、私共素人ハ疑問ニ思ツテ居ル
ノデアリマス、ト申シマスノハ東北、北海
道ノ馬ハ、九州ニ行クト病氣ニ罹リ易イト
云フヤウナコトデ、今度ノ戰爭デモ鍛鍊ノ
不足其ノ他色々原因ガアリマセウガ、暖
地ニ育ツタ馬ハ暖イ所デハ能ク動クガ、寒
イ所ニ行クト困ルト云フヤウナコトヲ聞イ
テ居ル、今ヤ我が皇軍ハ既ニ廣東、南支方
面ニ大活躍ヲシ、又御承知ノ通り海南島モ
占據シヤウナ次第デ、日本ノ大陸政策ト
云フモノハ、要スルニ北方西比到亞ノ方面
カラ、南方ハ佛領ニ接スルマデノ間ニ及ビ
又如何ナル事變ガ起ルカモ知レナイ、斯ウ
云フ場合ニ於テ、單ニ日滿ノ馬政計畫ノミ
ニ依ツテ、何處ノ戰爭ニモ適當デアルト御
考ヘニナツテ居ルコトハ、ドウ云フモノカ、
私ハ馬ノ種類ニ於テモ今後陸軍ノ要望ガ、
幾ラカ變ツテ來ルノデハナイカト思フガ、
ソレトモ今回計畫ヲ立テラレタ所ノ馬ガ、
如何ナル場所ニモ適當ニ使ヒ得ルモノカド
ウカト云フ點ヲ、詳シク御説明願ヒタイト
思フノデアリマス

○荷見政府委員 只今主トシテ御質問ノ要

點ガ、滿洲ノ關係ニアルヤウニ承知致シマシタノデ、コチヲノ方面ヲ詳細ニ申上ゲマシタガ、其ノ方面ガ如何ニモ手落デアルカノ如クニ、御聽取リニナツタカト思ヒマス、御承知ノ通り内地馬政計畫ト云フモノハ、滿洲ト云フモノト關聯ハ致シマスガ、内地「プロッパ」ノ仕事ヲ實行致スコトニナツテ居リマス、尙ホ只今御話ノ問題デアリマスガ、蒙疆或ハ支那等ニ付キマシテモ、廣ク考量致シテ居ル次第デアリマスケレドモ、此ノ内容ハ此ノ席上デ御答辯スルコトヲ、御遠慮申上ゲタイト思ヒマス、

尙ホ馬政計畫ノ建前ハ、馬政國策ニ基キマシテ、要スルニ將來馬ノ產地或ハ供給地トシテノ内地、竝ニ滿洲其ノ他ニ於ケル生産ノ調整ト云フコトモ圖ツテ行キマスコトハ、恆久的ノ國策トシテ實行スル上ニ於テ極メテ適當デアルト考ヘマスノデ、内地ニ於テハ内地ニ於ケル種馬ノ資源ト、卓越セル馬ノ生産技術ヲ利用致シマシテ、戰列部隊所要ノ有能馬ノ供給ニ努メルコトヲ、主眼ニ致シテ居ル譯デアリマス、此ノ點ダケ私カラ申上ゲテ置キマス

○中村政府委員 同一ノ御質疑ニ對シマシテ、軍部カラモ御答ヲ致シテ置キマス、洵

ニ我國ハ有難イコトニ北ハ占守カラ南ハ臺

灣ニ及ビ、今ヤズツト南ノ方マデ勢力ガ伸ビントシツツアリマス、好馬產地ト致シマシテハ固ヨリ東北ニ重點ヲ置イテ居リマスガ、馬ノ分布ニ於キマシテハ西方、南方ニ於キマシテモ九州アリ琉球モアツテ、現戰役ニハ何レモ多數ノ馬ガ參加ヲシテ居リマス、デアリマスカラ幸ヒサウ云フ天與ノ資源ノ分布ニアルト云フコトモ、非常ナ強味デアリマス、ソレカラ又本計畫ガ逐次確立ヲシテ行クニ隨ヒマシテ、外地ノ馬政計畫モ亦段々修正改變スルヤウニ、指導ヲシテ行クコトモ必要デアルト思ヒマス、デアリマスカラ日滿ト擧ゲタカラ日滿ダケニ限ルト云フヤウナ小サイ考デハナクテ、最初ニ申上ゲマシタ通り不動ノ國策ニ順應致シマシテ、要スレバ逐次ニ修正加除ヲシテ、只今御話ノヤウナ御心配ノナイヤウニ十分ニ努メル覺悟ハ致シテ居リマス、終リ

○小串委員 只今ノ御答ノ通り、サウ云フ御覺悟ハアルデゴザイマセウガ、先刻馬政局長官ノ御話ニ依ルト、今回御提出ノ二法案ニ依ツテ、永久的ニ日本ノ馬政ヲ確立スルノデアツテ、決シテ戰時ダケノ應急のモノデナイト云フコトデアリマスガ、此ノ

馬政國策ノ有ユル方面ニ、日滿及ビ外地ト云フコトガ見受ケラレマス、サウシテ見ルト此ノ種馬統制法ニ依ル所ノ種馬若クハ種馬所ト云フモノハ、琉球ニモ置ケバ臺灣ニモ置ケ、何處デモ其ノ馬ノ種類血統ニ依ツテ育成サレテ、ソレガ安南ノ近所ニ行ツテモ一向差支ナク働ケルト云フヤウナ御安心ガアルカドウカ、ソコガ私ニハ今ノ説明デハ分リマセヌカラ、其ノ點ヲ一ツ

○荷見政府委員 只今御審議ヲ願ツテ居リマス兩法案ハ、内地關係ニ適用スル積リデ、立案ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、朝鮮、臺灣、樺太等ニ付キマシテハ、之ヲ直ニ適用スルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ

○小串委員 幾度モ御尋スルヤウデスガ、要スルニ私ハ軍ノ或ル相當ナ獸醫監カラ馬ト云フモノハ、ドウシテモ氣候風土ニ適シタヤウニ育成セヌトイケナイ、今度ノ戰爭デモソレガ爲ニ隨分能率的ニ困ツタコトガアルト云フコトヲ伺ツタ爲ニ、御注意ヲ申上ゲタノデアリマス、唯此ノ法律ハ、サウ云フ必要ガ起レバ、又其ノ時ニ適當ニヤルト云フコトデアレバ、大體此ノ法律ノ趣旨ハ主トシテ日滿ヲ考ヘテ立テアルノダト云フコトニ承知致シマシテ、私ノ質問ヲ止メマス

○森田委員 先程關聯質問デ間ガ切レタノデアリマスガ、結論トシテ斯ウ御伺シテ宜イノデゴザイマスガ、日滿一體トナツテ馬政計畫ナルモノヲ御立テニナルト云フノデスガ、結局内地カラ相當數ノ馬ヲ滿洲ニ持ツテ行クノデナクラハイケナイノダ、デスカラ年々向フノ方ニ相當ノ馬ヲヤルノダ、其ノ數ハハツキリ言明出來ナイガ、相當持ツテ行カナクテハイケナイノダ、斯ウ御伺シテ宜イノデゴザイマスガ

○荷見政府委員 只今モ申上ゲマシタヤウニ、ソレハ國策ト致シマシテ、外地及ビ滿洲國ニ對シテ、内地ノ馬政ガ戰列部隊所要ノ有能馬ヲ供給スルコトヲ擔任致スト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ恆久的ノ方策デアリマスカラ、只今御話ノ通りニ、年々戰列部隊所要ノ有能馬ヲ、相當數外地及ビ滿洲國ニ供給スルト云フコトニ、御承知ヲ願ヒマス

○森田委員 少シ根本的ナ問題デ、農林大臣ニ御伺シタイト思フノデスガ、農林大臣ハ御出席ガナイヤウデアリマス、併シ警保局長ガ御見エダサウデゴザイマシテ、先程司法省ノ刑事局長ニモ御伺致シタノデスガ、同ジヤウナコトニナリマスケレドモ、御伺致シタイ、私等ノ見解ヲ以テシマスレバ、軍馬資源ノ確保ト云フコトハ極メテ重要ナ

コトダ、サウシテ此ノ負擔ト云フモノハ、國家モ負擔スベキデアルト同時ニ、無論馬産家ノ方モ或ル程度マデノ犧牲ヲ甘受シナケレバナラヌモノダ、斯ウ考ヘテ居リマス、併シ出來ルダケ國家ノ負擔モ少クシ、同時ニ又馬産家ノ方ノ犧牲モ少クシテ、所期ノ目的ヲ達スルト云フコトガ、最も巧妙ナ政治ノヤリ方ダト考ヘル、ソコデ其ノ一番良イ方法ハ何カ、一番ト言フノハ語弊ガアリマスガ、最も重要ナル方法ハ何カト云フト、競馬ヲヤラセルコトダト思フ、是ハ明ニ道德的ナ方面カラ考ヘテ、善イ方法ダトハ考ヘマセヌ、併シナガラ是ハヤハリ哲學的ニ言ヘバ、必要のナ害惡ダト思フ、必要のナ害惡ダト云フコトハ認メマスガ、一方現實的ニ國家ガ要求シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ風紀上ノ點カラ考ヘタコトト、國家ノ經濟上ノ逼迫シタ財政關係ノ上ニ立ツターツノ現實のナ要求トノ妥協點ハ、何處カニアル筈ダト思フ、所ガ今回ノ軍馬資源保護法案ナルモノヲ見マスト、舊來ノ地方競馬ナルモノニ相當ノ制限ヲ加ヘテ居ル、斯ウ云フ風ニ制限ヲ加ヘラレタノデハ、競馬ノ興味ト云フモノガナクナル、競馬興味ガナクナルト云フト、馬ノ値ガ高クナラナイ、馬ノ値段ガ高クナラナイト馬産家ガ立ツ

テ行カナイ、馬産家ガ立ツテ行カナケレバ、ヤハリ生産力ノ擴充ト云フコトニナラナイノダ、ソコデ私ハ内務省モ此ノ國策ニ準ジテ、サウシテ妥協點ヲ少シ引下ゲテ貰ヒタイ、斯ウ云フノガ私ノ狙ヒ所ナンデス、ソコデ内務省ガ此ノ案ニ對シテ、地方競馬ヨリモ更ニ局限シタヤウナ御主張ヲ爲サツタラシイヤウニ聞イテ居ル、サウスルト何カ根據ガアツテノコトダラウト思フ、其ノ根據ヲ一ツ御伺致シタイ、是ガ一點デアリマス、更ニ競馬ニ於テ惹起シタル問題ニ關スル件——ドウ云フコトガ問題ニナルノデ内務省ガサウ云フ御主張ヲ爲サルノカト云フノデ、私資料ヲ戴イタノデアリマスガ、此ノ資料ニ依リマスルト、北海道ハ三十四件、福島ハ十四件ト云フノデ、地方ハ極メテ少イノデス、所ガ埼玉縣ニ於テ千六百九十二件ト云フモノガ舉ツテ居リマス、是ハ先程刑事局長ニ一寸御尋致シマシタケレドモ、刑事局長ハ直接取締ノ衝ニ當ツテ居ラスラシイノデ、極メテ漠然トシタ御答辯デアツタノデスガ、一體是ハドウ云フヤウナ御取扱ヲナサルノデスカ、他ノ方ハ多クテモ三百件、四百件ト云フニ拘ラズ、埼玉縣ダケガ千六百九十二件、是ハ恐ラクハ警保局ナリ或ハ内務省ノ方カラ、何カ內面的ナ

指示デモアツテ、サウシテ特ニ之ヲ摘發シタト云ツタヤウナコトニデモナツテ居ルノカ、或ハ風紀上ノ問題カラ、イカスト云ツタヤウナコトデアルノカ、ドウモ特ニ埼玉ガ多イト云フノハ、何カ其處ニ弊害ガ特別ニアツタノカト云フヤウナ點ニ付テ、私共ハ相當疑問ヲ持ツテ居ル、是等ノ點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○安藤政府委員 只今森田サンカラノ御質問ノ第一點デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、先刻刑事局長カラモ續、御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、成程馬産ノ獎勵デアリマストカ、馬事施設ノ擴充デアリマストカ、殊ニ現下ノ事情ニ鑑ミテ、今度ノ國策ヲ立テマス上カラ考ヘマスレバ、確ニ馬券ノ發賣ト云フコトモ、相當考慮シナケレバナラヌ問題ト思ヒマス、唯又一面國家風教ノ上カラ考ヘマシテ、此ノ點モ亦國民生活ノ上カラ極メテ重要ナコトデアリマスルノデ、此ノ點ニ付キマシテハ司法省トモ私共十分協議ノ上、サウシテ先ツ現在ノ狀況カラ見テ、馬券ノ價格ヲ大體三圓位ニスルコト位ナ所デ折レ合フノガ、適當ヂヤナイカ、結局是ハ程度ノ問題デアリマスルガ、ヤハリ現在ノ狀況カラ考ヘマシタナラバ、其ノ程度ガ適當ヂヤナイカト云フ見方ニ依リマシ

テ、サウナツテ居ル次第デアリマス、ソレカラ第二點ノ御尋ニ付キマシテハ、是ハ私モ具體的ノ問題ヲ今詳シク存ジテ居リマセヌケレドモ、地方競馬ノ取締ニ付キマシテハ、地方長官ニ大體一任シテアリマスノデ、或ハ府縣ニ依リマシテ、其ノ取締ノ實際ノ手心ニ多少ノ、ソコニ寬嚴ガアルカトモ存ジマス、左様ナ點カラ致シマシテ、或ハ埼玉縣ニ於キマスル取締ガ相當嚴重デアツタ結果、又弊害モ相當大キカツタ結果、今御舉ゲニナリマシタヤウナ、非常ニ多數ノ違反者ガ出テ居ルノデハナイカト存ジテ居ルヤウナ次第デアリマス

○森田委員 只今ノ御説明デスト、馬券關係ノ御説明ガアツタヤウデアリマス、サウスルト内務省ノ御主張ナサルノハ、馬券關係ガ中心ナノデゴザイマスガ、例ヘバ一區デナケレバナラヌノダトカ、或ハ其ノ走ル管區ト言ヒマスガ、其ノ管區以外ニ馬ヲ持ツテ行クノダト云フコトニ付テハ、別ニ御反對ニナラナイノデゴザイマスガ

○安藤政府委員 大體内務省ト致シマシテハ、射倅心ノ誘發ヲ餘リ盛ナラシムルト云フコトヲ、出來ルダケ避ケタイト思ヒマス、其ノ點カラ申シマスト、主トシテ今ノ投票券ノ金額ト云フコトガ、一番重要ナ點

ニナツテ來ルト思ヒマス、併シナガラ又御話ノヤウニ、サウ云フ射倖心ヲ誘發スル機會ノ多イト云フコトモ、是モ亦一應内務省トシテハ考ヘナケレバナラヌ點デアリマスルガ、重點ト致シマシテハ、主トシテ金額ノ點ヲ最モ重ク考ヘテ居ル次第デアリマス

○森田委員 諒承致シマシタ、私ハ是デ宜シウゴザイマス

○小串委員 一寸關聯事項デ伺ヒマスガ、只今警保局長ノ御答辯ガアリマシタカラ、私モ之ニ關シテ別ノ意味カラ御尋致シタイノデアリマス、其ノ前ニ一寸申上ゲマスト、地方競馬ガ出來テ以來、色々ナ犯罪事件ガアリマシタコトハ、大體私モ調べテ居リマスガ、此ノ數年前ニハ犯罪ノ種類モ色色アツテ、詐欺行爲デアルトカ、暴力行爲デアルトカ云フヤウナコトガアツタ、近來ノ地方競馬ニ於ケル檢舉事實ト云フモノハ、先ヅ馬券ノ數枚買ヒ——一枚以上買ツタト云フコトニ歸スル、此ノ點ハ公認競馬ニ於テモ、大體同ジヤウデアリマス、公認競馬ハ二十圓デアリマスケレドモ、ヤハリ公認競馬デモ年々全國十一箇所ニ於テ、三四百件ノ其ノ種ノ——外ノノミ屋トカ、色々ナモノヲ公認デハ行ツテ居リマスガ、其ノ中ノ大部分ガ、ヤハリ馬券ヲ餘計買ツタト云フコトニ歸スルヤウデアリマス、地方競馬ニ於テモ、ヤハリ近來ノ違反ト云フコトハ、先ヅ馬券ヲ餘計買フト云フコト、先刻刑事局長モ出デニナリマシタガ、相當司法省ノ方面デ、競馬ニ對シテ御研究ニナツタ御意見モ、私共聽イテ居リマスガ、要スルニ此ノ競馬ト云フモノヲ全國均一ニ考ヘテ來ル時ニ、私ハ此ノ三圓ハ必ズシモ現在ノ狀況デ御判斷ニナツテ居ルコトハ、無理トハ思ハヌ、思ハヌガ現在地方デヤツテ居ルノハ、東北方面トカ云フヤウナ方面デハ、一圓ノ馬券デモ五十錢ツツ集メテ馬券ヲ投票シテ居ルト云フヤウナ實例ガ澤山アル所ガ東京附近デアルトカ大阪、京都トカ云フヤウナ、大都會附近ニ於ケル競馬ノ觀衆ト云フモノハ、ドウモ一圓デハ満足ガ出來ナイト云フコトデ、二圓三圓或ハ五圓ト云フモノヲ投ズルヤウニナツテ居ルノガ實際デアリマス、デスカラ當局者ニ於テ之ヲ御決定ニナリマスニハ、ヤハリ地方ノ狀況ニ依ツテ、五圓デハ大變ニ困ル地方モアリ、三圓デモ困ル所モアルト思フ、デアカラ全國一面ニ、之ヲ許可スル場合ニハ、法ノ上デハ私ハ五圓以內ト云フ位ニスルノガ至當デヤナイカ、併シ五圓ナラバ射倖心ヲ誘發シテ、非常ニ惡イコトヲスル奴ガ殖

エルケレドモ、三圓ナラバ宜イト云フコトニ考ヘルノハ、是ハ程度ノ問題デモアリ、考ヘ方デモアリマスガ、私ハ一體一律ニ三圓以內トアリマスガ、最高ヲ三圓トスルコトハ現在ノ狀態デハ無理デハナイカ、多少地方競馬ト云フモノガ他ノ射倖行爲、賭博行爲ト云フヤウナモノヲ緩和シテ、サウ云ツタ方面ノ人ヲ幾ラカ止メサセルト云フコトニナリ、地方競馬ガ盛ンデアツタ地方ニ於テハ、サウ云フ他ノ種類ノ犯罪ガ少クナツタト云フ實例モ聞イテ居リマス、ソシナコトカラ考ヘテ、之ヲ三圓デナクテハナラヌト云フヤウニ御決定ニナツタノハ、無理デハナイカ、全國的ニ考ヘタラ、モウ少シ彈力性ヲ持タセルノガ本當デヤナイカト云フノガ、是ハ私ノ意見デアリマスガ、現在ノ犯罪ハ地方競馬ガ非常ニ整備サレテ、外ノ惡イ犯罪ハ、私ハ方々見テ歩キマシタガ、ナイヤウデアリマス、唯數枚買ヒガ問題ニナツテ居ルノダカラ、此ノ數枚買ヒニ於テ或ル緩和ヲシタナラバ、寧ロ風教ノ上ニモ却ツテ穩カニナルノデヤナイカト云フヤウニモ、考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ警保局アタリノ御考ヲ、此ノ場合承ツテ置キタイト思ヒマシテ、關聯質問致シタ次第デアリマス

○安藤政府委員 只今小串サンノ御意見、成程ト思ハレル點モアルノデアリマスガ、法ノ上ニ於キマシテ何圓以下ト云フコトニ致シマシテ、ソコニ彈力ヲ持タセルト云フコトモ、或ハ一ツノ考ヘ方カモ知レマセヌガ、是ハ一ツノ問題ト致シマシタ時分ニ、之ヲ例ヘバ五圓ナラ五圓トシマシテモ、或ル府縣ニ於テ實際ニソレヲ執行スル際ニ、或ル府縣ハ三圓トスルト云フヤウナ事柄ハ恐ラク現在——先程森田サンノ御說モアリマシタヤウニ、馬事思想ノ普及ナリ或ハ馬產ノ獎勵其ノ他ノ施設ニ付キマシテ、經費ノ點ニ於キマシテハ必ズシモ十分デナイヤウナ現狀デアリマシタナラバ、恐ラク實際問題ト致シマシテハ、ヤハリ最高限ノ所マデ上ルノデハナイカト云フヤウナ感ジモ、致スノデアリマス、サウ云フコトニナリマス

ト、結局程度ノ問題トナリマスガ、ヤハリ私共ト致シマシテハ、法トシテハ一律ニ三圓ナラバ三圓ト云フコトニシテ、ソコニ彈力ヲ持タセマシテモ、實際ノ施行ニ於テ相當ノ支障ヲ感ズルコトガ起リハシナイカト思ヒマスノデ、サウ云フ所カラ一律ニ標準ヲ取ルト云フコトニナリ、各種ノ點ヲ考慮致シマシテ、大體三圓位ガ私共ト致シマシテハ適當ト考ヘタ次第デアリマス

○服部(英)委員 只今金額ニ付テ三圓デハ少イデハナイカ、三圓ガ至爲デアルト、色々論據ノアル所ヲ御示シ下サイマシテ、承ツテ居リマシタガ、私モヤハリ森田君ナリ、外ノ委員諸君ノ意見ノ如ク、三圓デハ今日ノ經濟狀態、貨幣價值カラ考ヘテ見デモ、少ナ過ギルト思フ、是ハ彈力ヲ持タセル意味ニ於テ、四圓以下トスル位ガ適當デハアルマイカ、是ハ最後ニ條文ノ審議ノ際ニ、或ハ修正ヲ受ケルコトニナルカトモ思ハレマスノデ、其ノ時ニ述ベルノガ至當デアルカトモ思ヒマスガ、此ノ際警保局モ御臨席デスカラ、特ニ此ノ際御許ヲ願ツテ自分ノ考ヲ申述タイト思ヒマス、要スルニ是ガ三圓以上ニナルト、風教上面白クナイヤウニ考ヘラレルカラト云フヤウナ御説ガ、其ノ根柢ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、私共考ヘテ見マスルノニ、場所ヲ限ツテ其ノ行爲ヲ行ハシムルノデアツテ、場所ニ制限ガアルノデアリマスカラ、其ノ以外ニ於テ犯罪ガ起ル筈モナイト考ヘマス、殊ニ外國ノ「モナコ」ニ於テ見マスルト、場所ヲ限ツテ賭博ガ公許サレテ居ツテ、其ノ賭博ヨリ得ル收入ガ、國庫ノ收入ノ大部分デアルト云フヤウナ例モ外國ニアルノデアリマス、私ハ風教ヲ案スヤウナ行爲ヲ助長スルコトニハ、賛成出

來マセヌケレドモ、今日ノ經濟狀態カラ見テ、又一方產馬獎勵ト云フ意味カラ考ヘテ見マスルト、是ハ勇氣ヲ振ツテ、モウ少シ引上ゲタラ宜カラウ、サウシテ緩和シタラ宜カラウト云フ考ヲ持ツテ居ル者デ、謂ハバ毒ヲ以テ藥ヲ製スル場合ガアルノデアリマスカラ、若干ノ弊害ハ忍ンデ、馬產獎勵ノ趣旨ヲ一貫シ、軍馬愛護法ノ趣旨ヲ貫徹スルヤウニ致シタ方ガ、私ハ國策上是ナルモノデハアルマイカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル者デアリマスカラ、此ノ點ニ付テハ御當局ノ御勘考ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、次ニ條文ノコトデ、今申上ゲルノハ少シ早過ギルカモ知レマセヌガ、折角御臨席デアリマスルカラ、二十五條ノ三號ニ「鍛鍊競技ニ關シ常習トシテ多數ノ者ニ對シ財物ヲ以テ賭事ヲ爲シタル者」下アルガ、此ノ「常習」下云フコトハ、ドウ云フ意味デアルノカ、是ハ警保局長ニ御伺スルノガ適當カモ知レマセヌガ、此ノ際一ツ御意見ヲ伺ヘレバ尙ホ結構デアリマス、他ノ刑法ニモ常習ト云フコトハ能ク使ツテアリマスガ、一般刑法ノ常習ト云フ觀念カラ見マスルト、競馬ナドハ連日見ニ行クノダカラ、皆引掛ツデシマフ、斯ウ云フコトニナル、是ハ一般刑事觀念ノ常習ト見ルベキカ、何カ他ノ意味ニ於テ斯ウ云

フ言葉ヲ御使ヒニナツタノカ伺ヒマス
○伊藤政府委員 「常習」ト言ヒマスレバ、數回ヤルコトガ條件ニナル譯デアリマス
○服部(英)委員 一寸此ノ點分リ兼ねマスガ、若シ委員ノ中デ、條文等ノ細カイコトハ後ニ譲レト云フコトナラ後ニ譲リマス
○小串委員 先刻ノ警保局長ノ御答辯ヲ別ニ咎メ立テスル譯デアリマセヌガ、實ハ安藤サンハ地方競馬ノコトハ大分御苦勞ナサツテ居ルノデアリマスシ、今回ノ法案ヲ作ル時分ニハ多分參加シテ居ラヤシヤラナカツタト考ヘテ居リマス、ソレデ私ノ指摘致シマシタノハ、詰リ全國均一ニヤル時ニ、實際ニ一圓デナクテハイカス所ガアルト思フ、吾々ガ全國ノ地方競馬ヲ觀察シテ居リマスノニ、一圓ヤ五十錢出シテヤツテ居ルト云フ事實モ澤山認メルノデアリマス、ソレデアルカラ地方ノ經濟狀態、民度ニ依ツテ多少ノ差異ヲ設ケテ戴キタイ、芝居ニシテモ歌舞伎ヤ何カラ見ルニハ、五圓ナラ五圓要ルケレドモ、地方ノ綴帳芝居ナラ三十錢カ五十錢デ見ラレル、芝居ト云フモノガ大衆娛樂デアルト同ジヤウニ、此ノ競馬モ一ツノ「スポーツ」デアリマシテ、是ハ單ナル賭博行爲デハ斷ジテナイコトハ明カデアリマスカラ、寧ろ其ノ狀況ニ應ジテ考ヘルノ

ガ本當デハナイカト思フ、又其ノ方ガ競馬モヤリ良クナル、併シ今此處デ議論シテ居テモ仕様ガアリマセヌ、何レ又他ノ方カラモ色々質問モアリマセウシ、後ノ人ノ時間ヲ取ツテハ相濟マスカラ、私ハサウ云フヤウナコトヲ指摘致シマシテ、何レ此ノ點ニ付テ御相談申上ゲタイト思ヒマスカラ、安藤サンニ於テモ、御經驗ニ依ル新シイ知識デ、能ク御考ヘ置キ下サルヤウニ御願シテ、私ノ質問ハ此ノ邊ニ止メテ置キマス
○大石委員 議事進行ニ付テ申上ゲマス、私ハ次ニ質問スル番ニ當ツテ居ルト思ヒマスガ、農林大臣、內務大臣、司法大臣ノ出席ヲ要求致シタイト思ヒマス、先刻刑事局長ト森田君トノ間ニ行ハレタ質問應答、只今ノ內務省ノ警保局長トノ質問應答ハ、此ノ案ノ審議上重大ナル關係ヲ持ツデハナイカト心配致シマス、衆議院ニ於テハ既ニ國策ニ伴フ實際的要求デアルコトハ、完全ニ認メテ居ルノデアリマスガ、貴族院ニ於テ萬一ニモ斯様な質問應答ガ反映シマシテ、此ノ鍛鍊競技ト云フモノノ關係ヲ逆ニ取ラレルヤウナコトガアリマシテハ、重大ナコトニナルト思ヒマスカラ、此ノ點ヲ明カニシテ置キタイト思ヒマス、ソレデ取締上ノ觀念ニ付テ司法大臣、內務大臣等ヨリ直接

御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○東委員長 大臣ハ貴族院ニ出ラレマスカラ、必ズ今日出席出來ルカドウカ分リマセヌガ、交渉シテ見マス

○大石委員 中村兵務局長ハ明日ヨリ兵器ニ關スル法律案ノ委員會ニ主トシテ出席サレナケレバナラスカラ、當委員會ヘノ出席ハ本日位ノモノダト云フ話デアリマス、デアリマスカラ午後カラノ質問ハ森田君ノ質問ノ繼續デアリマセウガ、成ベク兵務局長ニ對スル質疑ヲ主トシテ致シヤウニ御取計ヲ願ヒ、尙ホ皆様ノ御賛成ヲ得タイト思ヒマス

○河野委員 議事進行ニ付テ申上ゲマス、承ツテ居リマス、大分關聯質問ガ長クナルヤウデ、審議ガ非常ニ遅レルト思ヒマス、モウ今後ハ主管大臣以外ノ大臣ガ御出席ニナツタ場合ニ、關聯質問ヲ御認メニナルコトハ結構デアリマスケレドモ、サウデナイ政府委員ニ對スル質問ニ付テハ、關聯質問ヲ認メヌト云フコトデ、順次質問者ノ整理ヲ願ヒタイト思ヒマス、滿場ノ諸君ニ御諮リヲ願ツテ、左様ニ御願ヒシマス

○東委員長 大體サウ致シマスガ、關聯質問ヲ全部許サヌト云フ譯ニモ行カヌ場合モアリマスカラ、適當ニ取計ラツテ行キマス

○中村政府委員 私ノ出席出來ナイ間ハ、馬政課長ヲシテ説明致サセタイト思ヒマスカラ、ドウゾ御許ヲ願ヒマス

○東委員長 結構デアリマス——森田君質問ヲ繼續シテ下サイ

○森田委員 ソレデハ大臣ノ出席ノアルマデ、主トシテ條文關係ノ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、先ヅ此ノ軍馬資源保護法ノ第一條ニ關聯シテ、一寸御伺致シタイト思ヒマス、是ハ基本法ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、前ノ方々カラ御尋ニナツテ明ニナツテ居ル點ヲ除キマシテ、一ツ御伺致シタイコトハ、一體「シベリヤ」ニ於ケル「ソ聯」ノ軍馬ノ充實狀況ハ、ドウ云フヤウニナツテ居ルノデアリマスカ、其ノ點ヲ一ツ陸軍ノ方カラ御伺致シマス

○中村政府委員 「ソ」軍ノ狀況ニ付キマシテハ、此處デ申上ゲルト云フコトハ却テ國策上、又練效上ニモ適當デナイト思ヒマスカラ、御遠慮サシテ戴キマス、若シ必要ガアリマスレバ、他ノ機會ニ御譲リヲ願ヒマス

○森田委員 唯私心配スルノハ「ソビエト」ノ馬ハ、相當早イ馬ダト聞イテ居ルノデアリマス、サウスルト若シ何等カ北ノ方ニ於テ專ガ起ツタ場合ニ、再ビ早イ馬ヲ必要トスルヤウナ實情ガ起ツテ來ルノデアアルマイ

カ、サウスルト此ノ第一條ニ關聯シテノ問題ハ、國防上特ニ必要トスル馬ノ資質ト云フモノノ中カラ、輕イ早イ馬ヲ餘リ重用視シナイヤウナ、御要求ノヤウニ承ツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ、再ビ輕イ馬ガ必要ダト言ツタヤウナコトニナル、サウスルト輕イ馬ヲ重クスルコトハ、比較的容易イヤウニ聞イテ居リマスガ、重イ馬ヲ輕クスルコトハ、非常ニ困難ナコトダト思ヒマス、隨テ速モ速カニ出來ルモノデハナイト思ヒマス、サウスルト此ノ馬政計畫ト云フモノニ、再ビ變更ヲ加ヘル場合ガ生ジハシナイカト思ヒマシテ、此ノ點ヲ憂ヘルノデアリマス、ソコデソレ等ニ對シテ此處御發表出來ル範圍内ニ於テ、サウ云フ憂ガ無イナラバ無イト云ツタヤウナ點ヲ、一ツ御伺シタイト思ヒマス

○中村政府委員 只今ノ重ネテノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、第一計畫ハ變更ハナイ、動カナイト云フコトハ先程申上ゲタ通りデアリマス、今ノ御質疑ニ對シテモ、此ノ計畫ハ動キマセヌ、ソレナラバ今ノヤウナ馬ヲ作ツテ速度ガ落ちハシナイカ、斯ウ云フコトニナリマスガ、是ハ瞬間ノ速度ニ付テハ、或ハ御心配ノ點ガアルカト思ヒマスガ、軍馬トシテハ寧ロ連續不斷ナ、

數晝夜ニ互ツテモ耐ヘ得ル所ノ、詰リ持久ノ速度ヲ要求スル點ガ非常ニ殖エタノデアリマス、此ノ點ハ總テノ國防上ノ要求カラ考ヘマシテ、不動ノ方針トシテ立テラレタノデアリマス、此ノ點ニ對シマシテノ御心配ハナイト、斯ウ申上ゲテ宜イト思ヒマス

○森田委員 更ニ一點、今ノ點ニ關聯シテ御伺シタイノデアリマス、是モ或ハ道聽途說デアルカモ知レマセヌガ、南ノ方ニ於テ軍事行動ヲ起シタ場合ニ、輕イ馬ガ非常ニ能ク働イタ、ソレデ其ノ方面カラヤハリ輕イ馬モ非常ニ大事ナモノダト云ツタヤウナ議論ガ、或ル一部分ニ起ツテ居ルヤウニモ聞キマス、サウスルトヤハリ輕イ馬ヲ輕視スルト云ツタヤウナコトニ、何カ知ラ不安ナモノガ存在シヤシナイカ、斯ウ思ハレルノデスガ、其ノ實情ナド若シ御漏シ下サルコトガ出來マスナラバ、承リタイト思ヒマス

○中村政府委員 只今ノ御質問ハ、如何ナル所カラ如何ナル體驗者ガ申サレタカ、ソレニ依リマスレバ一層明瞭ニ御納得ガ行クヤウニ、御答ガ出來ルト思ヒマスガ、恐ラク長イ間船ニモ乗ラズ、適當ナ管理モシテ居ラレル馬ガ、直グ或ル地點ニ上ツタ、サウシテ使ツタ場合、使用ガ短時間デアリマ

シタラ、ソレハ非常ニ輕クテ都合ガ好カツタカトモ思ヒマス、或ハサウ云フヤウナ例デハナイカト私ハ憶測致シマス、私共ハ馬ヲ相當ニ今度ノ事變ニ使フ所ノ機會ニ恵マレマシタガ、ヤハリ結論ト致シマシテハ、

輕イモノガ宜イト云フヤウナ判決ハ、最後ニハドウシテモ得ラレスト思ヒマス、唯或ル違ツタ條件ニ於キマシテ、局部的ニ使ツタ場合ニハ、ソレハ非常ニ宜イ場合モアリマスガ、御指摘ノ場合ハサウ云フヤウナ場合デハナカツタラウカト想像サレマス、此

ノ位ノ説明シカ今ノ要素デハ御答ガ出來ナイノデアリマス、御諒承ヲ願ヒマス
○森田委員 諒承致シマシタ、第四條ニ關聯シテ御尋致シマスガ、極メテ簡單ナ質問デゴザイマスカラ、御答モ出來ルダケ簡單ニ一ツ御願致シタイト思ヒマス、第四條ノ一番最後ノ所ニ「補助金ヲ交付スルコトヲ得」ト書イテアリマス、得ト云フノデスカラ、ヤルモヤラナイモ自由ダト云フコトニナルノデスカ、サウ解釋シテ宜イノデスカ、若シ交付スルトスレバ大體金額ハドレ位カ、其ノ點ヲ極ク結論ダケデ結構デゴザイマス

○荷見政府委員 是ハ御尋ノ通りニ交付スルコトヲ得ルノデアリマスガ、吾々ノ方ト致シマシテハ豫算ヲ計上致シマシテ、年々

交付致ス見込デ居リマス、尙ホ金額ハ一頭平均三十七圓デゴザイマス

○森田委員 ソレカラ第六條ニ付キマシテ、第六條ノ第一項ニ普通鍛鍊ト云フコトガ書イテアル、是ハ事實ノ問題トシテ、ドウ云フヤウナコトヲヤツテ鍛鍊スルノカ、方法ヲ一ツ伺ヒマス、簡單デ結構デゴザイマス

○荷見政府委員 普通鍛鍊ニ付キマシテハ、昨日モ申上ゲタノデアリマスガ、普通鍛鍊ハ之ヲ壯馬鍛鍊及ビ幼駒鍛鍊ニ區分シテ行フコト、壯馬鍛鍊ハ五歳以上ノ軍用保護馬ニ就キ、幼駒鍛鍊ハ三歳及ビ四歳ノ馬ニ就キ之ヲ行フコト、但シ地方長官必要アリト認メマストキハ、明ケ四歳馬ニ付キ壯馬鍛鍊ヲ行フコトヲ得、ソレカラ壯馬鍛鍊ハ一市町村、必要アル時ハ數市町村内ニ於ケル所ノ軍用保護馬、概ネ二十頭毎ニ班ヲ組織セシメマシテ、各班毎ニ之ヲ行フコトト致シマス、但シ必要アル時ハ、數班聯合シテ行フコトヲ得ルノデアリマス、普通鍛鍊施行ノ方法ハ別ニ之ヲ定メルコトト致シマス、壯馬ノ鍛鍊ハ概ネ月二回行フコトト致シ、年二十四回以上行フコトト致シマス、但シ農繁期ハ出來得ル限り之ヲ避クルコトト致シマス、幼駒鍛鍊ハ各個ニ付テ之ヲ行フコトト致シマスガ、必要アリト認メタトキハ

班ヲ組織シテ行フコトヲ得ルノデアリマス、班ヲ組織シテ行フ幼駒鍛鍊ハ、壯馬鍛鍊ニ準ジテ之ヲ行フコトデアリマス、昨日モ申上ゲマシタガ、再應ノ御尋デアリマスカラ繰返シテ申上ゲマス

○森田委員 ソレハドウ云フ風ナコトヲヤルノカト云フコトヲ、實ハ御伺致シタイ、ト云フノハ第七條ノ第三項ニ持ツテ行ツテ「普通鍛鍊ノ施行ニ因リ軍用保護馬死亡シ又ハ傷害ヲ受ケタルトキハ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ補償金ヲ交付ス」ト斯ウアル、デアリマスカラ是ハ何カ相當無理ナコトデモヤルノカ、或ハ強行軍ヲヤルトカ、其ノ他何等カ特殊ナ方法ガアツテ、ソレガ爲ニ斯ウ云フ風ナ規定ガアルノカ、斯ウ云フ御尋ヲシタノデアリマス、ヤル方法ヲ御伺致シタイノデアリマス

○荷見政府委員 イヤ、御尋ノ點ガハツキリ致シマセヌノデ、餘計ナコトヲ申上ゲマシタ、現在モ軍用保護馬ノ鍛鍊會ヲ組織セシメマシテ、各地方デ鍛鍊ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ場合ニモ被害ガ起ルコトガ再々ゴザイマスノデ、今回モ其ノ程度デアリマシテモ損害アルコトヲ認メマシテ、斯様ニ規定ヲ致シタノデアリマス

○森田委員 モウ一點ソレニ關聯シテ御伺

致シタイコトハ、之ニ附添フ人々ノ旅費日當ト云フモノハナイノデアリマスガ、第三條ニ依リマス、前條第一項ノ檢定……云々ト斯ウ書イテアリマス、サウシテ今ノ六條ノ點ニ付テハ、何等之ニ對シテ規定ハナイノデアリマス、是ハドウ云フノデゴザイマスガ

○荷見政府委員 規定ハゴザイマセヌガ、豫算ニ一日三十五錢ノ日當ヲ支給スルヤウニナツテ居リマス

○森田委員 サウスルト、規定ヲナサツテモ宜イト云フコトニナルノデスカ、結論トシテハ規定シテハイケナイノデゴザイマスカ、旅費日當ヲ支給スルト云フ規定ヲシテハイカスト云フ何カ別ノ理由デモアルノデスカ

○荷見政府委員 軍用保護馬ニナリマセヌ前ノ分ニ付キマシテハ、命令法規ニ書イテ置クノデアリマスガ、軍用保護馬ニナリマシタ分ニ付キマシテハ、其ノ關係ハモウ命令關係デ十分デアルト考ヘテ居ル譯デアリマス

○森田委員 命令ノ内容トシテ規定スルト云フ意味デスカ

○荷見政府委員 ハイ
○森田委員 ソレデハ分リマシタ、ソレカ

ラ第八條ニ鍛鍊競技ト云フコトガアルヤウ
デスガ、是ハ一體ドウ云フコトヲアルノデ
スカ、鍛鍊馬競走ト云フ意味デハナイノデ
スカ——普通鍛鍊ト鍛鍊競技ト鍛鍊馬競走ト
三ツアルヤウデスガ、鍛鍊競技ト云フコト
ハ一體ドウ云フコトヲアルノデスカ

○荷見政府委員 只今鍛鍊ノ方法ト致シマ
シテ、普通鍛鍊ハ大體ニ於テ義務的鍛鍊デ
アリマシテ、全般的ニ是ハ行ハシメルコト
ヲ目的ト致シテ居ルノデアリマス、鍛鍊競
技ハ、普通鍛鍊ヲ受ケマシタ軍用保護馬ノ
能力及ビ馴致ヲ審査シ、併セテ軍馬ノ資質
ニ關スル知識ノ普及ヲ圖ルコトヲ目的ト致
シテ居ル譯デアリマス

○森田委員 私ノ御伺シテ居ルノハ、サウ
云フ抽象的ナコトデナク、具體的ニドウ云
フコトヲアルノデスカ、ソレヲ御伺シタイ
○荷見政府委員 具體的問題ニナリマスレ
バ、資源課長カラ説明員トシテ説明ヲ願ッ
タ方が宜イト思ヒマス

○佐々木説明員 只今御尋ノ點ニ付テ御答
申上ゲマス、鍛鍊競技ト申シマスノハ二通
リニ分ケマシテ、優等馬票ヲ伴ヒマスモノ
ト、伴ヒマセヌモノトアリマス、伴ヒマセ
ヌ方が今御尋ノ鍛鍊競技ト云フコトニナリ
マス、優等馬票ヲ伴ヒマス方ハ鍛鍊馬競走

ニ相成リマス、但シ其ノ實施ノ方法ト致シ
マシテハ、兩方トモ同ジヤウニ考ヘテ居リ
マス、ト申シマスノハ馬體審査ヲヤリマス、
其ノ次ニ調教審査ヲヤリマス、最後ニ能力
審査ヲアル譯デアリマス、其ノ能力審査ノ
方法ト致シマシテ、優等馬票ノ發行ヲ伴ヒ
マセヌ方ノ鍛鍊競技ニ於キマシテハ、稍
持久的ノ審査ヲ致ス譯デアリマス、優等馬
票ノ發行ヲ伴ヒマス方ハ、形ニ於テハ今ノ
地方競馬ト同様ナ能力審査ヲ實行致ス譯デ
アリマス、即チ瞬間的ノ能力ノ審査ヲ致ス
コトニ相成リマス

○森田委員 サウデハナイノデス、ソレデ
ハ私ノ方カラ問題ヲ出シマス、私ノ方デハ
馬ノ馬力競争ト云フノヲサセルノデスガ、
詰リ馬ガ荷物ヲドレダケ輓ク力ガアルカト
云フヤウナコトヲ競技サセルノデス、ソコ
デヤハリ興味ガ出テ來ルノデス、速力ノ方
ハ別ノ競争デヤツテ行ク、片一方ハ馬ノ輓
曳力ノ競技ヲサセルト云フコトモ、一ツノ
興味ガ出テ來ル場面ニナルノデス、丁度競
馬ニ類スル形ニモナルノデアリマス、サウ
云ツタコトヲ此ノ中ニ御含ミニナル御趣旨
デアリマス、此ノ點ヲ一寸御伺致シマス

○佐々木説明員 含ムコトニ相成リマス
○森田委員 ソレデハ次ニ毎回四日ト出テ

居ルヤウデアリマス、之ヲ六日ニシテ貰ヒ
タイト云フ希望ガ相當アルヤウデアリマス、
之ヲ四日ニ御限定ナサツタ理由ヲ御伺シタ
イ

○荷見政府委員 鍛鍊馬競争ニハ只今申上
ゲマシタヤウニ、普通鍛鍊ヲ經テ優秀ナル
軍用保護馬デ、地方長官ノ指定ヲ受ケタモ
ノノミガ出場スル關係、及ビ優等馬投票制
度ノ社會風教上ニ及ボス影響ニ鑑ミマシテ、
現在ノ四日デ宜シイモノト考ヘテ居リマス

○森田委員 ソレカラ一縣一區、ト云フコト
ニナルノデゴザイマスカラ、其ノ區内ニ所
在スル馬ダケヲ認メテ、他ノ管區カラ其ノ
區ヘ行クト云フコトハ、御認メナサラナイ
ノデアリマス

○荷見政府委員 鍛鍊馬競走ノ馬ヲ他管區
カラ、ナゼ出走サセヌカト云フヤウナ御話
デアリマシタガ、軍用保護馬ノ鍛鍊ハ政府
ガ之ヲ管理致シマシテ、地方長官ハ地方行
政官廳トシテ、管内ノ普通鍛鍊ノ事業ヲ執
行致シマスルト共ニ、鍛鍊競技出場馬ノ統
制ノ事務ヲモ行フモノデアリマスカラ、其
ノ管内ニ屬スル軍用保護馬ヲ、他ノ地方廳
管内ノ鍛鍊競技ニ出場セシメルコトハ、監
督上適當ナラズト認メテ居ルノデアリマス

○東委員長 ソレデハ是デ休憩致シマス、

午後二時カラ開會致シマス
午後零時三十分休憩
午後二時二十分開議

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス
○森田委員 農林大臣御出席ガナイヤウデ
アリマスカラ、細カ過ギルコトナノデ少シ
煩瑣ダトハ思ヒマスケレドモ、後デ又問題
ニナルコトガアルカモ知レナイト思ヒマス
ノデ、其ノ意味デ御伺致シテ置キマス、一
縣一箇所ト云フコトガ根本原則ニナツテ動
カヌヤウナ規定ニナツテ居ルヤウデゴザイ
マスガ、之ヲ場所ニ依ツテ例外ト云フモノ
ヲ認メタラドウカト云フ考ガアルノデアリ
マスガ、之ニ對スル御所見ヲ承リタイト思
ヒマス

○荷見政府委員 吾々ト致シマシテハ一縣
一箇所以内デ、軍用保護馬ノ鍛鍊ニ關スル
知識ノ普及トカ云フヤウナ關係ノコトハ、
十分デアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、
其ノ外何カ御理由ガゴザイマシタラ承リタ
イ

○森田委員 其ノ點ハソレデハソレダケニ
シテ置キマスガ、次ニ、一縣ニ三ツ位大抵アル
ノダサウデゴザイマスガ、ソレヲ一ツニヤル
ノデアリマスカラ、一回ノ出走日數ノ四日ト
云フモノヲ、モウ少シ延バスヤウナコトニ

シテ、ソコヲ緩和スルコトが必要デハナイカ、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ對スル當局ノ御所見ヲ承ツテ置キタイ

○荷見政府委員 ソレハ軍用保護馬ノ鍛鍊ノ關係ノ方カラ申シマス、軍用保護馬中、能力及ビ馴致ノ審査ヲ要シマスルモノヲ、全部鍛鍊馬競走ニ出走セシメルト云フ趣旨デハゴザイマセヌ、隨テ鍛鍊馬競走ニ出走セシムルコトノ出來ナイモノハ、優等馬票ヲ發行セザル鍛鍊馬競走ニ出走セシメルト云フコトニナツテ居リマスノデ、日數ヲ延長スル必要ハ認メテ居リマセヌ

○森田委員 次ニ出走管區デアリマスガ、若シ之ヲ他管區カラ絕對ニ馬ヲ入レナイト云フヤウナ建前ヲ執リマス、或ル縣ニ依ツテハ實際ニ於テ鍛鍊競走ガ出來ナイヤウナ實情、又ヤツタニシテモ非常ニ貧弱デ、殆ド興味ノナイヤウナ形ニ陥ル所ノ縣ガアルノデヤナイカト思ヒマス、其ノ點ニ付テ當局ハドウ云フ御觀察ヲナサツテ居ルノデアリマスカ、御伺致シマス

○荷見政府委員 只今御話ノヤウニ、鍛鍊馬競走ノ開催ニ付キマシテハ、一定數ノ出場馬ガ必要ナノデアリマスカラ、府縣内ノ軍用保護馬數ガ之ニ達シナイト云フヤウナ

トキニハ鍛鍊馬競走ノ施行ハ不可能ニナルト考ヘマス、隨テ左様ナ場合ニハ一府縣内ニ一箇所認メナイコトモアル積リデアリマシテ、一府縣ニ一箇所以内ト規定シタ次第デアリマス

○森田委員 ソレハ形式上ノ御答辯トシテハ御尤ダト思ヒマスガ、實際トシテサウ云フ縣ガ豫想サレテ居リマセヌカ、多分アノ縣ハ斯ウダラウト云フヤウナコトガ……

○荷見政府委員 只今當局デ調ベテ居リマス範圍デハ、二三ノ縣ニ付テハ御話ノヤウニ出走スベキ馬數ガナイヤウナ所ガ、現在ノ狀態デハアルダラウト考ヘテ居リマス

○森田委員 ソコニ私ハ相當問題ガアルト思フノデス、競馬ハ例外ヲ認メサヘスレバ相當競馬トシテハ成立シテ行ク場所ガアル、一縣一箇所デモ不可能ナ場所モアル、サウスルト是ハ風紀上ノ建前トカ云フ司法省ナリ内務省ナリノ建前トシテハ、ソレデモ宜イノデヤナイカ、出來ナイモノハヤラナクデモ宜イデヤナイカト云フヤウナ議論モ出マセウガ、馬ノ生産力ヲ急ニ増サナケレバナラナイト云フ一ツノ建前ヲ執ツテ居ル農林省ノ建前トシテハ——ヤハリ餘リニ嚴重ナ管轄ヲ御決メニナツテ、其ノ結果全般的ニ競馬興味ガナクナルト云フヤウナコトニ

ナルト、私等ハ相當影響スル所ガ大キイノガアルト思フ、ソレデ色々ヤツテ見テ、旨クナカツタラ又改正シタラ宜カラウ——又改正シナケレバナラスト云フヤウナ場合ガ、出テ來ルヤウナ氣持ガスル、是ハ昨日長官ノ御説明ノ、例ノ中央會ニ對スル金額云々、中央會ノ收入云々ニ對スル御答辯ノ中ニモ、金額ガ極メテ少イデアラウト云フコトヲ、御答辯ニナツテ居ルノデアリマス、サウスルト、要スルニ鍛鍊競走ト云フモノニ對シテ競馬上ノ興味ニ依ツテ、ソレガ盛シナルト云フコトハ御考ヘニナラナイ、寧ロ少クナルト云ツタヤウナコトヲ、御豫想ナサツテオ居デニナルノダ、斯ウ云フコトニナリマス、何カ法規ニ依ル統制ノ力ト云フモノガ、自然ニ發展シテ來ル競馬ノ投機的ナモノヲ利用スル馬產獎勵ノ自然方策ト、相當矛盾シタモノガ私ハ出テ來ルヤウニ思フノデス、ドウモ其ノ點ニ付キマシテハ、私ハ此ノ兩案ヲ通ジテノ最モ根本的な問題トシテ、此ノ點ハ考ヘテ置カナケレバナラヌ問題ダト思ヒマス、併シ其ノ點ハ何レ又後デ意見ヲ十分述べテ見タイト思ヒマスカラ、意見ニ互ルコトハ差控ヘマス、モウ一ツ、過渡的な問題トシテ御伺致シタイコトハ、今マデ地方競馬トシテ、アチコチへ出

走スルコトノ出來タ馬ガ、若シ即刻本法ガ實施セラルルト云フコトニナツテ、外ノ區へ行ツテ走ルコトガ出來ナイト云フコトニナリマスルト、其ノ自由ニ走レルコトノ出來タ馬ノ處理ノ方法、處理方法ト云フモノハ、相當困ルコトニナルノデヤナイカト思フノデアリマス、是等ノ處理方法ニ付テ、當局ハドウ云フヤウナコトヲ御考ヘニナツテオ居デデアリマセウカ、其ノ點ヲ承リタイ

○荷見政府委員 第二段ニ御尋ニナリマシタ現在地方競馬ニ出走スル馬トシマシテ、他ノ數府縣ニ跨ツテ出走シテ居リマシタモノガ、此ノ制度ニ依リマシテ、他ノ府縣ニハ出走ガ出來ナイト云フコトニナレバ、甚ダ困ルノデハナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ現在ノ地方競馬ノ規定ニ依リマシテモ、四箇月以内一定府縣内ニ居ルコトヲ條件トシテ居ルノデアリマシテ、一般ニ廣ク他ノ府縣へ出テ宜シイト云フ規定ニナツテ居リマセヌノハ、比較的寛大ニ取扱ハレテ居リマシタコトト考ヘテ居リマス、ソレデ御話ノヤウニ此ノ制度ニ依リマスレバ、午前中モ申上ゲマシタヤウニ、地方長官ガ行政官廳トシテ鍛鍊馬競走ヲ統制シテ參リマス關係上、他ノ地方ノ管轄内ノ軍用保護馬ガ、モウ一度出ルト云フコトハ監督上適

ナルト、私等ハ相當影響スル所ガ大キイノガアルト思フ、ソレデ色々ヤツテ見テ、旨クナカツタラ又改正シタラ宜カラウ——又改正シナケレバナラスト云フヤウナ場合ガ、出テ來ルヤウナ氣持ガスル、是ハ昨日長官ノ御説明ノ、例ノ中央會ニ對スル金額云々、中央會ノ收入云々ニ對スル御答辯ノ中ニモ、金額ガ極メテ少イデアラウト云フコトヲ、御答辯ニナツテ居ルノデアリマス、サウスルト、要スルニ鍛鍊競走ト云フモノニ對シテ競馬上ノ興味ニ依ツテ、ソレガ盛シナルト云フコトハ御考ヘニナラナイ、寧ロ少クナルト云ツタヤウナコトヲ、御豫想ナサツテオ居デニナルノダ、斯ウ云フコトニナリマス、何カ法規ニ依ル統制ノ力ト云フモノガ、自然ニ發展シテ來ル競馬ノ投機的ナモノヲ利用スル馬產獎勵ノ自然方策ト、相當矛盾シタモノガ私ハ出テ來ルヤウニ思フノデス、ドウモ其ノ點ニ付キマシテハ、私ハ此ノ兩案ヲ通ジテノ最モ根本的な問題トシテ、此ノ點ハ考ヘテ置カナケレバナラヌ問題ダト思ヒマス、併シ其ノ點ハ何レ又後デ意見ヲ十分述べテ見タイト思ヒマスカラ、意見ニ互ルコトハ差控ヘマス、モウ一ツ、過渡的な問題トシテ御伺致シタイコトハ、今マデ地方競馬トシテ、アチコチへ出

當デナイノデ認メマセヌ、隨テサウ云フ風ナ寛大ナ取扱ヲ受ケテ居リマシタ馬ニ付テ、何程カノ不便デアルコトハ、是ハ制度ノ改革デゴザイマスカラ、已ムヲ得ナイト考ヘテ居リマス

○森田委員 サウ致シマス、此ノ過渡的救濟方法ト致シマシテ、或ル部分ニ限ツテ、大キイ都市アタリヲ中心ニシタ地方競馬ニ限ツテハ、何年ノ間カ之ヲ移シテ競馬サセルコトヲ許スト云ツタヤウナコトハ、絶對ニイカスト云フコトニナルノデゴザイマセウカ、サウ云ツタヤウナ便宜方法ヲ御與ヘ下サル御寛容ナ態度ヲ、當局ハ執ツテ戴ケナイモノデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ一ツ御伺致シマス

○荷見政府委員 此ノ制度ノ建前ト致シマシテハ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ、大體現在ノ地方競馬制度ハ、成ベク速ニ整理スル方針デアリマスノデ、出來マスレバ來ル昭和十五年ノ一月カラ廢止ノ手配ニスルヤウニナレバ宜イガト云フ見込ヲ持ツテ居ル譯デゴザイマス、此ノ昭和十四年ダケハ現在ノ通りデゴザイマスガ、先ヅ一年ノ期間ヲ置キマシテ、十五年カラ全部之ヲ廢止致シタイト云フ豫定デ居リマス

○森田委員 結局今マデノ話ヲ御伺致シマ

スルト、管區ヲ限定致シマシテ、他管區デハ出走出來ナイト云フ建前ヲ御執リニナラレタ原因ハ、監督上ノ點カラ來ルモノノヤウニ思ハレルノデアリマス、地方長官ガ馬ヲ管理スル便宜ノ上カラ來ルモノノヤウニ聽取レルノデゴザイマスガ、是ハ何カ別箇ナ方法ヲ御考ヘニナリマシテ、何處ヘ出テ居ルノダト云フコトガ明瞭ニナツテ居リマスレバ、管理ノ上カラ考ヘテモ大シテ差支ノナイヤウニモ思ハレルノデスガ、其ノ點ニ對シテハ當局ハドウ御考デゴザイマスカ

○荷見政府委員 是ハ馬ノ保護上カラモ方方ニ一ツノ馬ガ競走ニ出テ居ルト云フコトヲ、廢メタイ希望ガアルノデゴザイマス

○森田委員 ソレデハ其ノ條文ニ關スル質問ハソレデ打切りマシテ、十二條ニ關聯致シマシテ御伺致シタイト思ヒマス、ソレハ中央會ノ性質ニ關スル質問デゴザイマス、昨日坪山サンカラム質問ガアツタノデアリマスガ、要スルニ私ノ御伺致シタイト要點ト云フノハ、特ニ中央會ト云フモノヲ持ヘナクトモ、舊來ノ馬匹協會ト云フモノニ依ツテ統制セラレテ居ツテモ、一向差支ナイノデハナイカ、成程馬匹協會ハ他ニ目的モアルデアリマセウガアツテモ差支ナイノデアツテ、鍛鍊競走ノ方ハ鍛鍊競走トシテ

其ノ一部分トシテノ仕事ヲサセテ居レバ、ソレデ濟ムコトニナル、強ヒテ新タナルモノヲ茲ニ作ルト云フヤウナコトハ、下部構層ノ者トシテハ相當困ルコトダと思フ、費用ガ二重ニナリマス、唯人的要素ヲ複雑ニシテ、何人カノ人ハ其ノ會ヘ乗込ンデ會務ヲ掌リ、色々ナ仕事ヲナサルデアリマセウカラ、其ノ人等ハ助カルデアリマセウ、併シ構成單位カラ見マスルト、何モ二重ニ費用ヲ掛ケル必要モナイ、ソコヲ適當ニヤツテ行クト費用ガ相當省ケルコトニナル、斯ウ云フ風ナ工合ニ私ハ考ヘルノデアリマス、ソレヲ強ヒテ中央會ト云フモノヲ特設ナサル理由ヲ承リタイ

○荷見政府委員 軍用保護馬鍛鍊中央會ハ、專ラ軍用保護馬ニ關スル特殊事業ヲ行フコトヲ目的トシテ居リマスノデ、畜産ニ關スル綜合團體ヲシテ之ヲ行ハシムルコトハ不適當ダト、私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、鍛鍊馬競走ニ付キマシテハ、政府デ直接之ヲ指導監督致スノデアリマスケレドモ、尙ホ軍用保護馬鍛鍊中央會ト云フヤウナ、専門ノ團體ヲ設ケマシテ、政府ノ指導監督ニ即應致シマシテ、競走ノ實施ニ際シ専門ノ援助ヲ與ヘ、鍛鍊馬競走ノ全國的統制ノ完璧ヲ期スルコトガ必要デアリマ

スノト、尙ホ鍛鍊馬競走ノ施行、優等馬ノ抗票施設等ニ付キマシテ、是ハ相當習熟ヲ要スル問題デアリマスカラ、専門家ヲ中央ニ常置致シマシテ、之ヲ各地ニ巡回派遣致スト云フ風ナ方法ヲ採ルコトガ、鍛鍊馬競走ノ統制上及ビ經濟上、最モ適當ナモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ中央會ニ對シマシテハ、所屬ノ團體ヨリ鍛鍊馬施行ニ關シテノ納付金ヲ出サセマシテ、施行者相互間ニ於テモ、財政的ニ有無相通ズルコトガ適當ト思フノデアリマス、尙ホ團體ヲ設ケマシテ差當リ當分ノ間ハ、廢止セラレマスル地方競馬ノ競馬場ノ整理等ヲ致サセル積リデ居ルノデアリマスガ、是等モ非常ニ複雑ナ仕事デアリマスノデ、専門ノ團體ガ出來テヤルコトガ適當デアルト考ヘテ居リマス、尙ホ其ノ施行ノ目的ヲ完全ニ達スル爲ニ、此ノ中央會ニハ鍛鍊馬競走ヲ致シマスル團體ハ、當然加入ヲ致サセルト云フヤウナ建前ニナツテ居リマス

○森田委員 ドウモ只今ノ御説明デハ私ニハ納得ガ出來ナイノデアリマス、例ヘバ監督ノコトダトカ、經濟上ノ問題云々トカ色色ノコトガアリマスガ、ソレハ今マデヤツタ者ニサセテモ同ジコトニナル、特ニ中央會デナケレバナナイト云フ理由ガナイ限

リハ、ヤハリ二重負擔ノ原則ヲ排除スル意味ニ於テ、私ハ中央會ナルモノハ必要ナイデハナイカト云フ考ヲ持ツノデスガ、何ダカ私ニハマダハツキリ納得ガ行カナイノデ、其ノ點ヲ一ツ重ネテ伺ヒマス

○荷見政府委員 只今御話ノ問題ハ、帝國馬匹協會ヲシテ此ノ事業ヲ施行セシメルノガ、適當デハナイカト云フヤウナ御話ニ聽イタノデアリマス、帝國馬匹協會ハ御承知ノ通り民法上ノ公益法人デゴザイマシテ、之ニ全部ノ鍛鍊馬競走ノ施行者ヲ強制加入セシメルヤウナコトハ不可能ナノデアリマス、ソレデ之ヲ強制加入セシメルコトハ、只今モ大部分ガ加入致シテ居ルノデアリマスガ、脱退致シマシテモ之ヲ脱退ヲ止メル方法ハナイノデアリマス、其ノ點ニ於キマシテハ鍛鍊馬競走ノ全部ノ統制ト云フコトニ對シテハ、不十分デゴザイマス、尙ホ只今ノ帝國馬匹協會ハ馬ノ指導獎勵等色々ナ仕事ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、是ガ現在ノ地方競馬ノ整理ヲ致スト云フコトニナリマス、色々債務ノ保證トカ各種ノ金融關係ニ關スル事項モ行フノデアリマスガ、經濟的行爲ヲ自分が責任ヲ以テ行フヤウナ團體ニ致スノニハ、馬匹協會デハ不適當デアルト私共考ヘテ居リマス

○森田委員 只今ノ御意見デアリマスルガ、サウ云フヤウナ建前デノ立法デゴザイマスシ、國家ガ直接、力ノ及ブ會ヲ作ルト云フコトモ亦一ツノ方法ダトハ思ヒマスガ、ソレハ一ツノ權力上ノ事カラ考ヘタコトデゴザイマシテ、ソレハヤリ様ニ依ツテハ、詰リ立法ノ方法ニ依ツテハ、或ル力ヲ付與スルコト必ズシモ不可能デハナイト私ハ思フノデアリマス、大體カラ見マシテ、私等ハ本案バカリデハナク、今政府ノヤリ方ハ、ドウシテモ頭ノ方ヲ數多クシヨウト云フ傾向ガ多イノデアリマス、ソレデ色々ノ團體ノ指導ノ中心物ト云フモノガ三ツニモ五ツニモナル、サウシテ其ノ受身ニナツテ居ル最下位ノ經濟團體ト云フモノハ一ツナデス、サウシテ上ノ方カラ色々ノモノガヤツテ行クノデアリマスカラ、今町村ナドノ實例デ見マシテモ、餘リニ上ノ方ガ無統制デ、サウシテ下ノ方ヘ色々ノ要求ヲシテ行ク、サウシテ目的トスル所ハ大差ガナイ、大差ガナイノニ色々ノコトヲヤラレルモノデスカラ、モウ經濟上ノ負擔ニ堪ヘ得ナイト云ツタヤウナコトガ、加入團體ノ非常ニ苦難トスル所デアリマス、ソコニ私ハ國家意思ト云フモノハ、出來ルダケ一ツニ單純化サレテ行ク必要ガアルト思フ、サウシテ

オ互ヒ不經濟ニナラナイヤウニシテ行ク必要ガアルノダ、是ハ私ハ今ノ政治ノ上ニ取ツテ、最モ根本的ナ問題ダト考ヘテ居ル、何カシラ中央會ヲ設ケルコトガ、今私ノ申上ゲタ日本ノ國家意思ノ上カラ見ルト、八岐ノ大蛇見タヤウナ恰好ニナツテ、頭ノ方ガ多クナツテシマフヤウナ形ニ見エテドウ云フモノカト云フコトガ、ヤハリ私ニハ能ク納得ガ行カヌノデアリマス、併シ建前ガサウ云フ建前ダカラト云フ御説明デアリマスケレドモ、ソコハ立法上ノ技術トシテ考ヘレバ、他ニ方法ナキニシモアラズト云ツタヤウニ考ヘラレル、是レ以上ハ意見ニナリマスカラ、何レ適當ナ意見ヲ述ベル場合ニ申上ゲルコトニ致シマシテ、第十二條ニ關聯シタ質問ハ是デ打切りマス——農林大臣ハマダ中々御見エニナリマセデゴザイマセウカ

○東委員長 農林大臣ハ向フガ手ガ空キ次第來ルト云フコトニナツテ居リマス

○森田委員 ソレデハ種馬統制法ノ第二條ノ關係ニ付テ一寸御伺シタイ、第二條ヲ見マス、其ノ第二項ニ於テ「馬ノ種付事業ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府之ヲ管掌ス」斯ウ根本原則ヲ立テテ、ソレカラ第二項ニ於テ「北海道、府縣、畜産組合、畜産組合聯合會其ノ他政府ノ適當ト認ムル者ニ限り前項ノ規定ニ拘ラズ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ特許ヲ受ケ馬ノ種付事業ヲ行フコトヲ得」ト、斯ウアル、サウスルト第二條ノ原則ハ、文理解釋デ行キマス、ヤハリ國家ガ直接ヤルモノノヤウニ見エルノデスガ、併シ實際上ノ問題ニナルト、第二項ノ方ガ結局主體ニナツテヤルコトニナルノデヤナイカト云フ風ニモ見エルノデスガ、ソレハ實際事ヲ行フ上ニ於テハ、ドウ云フヤウナ實情ニナルノデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

○荷見政府委員 是ハ内地馬政計畫實施要領ニ於キマシテモ、大體一部分ノ馬ヲ政府ガ種馬所ニ繋養致シマスケレドモ、他ノ大部分ハ御話ノ通りニ民間ニ之ヲ繋養セシメルノデアリマス、併シナガラ其ノ種馬ノ關係ノ外ニ、種付事業ヲ國家ガ管掌シテ行クノダト云フ建前ヲ明ニシテ置キマシテ、此ノ種馬統制法ノ全體ノ仕組ガ出來テ居ルノデアリマス、他ニモ政府ガ統制シテ參リマス部門ガ出テ來ルノデアリマス、種付事業ト云フモノハ政府ガ之ヲ管掌スルト云フコトニ書イタノデアリマスガ、其ノ實行ニ付キマシテハ、政府ノ特許ヲ受ケマシテ、只今御話ノ第二項ニ掲ゲマシタ團體ガ、之ヲ

行フコトガ出来ルノダト云フコトヲ、ハツ
キリ致シテ居ル譯デアリマス、兩々相俟ツ
テ全體ノ方針ガ生レテ来ルコトト考ヘテ居
リマス

○森田委員 ソレハソレデ宜シウゴザイマ
ス、ソレカラ第八條ヲ見マスト「種牡馬ニ
非ザレバ種付ニ供用スルコトヲ得ズ」斯ウ
先ツ原則ヲ示サレテ、第十條ヘ参リマシテ
「政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ國有ノ種牡
馬又ハ候補種牡馬ヲ北海道、府縣、畜産組
合又ハ畜産組合聯合會ニシテ第二條第二項
ノ特許ヲ受ケタルモノニ無償ニテ貸付スル
コトヲ得」ト、斯ウアルノデス、サウスルト
候補種牡馬ノ貸付ヲ受ケルト、是ハ種牡馬
ニアラザレバ種付スルコトハ出来ナイコト
ニナル、サウナルト其ノ間長イ間管理シテ
無償貸付デアリマスケレドモ、貸付ヲ受
ケタモノガ、ズツト管理シテ行カナケレバ
ナラヌヤウナ實情ニナリハシナイカト思フ、
斯ウ云フ管理ノ費用其ノ他ノコトハ、實際
上下ウ云フ風ニナリマスカ

○荷見政府委員 是ハ全ク手續ノ問題デゴ
ザイマシテ、四歳カラ種牡馬ニナリマシテ、
種付ヲ致シマスル牡馬ヲ——マダ四歳ニ
ナリマセヌ候補種牡馬ノ三歳ノ時ニ地方ニ
配當致シマシテ、サウシテソレニ種付ノ準

備ヲサセルト云フ意味合デ、候補種牡馬ト
云フモノヲ加ヘテアルノデアリマス

○森田委員 サウデスカ、分リマシタ、ソ
レカラ是ハ大臣ガマダ見エマセスカラ附タ
リ見タヤウニ述ベマスケレドモ、第十三條
ト第十四條ノ關係デスガ、第十三條ニハ
「毎年明ケ二歳ノ民有ノ牝馬ノ檢定ヲ行ヒ」
云々トアリ「之ニ合格シタルモノヲ候補優
良種牝馬ニ指定スルコトヲ得」ト、斯ウ書
イテ、其ノ手當及ビ旅費ノ規定ヲ第二項ニ
置イテアリマス、所ガ第十四條ヘ参リマス
ト、此ノ手當、旅費ノ支給規定ハ何モシテ
居ラヌノデス、之ヲ規定シナイ理由ヲ承リ
タイ

○荷見政府委員 只今ノ御尋ハ、第十三條
ノ方ハ明ケ二歳ノ民有ノ牝馬ニ付キマシテ
ハ、總テ之ヲ檢査致シマスノデ、所謂強制
檢定ニナリマスノデ、手當及ビ旅費ヲ給シ
マス、是ハ手當二十五錢及ビ旅費ガ五錢ト
云フコトニナリマス、ソレカラ第十四條ノ
方ハ所有者又ハ命令ヲ以テ定ムルモノノ申
請ニ依ツテ任意檢定ニナリマスノデ、コチ
ラニ對シマシテハ、手當及ビ旅費ヲ給シナ
イコトニナリマス

○森田委員 詰リ第十四條ハ當事者ノ申請
ニ依ツテ自ラノ意思デアルノダカラ、手當

旅費ナドヲ支給セスデモ宜イデヤナイカ、
斯ウ云フヤウナ御趣旨デアリマスガ、併シ
實際ニ於テドウデセウ、大體明ケ二歳デハ
マダ馬格ト云フヤウナモノガ、ハツキリ決
マツテ居ラス、ダカラ其ノ後ニ於テ、良イ
馬ニナリ得ル、詰リ三歳頃ニナツテ初メテ
明瞭ニナルノデアリマスカラ、事實ノ問題ト
シテハ第十三條デマダ合格シナカツタモノ
ガ、第十四條ニ依リ申請ニ依ツテ檢査スル
馬ト云フモノハ、相當多クナルノデハナイ
カト考ヘサセラレルノデスガ、是ハ如何デ
スカ、若シ多クナルトスレバ、是ハ假令當事
者ノ申出カモ知レマセスケレドモ、結局ヤ
ハリ旅費支給ト云フコトガ必要デハナイカ
ト考ヘルノデアリマスガ

○荷見政府委員 説明員カラ申上ゲマス
○左々田説明員 御示シノヤウニ三歳デ決
定スルモノモ相當アルト思ヒマスガ、二歳デ
ヤリマスノハ優良ナル種馬資源ヲ生産地ニ
保留スルト云フ意味ニ於キマシテ驕ノ前ニ、
移動シテ方々ヘ分散シナイヤウニ、良イ
モノヲ殘スト云フ意味ニ於テ強制檢定スル
ノデアリマス、サウシテ其ノ二歳デ檢定シ
タモノガ三歳デ育成ノ關係上餘リ良クナイ
ト云フヤウナ場合ニハ、ソレハ指定ヲ取消
シマシテ、前ノ二歳デ漏レタヤウナモノノ

中ノ良イモノト取換ヘル場合ガ、相當出来
テ来ルノデアリマス、併シ三歳ハ任意ノ檢
定デアリマスカラ、手當ノ方ハ計上シテナ
イノデアリマス

○森田委員 細カイコトデスカラ宜イデス
ガ、實際上カラ申シマス、旅費日當ノヤ
ウナモノハ相當問題ニナルト思ヒマスノデ、
御伺致スノデアリマスガ、何レ他ノ機會ニ
譲リマシテ別ナ問題ヲ御伺致シマス、ソレハ
種馬ヲ國有ニ致シマシテ、サウシテ聞ク所
ニ依リマスルト、昭和二十年マデニハ七千
五百頭マデ行クト言ツタヤウナコトニナツ
テ居ルサウデアリマスルガ、併シ今ノ儘デ
急イデ種馬ヲ作ルト云フコトニナルト、平
時ノ場合ナラバ種馬ニナラスヤウナモノデ
モ、急グト云フ意味カラ馬格ノ落チタモノ
マデ種馬ニナルノデハナイカト思ハレルノ
デアリマス、サウスルト種牡馬ノ質ト云フ
モノガ低下シテ来ルト云フ憂ヒガアルヤウ
ニ思フノデス、ソレヲ補フ爲ニヤハリ純粹
ナル血液ヲ流入スル意味ニ於テ、外國カラ
良質ノモノヲ更ニ輸入ナサル御計畫ガオア
リニナルカドウカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キマ
ス

○荷見政府委員 本年ハ外國カラ相當數ノ
モノヲ輸入スルコトニ、今話合ヒヲ進メツ

ツアリマス

○森田委員 農林大臣ハマダオ見エニナリマセスカラ、私ノ質問ハ是デ一時打切ツテ置キマス

○東委員長 大石君

○大石委員 實ハ私モ大臣ノ御出席ヲ待ツテ、今次ノ馬ノ改變ニ伴フ計畫ニ付テ、根本的ノコトヲ御伺シタイと思フノデアリマス、過般本會議ニ於テ質問致シマシタ際ハ時間ニ制限セラレマシテ、斯ウ云フ問題ヲ聽クコトガ出來ナカツタ、又當時農林大臣、陸軍大臣ノ御出席ガアリマシテ、内務大臣或ハ司法大臣ノ御出席ガナカツタ、又ソレヲ御伺スル暇モナカツタノデアリマス、ソコデ農林大臣ニ對スル根本ノ問題ハ御出席ノ機會ニ御尋スルコトト致シテ、他ノ點ニ付テ伺ヒタイ、尙ホ只今マデ質疑應答ノアリマシタ事柄ト重複ヲ避ケル積リデアリマスガ、併シ只今マデ質問應答ノアリマシタ中デ、マダ納得出來ネル點モアリマスノデ、サウ云フ點ニ付テハ重複ヲ免レナイカモ知レマセス、豫メ御承知ヲ願ツテ置キマス、生産擴充計畫ニ關シテ本會議ニ於テモ御説明ヲ求メタノデアリマスガ、ドウモ本會議ニ於テハ再質問ヲ許サレナイ關係カラ、不満足ナル答辯デアリマシテモ默シテ

居ルヨリ外ナカツタ、率直ニ申セバ生産計畫擴充ノ本來ノ立テ方ガ、私ハ計畫のデナイと思フ、唯時局的デアルト云フ風ニ私ハ見テ居ル、言葉ヲ改メテ申セバ、是ハ恆久的不動ノ國策ト見ルコトガ出來ナイデ、應急的、當時代ニ於ケル計畫ト見ル方ガ穩當デナイカト考ヘラレル、併シ兵務局長ハ此ノ生産方針ハ不動ノ恆久方針デアルト言ハレテ居ルノデアリマスガ、私ハドウ考ヘマシテモ、此ノ生産ト云フモノノ資源確保ニ關スル基礎調査デアルトカ、或ハ基礎ノ計畫デアルトカ云フモノガ、判然ト確立シテ居ラナイト云フ憾ミヲ持ツテ居ルノデアリマス、唯獎勵ヲシテ行ケバ馬ノ生産力ガ増進シテ行クデアラウ、生産ガ増加シテ行クデアラウト云フ所ニ、止ツテ居リハシナイカト思フ、併シドウシテモ生産増進、生産擴充ヲヤツテ行カネバナラス時代デアリマシテ、又將來モ其ノ必要ガ認めラレルノデアリマスカラ、農林當局ニ於テハ今日ノ場合ハ、時局柄サウ云フ根本的ノ完全ナル計畫ハ立テ能ハザルモノデアル、斯ウ御考ノ上ニ、更ニ此ノ生産擴充ノ根本的計畫ノ完成ヲ期スルト云フ御考ガアルヤ否ヤト云フコトヲ伺ツテ置キタイ

○荷見政府委員 ソレニ付テハ只今生産擴

充ノ基礎的ノ數字ヲ申上ゲレバ、大變宜イト思ヒマスケレドモ、ソレハ一寸公開ノ席ニ於テハ申上ゲ惡イノデ、他ニ適當ノ機會ガアリマシタラ申上ゲルコトニ致シマス

○大石委員 計畫ガ立ツテ居ツデモ、ソレヲ御説明ナサルコトノ出來ナイ現時ノ事情ヲ遺憾ト致スノデアリマス、併シソレモ已ムヲ得ナイコトデアリマスカラ、先ヅ公開ノ席ニ於テ伺ヒ得ルコトダケ伺フコトニ致シマス、私ハ本會議ニ於キマシテモ、一體軍ノ要求スル所ノ壯齡馬百万頭ノ第一時保有ヲ致ス爲ニハ、目標ヲ百六十萬頭トスル、第二次計畫ニ於キマシテハ百五十萬頭デアツテ、此ノ百五十萬頭ト云フ數字ノ基礎ハ、明治初年以來或ハ統計ノ會テナカリシ時代ノ日本ノ人口、戶數、並ニ農村ノ人口、戶數ト、又民力ノ關係等各方面カラ統計ヲ取り調査セラレマシテ、内地ニ於ケル所ノ馬ノ保有力ト云フモノハ百五十萬頭ヲ超ユルコトハ出來ナイ、斯様ナ斷定ガ付キマシテ、第一次、第二次ノ馬政計畫共ニ百五十萬頭デアツタノデアリマス、然ルニ此ノ度ノ壯齡馬百万頭ヲ保有スルト云フ建前カラ致シマシテハ、ドウシテモ百六十萬頭ト云フ馬ヲ繁殖シナケレバナラス、内地ニ於ケルモノガ十萬頭ノ増加ヲ致シテ居ル、百五十

萬頭ノ保有力ト云フモノスラモ、近年到底充實スルコトハ出來ナカツタ、ソレニ更ニ一割近クノ増加ヲスルト云フコトニナリマスルナラバ、其ノ保有ト云フモノハ一層困難トナルと思フノデアリマス、軍ハ作戰用兵ノ關係カラ壯齡馬百万頭ノ内地保有ヲ要求スルト云フナラバ、國防上ドウシテモソレハ充實セシメネバナライ、隨テ此ノ生産増加ノ計畫ト云フモノハ、從來ノ如キ姑息ナモノデハナライ、ソコデ獨リ生産方面ヲ如何ニ獎勵ヲシテ、年々ノ生産頭數ヲ百六十萬頭ニ達セシメル見込ヲ持ツテ行キマシテモ、今度ハ之ヲ育成シ利用スルモノガナケレバ、到底保有ガ出來ナイト云フ結果ニ陥ル、ソコデ生産者ト云フモノト此ノ馬ヲ保有スル階級ノ經濟力ト云フモノヲ申シマスルト、先般申シマシタ通り、全ク資力ノ乏シイ、經濟力ノ貧弱ナル階級ガ、大多數馬ヲ保有スルコトニナルノデアリマス、生産家カラ申セバ馬ノ値段ガ何處マデモ高クナケレバナライ、利用、育成家カラ言ヘバ、成ベク安くナケレバナライ、此ノ矛盾ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソコデ先般ノ本會議ニ於テ野溝君ノ言ハレタ馬ノ値段ヲ高クスルコトハイケナイ、生産費ヲ低減シテ、馬ヲ安くシテ行カケレバナラス

ト云フ御要求ハ、御尤ニ思フノデアリマス、併シナガラ是ハ言フベクシテ行ハレナイ日本ノ内地ノ現状デハナイカ、生産費ハ幾分か之ヲ低減スルコトハ確ニ出來ルノデアリマス、其ノ低減スベキ主ナルモノハ第一放牧地、採草地ト云フモノヲ無限ニ——ト云フコトハ語弊ガアリマスガ、適當ナダケノモノヲ開放シテ戴ケルナラバ、著シキ生産費ノ低減ヲ致スバカリデハナイ、所謂軍ノ要求スル所ノ磐石ナ馬ガ出來テ行クノデアリマス、ケレドモソレ以外ニ於ケル生産費ト云フモノハ、大シテ減ジ得ベキモノハナイ、一體馬ヲ高クシテ吳レト申シマスルコトハ、不法ニ高クシテ吳レト云フ意味ヲ吾々ハ含ンデ居ラス、ケレドモ近來馬ノ値段ガ非常ニ高クナツテ來マシタト云フノデ、陸軍ニ於キマシテモ、需要者ガ一般のニ馬ノ値段ガ高クナツテハ困ルガラウカラ、軍ニ於ケル所ノ購買價格ニ制限ヲ加ヘテ、或ル程度ニ止メテヤラネバナラスト云フヤウナ、御意見ガアルカノヤウニ承ツテ居ルノデアリマス、左様ニ致シマシタナラバ、此ノ生産助成ノ方針ト云フモノハ、到底生産力ヲ増加シテ行ク程ノ施設ニナツテ居ラナイヤウデアリマスカラ、私ハ育成利用ノ方面ニ對シテモ、生産方面ニ對シテモ、國ガ

絶對ニナケレバナラス或ル數字ヲ保ツ爲ニハ、モツト保有力ヲ涵養シテヤラナケレバナラス、所謂軍馬資源ノ涵養ト云フ點ニ私ハソレハアルト思フ、生産方面ノ保護ヲスルト同時ニ、此ノ育成利用ノ方面ニ對シテモ、モウ少シ——ドコロデハナイ、大イニ軍ナリ農林省ナリガ世話ヲシテ行カナケレバ、到底生産者ト育成者ト相俟ツテ、此ノ所要ノ馬ヲ國內ニ保有スルコトハ出來ナイノデハナイカト考ヘルノデアリマス、之ニ對シテ陸軍及ビ馬政當局ノ御意見ヲ御伺致シマス

○荷見政府委員 今回樹立致シマシタ内地馬政計畫ノ實行ニ付キマシテハ、新シク出來ル限りノ豫算モ計上シ、尙ホ只今御審議ヲ願ツテ居ルヤウナ制度モ立テルノデアリマス、是等ニ依ツテ馬ノ必要頭數ヲ保持シ、生産シテ行クト云フコトハ、效果ヲ收メルコトト考ヘテ居リマス、尙ホ御話ノヤウニ經費等ニ付キマシテモ、固ヨリ満足ト云フ點ニハ參ツテ居ラナイノデアリマスカラ、將來ニ於テモ出來ル限り必要ナモノハ之ヲ増額シテ行クト云フ風ナ方策ヲ探ツテ、目的ヲ達スルヤウニ努力シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○河野委員 一寸議事進行ニ付テ——午前

中ニ御願ヒシデアリマシタ對滿事務局ノ次長ガ御見エニナツテ居ルヤウデアリマスカラ、今回滿洲國政府ニ於キマシテ各種ノ雜穀類等ニ輸出統制稅ヲ御掛ケニナルヤノ御話ニ付テ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、吾々ハ内容ヲ詳ニ致シマセヌカラ能ク分リマセヌガ、今月中位ニ滿洲國ノ政府ニ於テ大豆、大豆粕其ノ他ニ付テノ十種ニ、輸出統制稅ヲ課ケルト云フコトデアリマス、是ハ我國ノ農村ニ非常ニ關係ガアルト吾々ハ憂慮スルノデアリマスガ、ドウ云フ方針デ、ドウ程度ニ、ドウ云フ必要ガアツテ、サウ云フコトヲ滿洲國デオヤリニナルノカ、對滿事務局次長カラ詳細ニ御説明ヲ願ヒタイ、斯ウ御願ヒスル次第デアリマス、其ノ説明ヲ承ツタ上デ、必要ニ依ツテハ御尋シタイト思ヒマス

○原政府委員 只今河野委員カラノ御質問デアリマスガ、實ハ輸出稅ノ問題ニ付キマシテハ、マダ正確ナル滿洲國政府カラノ連絡ガナイノデアリマス、ハツキリ申上ゲル譯ニハ參リマセヌデスガ、是ハ元々御承知ノヤウニ、滿洲國ニ於キマシテハ貿易統制法ト云フモノヲ施行致シマシテ、サウシテ國內ノ物資竝ニ日滿間ノ物資需給ノ關係ヲ見マシテ、ソレヲ統制致ス爲ニ、輸出輸入

ニ付キマシテ制限スルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、只今仰セニナリマシタ十品目ハ、此ノ輸出制限品目ニ一應規定サレルノデナイカト想像シマス、ソレデ今ノ輸出稅ヲ取ルカ取ラスカト云フコトニ付テハ、ハツキリ申上ゲル譯ニハ實ハ參ツテ居リマセヌノデゴザイマス、元々滿洲國ガ輸出ノ今御申述ベニナリマシタ品目、其ノ品目ニ付キマシテモ新聞ニ出テ居ル物全部ノ物ガ、サウデアアルカドウカト云フコトハハツキリシナイ、其ノ品目ニ付キマシテハ最近支那ニ大分出ル傾向ガアルノデス、支那ニ出マスノハ直接外國ニ出シマスノヨリハ、支那ヲ通過シタ方ガ貿易業者ガ爲替ノ利益ヲ得ルト云フ關係カラ、隨分第三國向キノ物ガ支那ニ輸出ニナル、之ヲ防止シヨウト云フコトガ一ツ、ソレカラモウ一ツハ、或ル程度日本デ我慢ノシテ貰ヘルモノハ、是ハ第三國ニ輸出シテ、所謂滿洲國ガ外國正貨ヲ得タイト云フ點カラ出發シテ居ルト思ツテ居リマス、第一ノ點ハマア是ハ日本ノ方ニハ餘リ關係ハナイガ、第二ノ點ヲドウ云フ風ニ調和スベキデアアルカト云フコトハ、是ハ日本政府トシテモ相當考ヘナケレバナラスト考ヘテ居リマス、併シナガラ元々此ノ貿易統制法ヲ設ケマシタ趣旨ハ、御承知ノ通り高梁

デアリマスルカ、玉蜀黍トカハ、外國ニ出スヨリハ寧ロ日本ニ出シテ、南米邊リカラノサウ云フ品目ノ輸入ヲ少クスル、詰リ日滿經濟ノ一體ト云フ所カラ由ツテ來タノデアリマス、ソレデ日本ノ農村關係ノ物資ニ付テ、滿洲國ガ出來ルダケノコトハ致サナクテハナラヌト思ツテ居リマス、若シソレガ出來ナイトシタナラバ、其ノ調和ハドウ云フ風ニスルカト云フコトガ、第二段ニ出テ來ル問題ガラウト思フノデアリマス、是ハ單ニ農業關係ノ物資ノミナラズ、外ノ一般ノ滿洲國ノ物資、需給ノ關係トモ睨ミ合セテ、日本政府トシテハ考慮ヲシナケレバナラヌ問題デアルカトモ考ヘテ居リマス、其ノ點ハ實ハ昨日連絡致シマシテ、色々ノ關係ヲ考慮シ、其ノ點ニ付テ協議ヲ進メツツアルノデアリマス、大體經過ダケヲ申上ゲマシテ、尙ホ御質問ニ依リマシテ御答ヲ致シマス

○河野委員 一寸御許シヲ願ヒタイノデスガ、只今ノ御説明ニ依リマス、吾々ノ想像致シテ居リマスコトト大分懸離レガアルコトヲ、甚ダ遺憾ニ思フ者デアリマス、第一點ハ吾々ノ認識ヲ以テ致シマスレバ、有ニル部門デアリマスレドモ、日滿ヲ通ジテ完全ナル連絡ノ下ニ、總テノ政治ハ取進

メラレモノト諒承致シテ居リマス、所ガ事務局次長ノ御話ニ依リマスル、昨日アチラト連絡ヲ取ツテ云々ト云フコトデアリマシタケレドモ、既ニ滿洲國政府ニ於テ此ノ問題ニ付テ色々準備ヲ進メテ居ル、ソレガ我が國內ニ報道セラレルヤ、一例ヲ豆粕ニ取リマスレバ、豆粕ノ暴落トナリ、暴騰トナリ、非常ニ我が農村ニ直接影響スル所ガ大キイノデアリマス、對滿事務局ニ於テ其ノ程度ノ認識ノ際ニ、國內ノ物資ニソレガ頻々ト影響スル、而モ其ノ國民ノ認識ヲ以テシマスレバ、滿洲國ガ或ル種ノ施設ニ出ル、恐ラク今日高イ豆粕、豆類ヲ下ゲテ呉レルガラウ、下ゲル爲メ以外ニハ滿洲國ハヤラヌガラウト云フ國民感情デアリマス、此ノ國民感情ニ基イテドウ云フコトヲヤルカ分ラヌケレドモ、何カヤルサウダト云フノデ相場ハ下ツタ、所ガ段々内容ヲ聽イテ見ルト、是ハ下ゲ材料デヤナイ、上ゲ材料ダト云フノデ、又翌日ハ相場ガ上ツタ、一般國民ノ期待ニ反スルコト非常ニ大キイノデアリマス、今御話ノヤウニ吾々モ上海ヲ通ジテ第三國ニ行ク場合ニ、爲替等ニ於テ非常ニ良カラヌコトノアルコトヲ聞イテ居リマス、之ヲ阻止スル爲ナラバ、別ニ其ノ原因、結果ガ我が内地ノ農村ニ及ブ必要ハ

ナイト思フ、是ハ今事務局次長ノ御話ノ通り、如何ナル場合デモ第三國向キノ製品ニ付テ、ソレニ輸出統制稅ヲ課ケルナリ、乃至ハ支那ヲ通ジテ行ク物ヲ統制スルナリ——吾々モ昨年ハ大イニ滿洲國政府ニ此ノ輸出ノ統制ヲスルコトヲ主張シタ一人デアリマスルノデ、此ノ發動ヲ見マスルコトハ當然ノコトト考ヘマスルケレドモ、其ノ發動ノ結果ガ内地ノ農村ニ不利益ヲ來スヤウナ結果ニナラウト云フコトハ、吾々ハ斷ジテ諒承致シテ居ラナイノデアリマス、如何ナル場合ニモ日滿ヲ一體トシテ、お互ノ農民ガソレニ依ツテ裨益スルコト大ナル場合ニノミ發動セラレルコトト、吾々ハ心得テ居ツタ、然ルニ其ノ影響ガ今申上ゲルヤウニ暴落トナリ、暴騰トナリ、今日デハ總テノ物ガ或ル程度ノ税金ヲ課ケラレテ、内地ノ農民殊ニ畜産、馬産ノ方面ニ相當ノ影響ガアルガラウト云フコトヲ、非常ニ憂慮致シテ居リマスコトハ、吾々トシテハ甚ダ遺憾ナコトデアリマス、而モ滿洲國政府ニ於キマシテハ、來ル二十二日ニ業者ヲ集メテソレゾレ打合ヲスルカ、二十五日ニ參議會ニ懸ケテ云々トカ云フヤウナコトヲ、頻頻トシテ吾々聞クノデアリマス、併シ餘リ大キナ聲デハ言ヘヌカモ知レナイケレドモ、

事茲ニ至ル前ニ我が政府ト完全ナル連絡ガアリ、其ノ影響スル所ガ如何様デアルカ、殊ニ農林省方面トハ十分ナル打合セガアツテ、ソレガ我が農村ニドウ云フ影響ガアルカト云フコトモ、完全ナル連絡ガアツテノコトト私ハ諒承シテ居リマシタ所ガ、最近農林省ノソレノ係リノ者ニ聞イテ見マスト、ドウモ能ク話ガ分ラヌ、段々調べテ見ルト、ドウモ話ガ分ラヌヤウダ、ソコデ實ハ本日此ノ委員會ニ於テ對滿事務局總裁ノ御説明ヲ聞キタイト思ツテ、今次長ノ御説明ヲ承ツタノデアリマスレドモ、其ノ第二點トシテ申シ聽ケニナリマシタ内地ノ農民ノ我慢ノ出來ル程度、内地ノ需要者ノ我慢ノ出來ル程度ト云フ御説明デアリマスルケレドモ、今豫想セラレテ居リマスル十品目ノ中デ、一體ドウ云フヤウナ品物ガ内地ノ農民、内地ノ需要者ノ我慢ノ出來ル程度デゴザイマセウカ、政府ニ於テハ悉ク物價ノ上ルコトヲ抑ヘ、特ニ原料ヲ抑ヘ、特ニ肥料飼料ノ資源ニ於テハ、吾々ハ絶對ニ一錢一厘タリトモ値上ヲスルコトニハ、斷ジテ反對スル者デアリマス、今日肥料高、飼料高、殊ニ原料ノ不足ト云フコトハ、内地ノ農民ノ非常ナ苦痛デアリマス、之ニ付テ苟モ日滿ノ間ニ支障ニナル

ベキ施設ヲサレルト云フコトハ、吾々ハ斷
ジテ諒承スル譯ニハ參ラスノデアリマス、
念ノ爲ニ伺ツテ置キマスレドモ、今當
局ノ御話ニナリマシタ十品目ノ中ニハ、ド
ウ云フ物ガ一體多少統制稅ヲ課ケラレテモ、
内地デ我慢出來ルダラウト云フ御考デアリ
マスルカ、其ノ程度竝ニドウ云フ品目ガ
アルカト云フコトヲ、一應御説明ヲ願ヒマ
ス

○原政府委員 私ノ申上ゲ方ガ惡カツタカ

モ知レマセスガ、統制稅ヲ課ケテモ我慢出
來ル程度ハ宜イデヤナイカト云フヤウニ、
或ハ御聞キニナツタモノト思ヒマスガ、私
申上ゲタノハサウ云フ意味デハアリセヌ
デ、今河野委員ノ仰シヤル通り、殊ニ農家
ニ對シマシテノ滿洲カラ入りマスル物ニ付
キマシテハ、出來ルダケ物價ヲ安クスルト
云フコトハ、是ハ日滿兩國ガ夙ニ企圖シテ
居ル所デアリマス、隨ヒマシテ吾々ノ考ト
致シマシテハ、此ノ統制稅ト云フモノノ爲
ニ日本ヘ入ツテ來マスル物ガ高物價ニナル
ト云フコトハ、極力是ハ阻止シナケレバナ
ラヌト思ツテ居リマス、繰返シテ申スヤウ
デアリマスルガ、實ハ其ノ内容ガマダハツ
キリ致サナイノデアリマス、是ハ今連絡シ
テ居リマスカラ、其ノ點御諒承ヲ願ヒタイ

ト思ツテ居リマス

○河野委員

諄イヤウデアリマスガ、今一
言御許シテ願ヒタイノデアリマス、只今ノ
御説明デ一應諒ト致シマスガ、前ニ私が申
上ゲマシタ通り、吾々農村側ト致シマシテ
ハ、飼料ト言ハズ、肥料ト言ハズ、今日ド
ウ云フモノデモ欲シイ際デアリマス、今日
茲ニ審議ニ上ツテ居リマスル馬ノ補充計畫
ニ致シマシテモ此ノ飼料ノ關係ニ於テ甚ダ
私ハ憂慮スル者デアリマス、今日ノ穀ノ値
上リ、斯ウ云フコトハ一體ドウ云フコトニ
ナルカ、一體餌ノ高イ際ニ三十圓ヤ五十圓
ノ補助金ヲ貰ツタ所ガ、ソレデ果シテ馬ガ
飼ヘルカドウデアラウカト云フ方面カラモ、
私ハ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス、
其ノ他包米、高粱、大豆、大豆粕ト云フヤウ
ナ荷モ飼料トナリ、肥料トナルト云フモノ
ニ付テハ、假令ソレガ一錢デモ、一厘デモ
値上ゲサレルヤウナコトヲ政治的ニ行ハレ
マスコトハ、斷ジテ私ハ承服出來ナイ、是
ハ私が諄ク申上ゲルマデモナク、十分政府
ニ於テハ御承知ノコトト考ヘマスノデ、支
那ヲ通ジテ第三國ニ行ク不正ナル取引ヲ防
止スル爲ニ、完全ナ御取締ヲナサルコトハ吾
吾モ夙ニ要望スル所デアリマスレドモ、
其ノ影響ノ爲ニ内地ノ農民ニ不利益ヲ來サ

ヌヤウニ、十分御考ヲ願ハナケレバナラス、

又同時ニモウ少シ日滿ノ間ニ完全ナル連絡
ヲ御取リ下サツテ、苟モ滿洲國ニ於テサウ
云フ風ナ噂ガ立チ、サウ云フ準備ヲシテ居
ル、サウ云フヤウナ行動ニ出タト云フコト
ガ、唯サヘ今日物價高、飼料高、肥料高ニ
ナツテ居ル際ニ、ソレガ既ニ影響致シマシ
テ、或ル程度ノ内地ニ於ケル是等飼料、肥
料ノ値上リニナツテ居ルコトハ、甚ダ吾々
遺憾トスル所デアリマス、速ニ當局ニ於キ
マシテハ兩國間ニ於テ完全ナ連絡ヲ取ツテ、
今内地ニ於テ一部商人ノ妄動致シテ居リマ
スヤウナコトノ原因ヲ、完全ニ除去セラレ
マシテ、一日モ速ニ公正ナル價格ノ生レマ
スヤウニ、善處セラレンコトヲ御願致シマ
シテ、私ハ質問ヲ止メマス

○大石委員

對滿事務局ノコトニ付テ只今
御尋シタイコトガアリマスレドモ、是ハ
馬ニ直接關係ガアリマセヌカラ後ニシマシ
テ、只今御尋シテ居リマス馬ノ生産力及ビ
價格ノ問題デアリマスガ、先般本會議ニ於
テ野澤君ハ、吾々ハ馬ノ値段ヲ高クスルコ
トニ反對デアルト云フコトヲ言ハレタ、是
ハ動モスルト左様ナ考ヲ或ル方面ニ起サセ
テ、誤リヲ生ズル虞ガアリマス、ソレハ今
日ノ馬ノ値段ガ、一昨々年ニ比較シテ、一

昨年、昨年ノ價格、又今年ノ價格ト云フモ

ノハ著シク暴騰ヲ致シタヤウニ見エルノデ
アリマシテ、是ガ何處マデ上ツテ行クカト
云フコトヲ、生産者ヨリモ寧ロ育成ノ方面
ガ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、吾々モ
無暗ナ價格ノ要求ヲ致シテ居ル者デハアリ
マセヌ、併シ國防上下ウシテモ軍馬資源ノ
涵養、充實ヲセネバナラスト云フ建前カラ
參リマスナラバ、ヤハリ生産力ヲ自ラ助長
サセル方策ヲ執ラネバナライ、一體政府
ハ馬ノ生産費ニ付テ御調査ニナツタコトガ
ゴザイマスカ、又サウ云フ御考ヲ以テ調査
セラレテ居ルノデアリマスカ、先ヅ此ノ生
産費ニ付テ、私ハ一般市場ニ於ケル賣買價
格トノ關係ニ付テ御伺シタイ

○伊藤政府委員

馬ノ生産費ニ付キマシテ
ハ、從來特ニ調ベタモノハナイノデアリマ
スガ、最近馬ノ生産經濟ノ實態調査ヲヤツ
テ居リマスノデ、ソレガ完成致シマスレバ
相當ノ結果ヲ見ルコトガ出來ルト考ヘテ居
ル者デアリマス、馬ノ價格ガ何程ガ適當デ
アルカト云フコトニ付キマシテハ、昨日長
官カラモ申上ゲマシタヤウニ、先般來陸軍
當局トモ話合ヲ致シマシテ、研究ヲシテ居
リマスシ、又適當ノ値段デ賣買スルコトニ
付キマシテモ、十分ナル連絡ヲ執ツテ、適

當ナル取引制度ヲ設ケルヤウニ研究シテ居リマス

○大石委員 馬ノ生産費ノ御調査ノナイコトハ、決シテ無理トハ思ヒマセヌ、是ハ容易ニ出來得ナイ業デアルト思フノデアリマス、今ノ實態検査ヲナサレテ本當ノ割切ナル生産費ヲ調べ上ゲルト云フコトハ、恐ラク是ハ容易デナイ、寧ロ出來得ナイト私ハ考ヘル、仍テ私ハ生産費ノ概念ニ付テ御話シテ、當局ガ御首肯ナサルカナサラヌカラ御伺シタイ、一體馬ノ生産費ト云フモノハ、ドレ程掛ルカト云フコトハ調査出來ナイヤウニ出來テ居ルケレドモ、概念的ニ見マス時ニ、一體馬一頭ヲ生産スル生産費——ソレヲ見ル前ニ、馬ガ一匹デドノ位子ヲ産ムカト云フコトヲ先ニ見テ行キタイ、生産地方ニ於ケル蕃殖牝馬ハ、概ネ之ヲ農耕用ニハ使ハヌノデアリマス、専門ニ生産ニ之ヲ準備シテ居ルノデアリマス、先ヅ大體生産地方ニ於ケル蕃殖牝馬ハ、自ラ生産シタモノ、若クハ他ノ生産シタモノヲ買ツテ持ツテ居リマスガ、自ラ生産シタモノハ自分ノ管轄内ニ於ケル驛市場ニ二歳ノ時ニ出シマシテ、之ヲ買取ル、又他ノ蕃殖牝馬ニ供シマスルモノモ、大體二歳ノモノヲ買求メテ居ルノガ多數デアアル或ハ三歳、四歳、五歳

其ノ他ノモノモ買ヒモ致シマスケレドモ、總計カラ見マスレバ、ソレハ小部分デアアル、大體ハ二歳或ハ三四歳、是ガ限度デアリマス、サウ致シマシテ種付ハ大抵四歳或ハ五歳カラ始マリマス、是ガ假ニ十八歳マデ子取リラスルトシテ、何頭ノ馬ヲ産ムカ、先ヅ恐ラク五頭平均ニ行キマシタナラバ最高デアラウト思フ、或ルモノハ三頭或ハ二頭位シカ取レナイ、デアリマスカラドウシテモ假ニ最高ノ成績ノ五頭ト致シマシテモ、馬一頭ノ生命ヲソレニ捧ゲテシマフ、是ガ二歳カラ十八歳マデ飼育スル飼育管理ノ費用、ソレカラ子ヲ産シタ其ノ子ノ飼育管理ノ費用、連年種付ヲ致シマシテスラ中々ニ八頭、九頭ト云フヤウナ馬ヲ取ルコトガ出來ナイデアリマス、殊ニ私共ノ縣ニ於キマシテハ中々連年種付ハ行ハレナイ、極ク進シタ生産家ノミガ一部行ツテ居ル、大部分ノ馬取リハ隔年交尾デアリマス、隔年交尾ヲ致シマスト、幸ニ種付ヲシテ妊娠ヲ致セバ宜イ、ソレガ其ノ年妊娠ヲ致サナケレバ、モウ一年待タナケレバナラヌカラ、三年目カ四年目ニ偶ニ妊娠致シマシテモ満足ニ産ムカ——満足ニ産ムノモ多ウゴザイマスケレドモ、産マナイノモ可ナリ多イノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ一匹ノ蕃殖牝馬

ガ一生ヲ通ジテ生産シテ、満足ニ市場ニ出シテ賣リ得ルモノハ恐ラク三頭前後デアリマス、マア三頭強ト考ヘナケレバナラヌト思フ、サウスルト十七年モ十八年モ蕃殖牝馬ヲ飼養管理スル費用ヲ、先ヅ以テ生産費ノ一ツニ計算シナケレバナラヌ、而モ年々ノ種付ノ爲ニ斃レルモノモアリ、流産スルモノモアル、ノミナラズ近來生産地方ニ於キマシテハ、流行性流産、傳染性貧血症、色々ナ病氣ノ爲ニ蕃殖牝馬ノ斃レテ行クモノモ可ナリ多イノデアリマスカラ、生産地方ニ於ケル經濟的打撃ト云フモノハ一々算盤ニ乗ラヌモノガ澤山アル、斯様ナ關係ニ依ツテ生レマシタ馬ガ、此ノ支那事變ノ起ル前ニドノ位ニ賣レテ居ツタカ、先ヅ特別ノ種馬デアルトカ、或ハ競馬馬デアルトカ云フモノヲ除キマシテ、軍馬ニ買上ゲラレダト致シマシテモ、全國ヲ通ジテ二頭カ三頭ノ八百圓、千圓ト云フ馬ハアリマセウ、ケレドモ平均シテ馬ノ値段ハ三百圓ニ滿タナカツタ、ソレガ五頭取レテモ千五百圓、十頭取レテモ三千圓ニシカナリマセヌ、ソレガ馬ノ一生ノ收入デアリマス、若シ是ガ市場ニ於テ賣買セラレマシタモノヲ見ルナラバ、軍縮ノ後ニ於キマシテ、北海道ニ於テ驚クベシタツタ五圓ノ馬ガアツタ、豚ヨリ

モアカツタノデアリマス、東北ニ於キマシテハ十圓、十五圓ノ馬ガ出タデアリマス、生産者ガ斯様ナ極端ナル犠牲ヲ拂フ時ニ、國家ハ如何ナル助成保護ヲ與ヘタカ、一般育成家、飼養家、博勞ニドレ程同情ヲシテ之ヲ保護シタカ、何モ保護ヲシテ居ラヌ、偶ニ事變ニ依ツテ馬ガ暴騰シタト申シマスルガ、吾々ハ決シテ其ノ價格ガ生産費ヲ遙ニ超過シテ居ルトハ思ハヌ、寧ロ生産費ヲ割ツテ居ルトデアリマス、然ルニ今飼料ガ高カラウ、何ガ高カラウト云フ時ニ、一番大切ナ獎勵ノ局ニ當ル方面ガ馬ノ價格ヲ制限シヨウト云フ、私ハ生産者カラ賣ラレマスル馬ハ幾ラ高クトモ構ハヌト思フ、ソレヲ買ヒ得ル力ガアツテ買フナラバ是程結構ナコトハナイ、唯之ヲ買フ力ガ乏シイノデアリマスルカラ、セメテ軍用ノ馬ハ市價ヨリモ或ハ三倍モ四倍モ高ク買ツテ戴クト云フヤウナ一ツノ獎勵ヲ必要ト認ムル所以デアリマス、今日軍馬ヲ作りマスニモ、一頭ノ買上ニ付テ一頭ヅツ適當ナ馬ガ出來ルモノデアリマセヌ、今日ハ購買頭數モ殖エマシタカラ購買率ハ殖エテハ參リマシタケレドモ、極端ナ時代ニ於キマシテハ十頭、二十頭ノ軍馬候補馬ヲ生産シテ、タツタ一頭位シカ買上ゲテ居ラレナカツタ、後ノ講

買洩レニナツタモノノ慘メサト云フモノハ、實ニ生産者ニ對シテ涙ナクシテ見ルコトハ出來ナカッタ、偶々今回ノ事變ニ依ツテ、漸ク生産者ガドウヤラ息ガ吐ケルヤウニナツタ譯デアリマスケレドモ、其ノ價格ヲ尙ホ高イト云フヤウナ感ジヲ以テ見ラレマスルニ於テハ、私ハ一般ノ認識ノ上ニ是正ラシテ貫ハネバナラスト思フノデアリマスカラ、生産費ヲ低減シテ行クコトハ、是ハ勿論デアリマスケレドモ、ソレヨリモモット根本的ニ——現在ノ價格デアリマシテモ、決シテ生産費ニハ達シテ居ラナイ、今マデ數十年間拂ツタ此ノ犠牲ヲ埋合セテヤルト云フコトナラ、尙更思ヒモ寄ラス程ナノデアリマス、馬ヲ作ツテ財産ヲ減ラシ、馬ヲ作ツテ貧乏ニナツタ、是ガ生産地方ノ現状デアリマシテ、實際生産地方ニ於テ馬ヲ眞面目ニ作ルト云フ人ハ、餘程時代遅レノ人カ、愚直者デアルカ、經濟ヲ知ラス者デアルト云フ誇ヲ受ケタコトスラ最近ニアツタ、斯ウ云フ次第デアリマスノデ、生産ノ擴充ヲ圖ツテ生産力ヲ増加セシムルト云フ爲ニハ、國家ノ力ヲ以テスルヤウニ計畫ヲ立テ行カネバナラス、然ルニ昭和十四年度ノ豫算ヲ見マシテモ、豫算ハ前年度ニ比シテ殆ド三倍ノ多キニ増額サレテ居ルニ拘ラズ、

果シテ此ノ生産方面或ハ育成飼養家ニ助成スル所ノ豫算ト云フモノガ殖エタカ、私共ハソレヲ見出スコトガ出來ナイ、荷見長官ノ此ノ生産費ノ低減デアルトカ、或ハ生産ノ獎勵保護ニ付テノ御説明ヲ承リマス、種馬統制法ノ實施ニ依ツテ生産費ガ低減スルデアラウ、或ハ鍛鍊競技ニ依ツテ生産獎勵ノ途ガ開カレルデアラウト云フヤウナ御説明デアリマスケレドモ、是ハ直接生産獎勵ニハ價值ナキモノト私ハ思ツテ居ル、一體種馬統制法ガ實施セラレマシテモ、生産上直接私共ニ何ノ利益ガアルカ、種付料ノ低減位ガ關ノ山デアリマス、其ノ他ニ種馬統制法ノ實施ニ伴ウテ利益セラレマシモノハ、優良種牝馬ノ助成デアルトカ或ハ指定牝馬ノ補助デアルトカ云フヤウナ點ハ確ニアリマスケレドモ、政府ノ宣傳ト言ツテハ恐入リマスガ、御話ニナリマシタ程直チニ是ガ生産獎勵ノ助成ニ働クトマデ私ニハ考ヘラレナイ、鍛鍊法ガ實施セラレマシテモ、此ノ鍛鍊法ニ依ツテ飼養補助ヲヤル、或ハ曳付手當ヲヤルト云フ御説明デアリマスガ、其ノ金額ヲ承リマス、一頭ニ付テ三十七圓、一箇月三圓デアリマス、一日十錢ニナラスノデアリマス、僅ニ十錢ソコノモノデアリマス、馬ノ飼料ハ如何ニ安ク

積リマシテモ十錢ヤ二十錢ヤ三十錢デハ今日間ニ合ハヌ、殊ニ馴致鍛鍊ノ爲ニ一年二十四回以上曳出シテ來ナケレバナラスト云フコトニナルト、馬ノ飼料モ相當吟味致サナケレバナラズ、其ノ量モ相當増加スルモノト考ヘナケレバナラズ、三十七圓ノ補助ト云フモノハ、普斷自由勝手ニ育成飼養ラシテ居ルノト、其ノ經濟上ニ於ケル關係ハ非常ニ違フノデアリマス、又三十五錢ノ曳付手當ヲ與ヘルト云フ、三十五錢ノ曳付手當ハ辨當料位ニハナリマセウ、或ハ履物代等モ補助コトガ出來ルカモ知レマセヌ、併シ荷モ半日或ハ一日ヲ費シテ相當ノ青年、相當ノ年輩ノ者ガ三十五錢ノ手當ヲ頂戴シテドウナル、今努力不足ヲシテ居リマス農村ニ於テ、一日働キマス、必ズ一圓ヲ下ラヌノデアリマス、人ヲ雇ツテ働カセマス、一圓以上ヲ支拂ハネバナラスノデアリマス、斯様ナ關係ニ於キマシテ生産地方ノ恩惠、育成地方ノ恩惠ト云フモノハ、寧ロ私ハ減ズルトモ増加シナイと思フ、斯様ナ關係ヲ考ヘマスレバ、生産ノ獎勵上ニ於テ、唯一ツノ頼ミハ馬ノ價值ガ高クナルコトデアル、馬ノ價值ガ高クナツテ、生産費ヲ補ウテ幾ラカデモ餘リアルナラバ、是ハ獎勵セズトモ、勸メズトモ、自ラ生産ガ増進シテ參

ルニ相違ガナイ、又育成地方ニ於キマシテ馬ノ價值ガ高クテ困ルナラバ、モウ少シ育成者ノ馬ノ購買補助ヲヤルトカ、或ハ保有補助ヲ行フトカ、モット授産ノ運用上、方法ガアラウト考ヘルノデアリマス、唯御國ノ爲ニ、時局ノ爲ニト云フノミヲ以テシテハ、到底永ク續クコトハ出來マセヌ、斯様ナ考カラ、私ハ現在ノ馬政局ニ於ケル生産獎勵ノ計畫ト云フモノハ、甚ダ不徹底ナモノデアツテ、何故ニ此ノ増額セル豫算ニ付テ、生産及ビ育成飼育ノ方面ニ露ホスコトノ御計畫ガナカツタカヲ遺憾トスル、私ハ先般陸軍大臣ニ此ノ馴致鍛鍊ガ、寧ロ兵器トシテ馬ヲ見テ、其ノ豫備トシテノ鍛鍊ヲ義務的ニ行ハシムルト云フナラバ、兵隊ヲ豫メ教育シテ之ヲ在郷ニ移シ、一朝有事ノ日ニ召集シテ用ヒルト同様ニ、ヤハリ陸軍ガ一ツノ兵器鍛鍊ノ意味ニ於テ、陸軍自ラ之ニ豫算ヲ投ゼラレタ方ガ、農林省ノ豫算ノ運用上、更ニ有利デハナイカト云フ御尋ラシタノデアリマス、現在ノ儘デハ到底生産擴充ヲ圖リ、所期ノ數ヲ國內ニ保有スルコトハ、絕對トハ申兼ネルケレドモ、絶對同様ニ不可能ト思フノデアリマス、更ニ此ノ生産並ニ保有計畫ニ付テ、根本的ノ御

計畫ヲ立テル御考ガアルヤ否ヤ、モウ一應
伺ヒタイ

○荷見政府委員 只今モ御話ガアリマシタ
ヤウニ、馬ノ生産費ノ調整ニ致シマシテモ、
一般農産物ノ生産費ノ調整ニ致シマシテモ、
困難ナルコトハ大石サンノ仰シヤル通りデ
アリマス、而シテ馬ノ價格ヲ如何ニスルカト
云フコトガ、生産力擴充ニ重要ナル關係ガ
アルト云フコトハ、私ガ申上ゲルマデモナ
ク御話ノ通りデゴザイマス、價格ヲ不利益
ナ状態ニ置イテ、生産力ガ擴充出來ルト云
フ理論ハ、如何ニシテモ成立タナイノデア
リマシテ、私モ御同感ニ思ツテ居ル次第デ
アリマス、併シナガラ價格ヲ上げレバ宜イ
ト申シマシテモ、一方のニ生産者ノ關係ノ
ミヲ見テ、價格ヲ騰貴セシメテ行クコトガ、
將來ニ非常ナ不都合ヲ生ズルコトニナルト
云フコトハ、是モ亦疑ノ餘地ノナイコトト
思フノデアリマシテ、需要家ノ方面ノ狀況
ヲモ十分ニ注意シナケレバイケナイト思フ
ノデアリマス、ソレデ今回馬政計畫ヲ立テ
マシタガ、其ノ馬政計畫ハ價格ニ關スル政
策ガ甚ダ貧弱デアツテ、之ヲ以テシテハ生
産力ノ擴充ガ困難デハナイカト云フ御話ノ
ヤウニ伺ヒマスアレドモ、從來ノ通り軍需
ノ方面ニ於ケル購買數モ、相當ノ數ニ上ボ

リマス外ニ、軍馬資源ノ滿洲移植ニ關
スル數モ、是レ亦相當ニ上ボツテ行カセ
ル全面的ノ計畫デアリマスノデ、之ガ爲
ニ需要方面ニ相當數ノ要求ガアルト思フノ
デアリマス、ノミナラズ朝鮮、臺灣等外地
ノ馬政ニ對シマシテモ、午前申上ゲマシ
タヤウニ、内地カラ相當數ノ供給ヲ致スコ
トニ相成ルノデアリマス、現在ニ於テモ若
干ヅツハ殖ヤシテ來テ居ルノデアリマス、
斯ウ云フ方面ノ仕事、竝ニ今回出シマシタ
軍用保護馬ノ飼養管理ニ致シマシテモ、從
來ハナカツタモノヲ新シク設置スルノデア
リマス、優良種牝馬ノ飼養補助金ノ如キモ、
相當數ノ優良種牝馬ニ對シテ之ヲ交付スル
ト云フコトニナリマス、今回ノ馬政計畫竝
ニ之ニ伴フ豫算ノ全貌ノ全面的ノ關係カラ
致シマシテ、今回ノ政策ハ、私ハソレヲ絶
對トハ申シマセヌガ、相當程度ニ、只今御
話ノヤウナ目的ニ對シテ、貢獻スルコトガ
出來ルデアラウ、隨テ内地ニ於ケル保有ノ
馬數モ其ノ目的ヲ達シ得ルノデハナカラウ
カト考ヘテ居リマス、勿論今ノ豫算ナリ計
畫ヲ以テ完璧ナリトハ、私共ト致シマシテ
モ考ヘテ居リマセヌ、モツト交付致シタ方
ガ宜イト思フ補助金モ、財政上ノ關係係其
ノ目的ヲソレ程ニハ達シ得マセヌシ、其ノ

他ノ飼育手當ニ付テモ、只今御話ノ通り少
額デアリマス、併シ斯ウ云フ全體ノ組織ヲ
最モ有效ニ活用致シマスレバ、此ノ計畫ノ
遂行ニ遺憾ナキヲ得ルノデハナカラウカト
考ヘテ居リマス

○大石委員 農林大臣御出席デアリマスカ
ラ……

○森田委員 農林大臣ニ對スル質問ハ私ノ
方デ留保シテ居リマスガ……

○東委員長 ソレデハ森田君

○森田委員 午前中ニ私ハ拓務大臣ニ對シ
テ、滿洲ニ於ケル農業經營ノ根本原則カラ
致シマシテ、滿洲ノ農業ヲ發展サセル爲ニ
ハ、馬ガ極メテ必要ダト云フコトヲ申上ゲ、
無論之ニ其ノ通りダト云フ御答ガアリマシ
タ、隨テ内地カラ相當ノ馬ヲ滿洲ニ入レナ
ケレバナラナイト云フコトモ、數ハ明瞭ニ
シマセヌデシタガ、當局ノ御辯明モアツタ
ノデアリマス、一面又軍部ト致シマシテハ、
滿洲ニ付テハ國防上相當馬ノ保有ヲシナケ
レバナラナイ、斯ウ云フヤウナコトデアリ
マスルカラ、日滿全體ヲ通ジテノ馬政計畫
ト云フモノハ、舊來ノヤウナモノデハ到底
満足スルコトガ出來ナイト云フ非常ニ大キ
イ場面ニ、私ハ遭遇シテ居ルモノデアルト
考ヘマスノデ、内地ノ馬ノ生産家ノ立場ト

云フモノガ、今回ハツキリト基礎付ケラレ
テ居リマセヌト、是ハ將來ニ禍根ヲ貽スモ
ノダト私ハ考ヘルノデアリマス、隨テ只今
ノ馬ノ値ガ良イカラ、此ノ程度ノ法案宜
イト云ツタヤウナコトニハナラス、此ノ法
案ノ建前カラ言ツテモ、將來性ノアル建前
ナノデアリマスカラ、今ノ現狀ノミヲ以テ
シテ、此ノ法案ヲ批判シテ居ツタノデハ、
將來必ズ問題ガ起ルト考ヘマスルノデ、永
遠ノ計畫トシテ、一ツ私等ノ立場ヲハツキ
リサセテ見タイト思フノデアリマス、以上
ノコトヲ前提ト致シマシテ、内地ノ馬ノ生
産擴充ガ、如何ニ外地トノ關係ニ於テ重要デ
アルカト云フコトヲ基礎ニ致シマシテ、私
ハ更ニ内地ノ問題ニ付テ農林大臣ニ成ベク
簡單ニ質問シテ見タイト思フノデアリマス、
ソレハ内地カラ相當ノ移民ガ滿洲ヘ行クノ
デアリマス、之ニ依ツテ耕地ガ舊來ノ零細
農業ヨリ或ル程度緩和サレタ形ニナルダラ
ウト云フコトハ、一面想像ガ出來ルト思フ
ノデアリマス、ソレカラモウ一ツ最モ大キイ問
題ダト思ヒマスルノハ、今回ノ事變收拾ノ
大陸政策ニ基キマシテ、私ハ日本ノ國ガ相
當高イ程度工業化サレルデアラウト云フコ
トヲ、考ヘサセラレルノデアリマス、サウ
スルト農村ニ於ケル青年子弟ガ工業ノ盛シ

ナルニ隨ツテ、都市へ吸收サレト云フコトモ、是ハ相當長イ姿ニ於テ行ハレルノデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ農林大臣ハドウ云フ御所見デアリマスカ、一寸御伺シテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 森田君ノ第一點ノ御尋ハ、

此ノ馬政計畫ガ日滿ヲ一貫シテ綜合的ニ計畫サレタモノダト考ヘル、隨テ日滿ノ間ニ於ケル此ノ計畫ニ付テ、確タル成算ヲ持ツテ居ルカドウデアルカ、斯ウ云フコトガ第一點ノヤウニ記憶スルノデアリマス、第二點ハ戰後日本ノ國內ガ工業化スル傾向ガアルデハナイカ、サウスレバ農村ノ子弟ガ其ノ方ニ多數吸收サレル憂ガアリハシナイカ、斯ウ云フ風ナ御意見デアツタト考ヘマス、第一點ノ日滿ノ間ニ於ケル所ノ馬政計畫ノ關係ハ、是ハ此ノ計畫ヲ立テマス時カラ、其ノ點ニ付テハ十分ニ研究考慮致シマシテ、滿洲國トノ間ニ於キマシテモ雙方協定ヲ致シテ案ヲ立テタノデアリマス、隨ヒマシテ、或ハ政府委員其ノ他カラ御答辯申上ゲタカト思ヒマスケレドモ、年々一定數量ノ種牡馬タルベキ馬、又軍用馬ノヤウナモノヲ初年度ハ何頭、次年度ハ何頭、三年度ハ何頭ト云フ風ニ計畫的ニ向フニ出スコトニ相成ツテ居リマス、其ノ數字ハ或ハ御必要デア

リマスレバ、別ノ機會ニ御答シテモ宜シウゴザイマス、即チ計畫ヲ立テテ立案シタノデアリマス、而シテ滿洲へ或ル數ノ馬ヲ出シマス結果トシテ、内地ニドウ云フ影響ヲ及ボスカト云フコトニ付キマシテモ、豫メ之ニ對スル所ノ計畫ヲ立テアルノデアリマシテ、ソレニ依ツテ今回ノ馬政計畫ガ動搖スルト云フコトハナイヤウニナツテ居ルノデアリマス、第二點ノ、日本ノ前途ガ工業化スル結果トシテ農村ノ子弟ガ其ノ方ニ從業員ヲ多ク出ス、此ノ點ニ付キマシテハ私ハ或ル程度、農村ノ人口ガ工業方面ニ出ルモノト考ヘマス、今日軍需工業ノ如キ事業ニ付キマシテモ、相當數農村カラ其ノ方面ニ出テ居ルト考ヘマス、其ノ結果農村ノ勞力ノ缺乏ヲ來スト云フコトモ亦考ヘナケレバナラス所デアリマス、差當リノ問題ト致シマシテハ、今日之ニ對スル所ノ臨時ノ對策ヲ講ジテ居リマスケレドモ、將來ニ互ツテ日本ガ工業化スル場合ニ於ケル農村ノ勞力ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ根本的ニ考ヘナケレバナラスノデアリマシテ、ソレニハ私ノ考ハ何トシテモ農村ノ收入ノ増加ノ途ヲ圖ツテ、又農村ヲ樂土トシテ、而シテ農村ノ人々ガ都會其ノ他工業地ニ多

少出ルコトハ仕方ナイトシテモ、大部分ノ人ハ農村ニ留ツテ、農家ノ生活ヲ樂シムト云フヤウナ風ナ行キ方ニ行カケレバ、相成ラヌト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ十分ナル研究ヲ今日積マナケレバナラスト思ヒマシテ、今著々調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、若シ是ガ理想的ニ參リマスレバ、一旦農村ヲ離レテ都會ニ出タ工場従業員モ、或ハ逆ニ農村ニ歸ツテ來ル者ガ出テ來ルヤウナ傾向ニナラストモ限ラナイノデアリマシテ、其ノ點ニ付テ注意ヲ怠ラナイヤウニ致シタイト思ツテ居ルノデアリマス

○森田委員

農林大臣ノ田舎カラ人ヲ離サナイヤウナ施設ヲ致シタイト云フ御意見ハ、洵ニ結構ダト思ヒマスガ、併シ現實ノ問題ト致シマシテハ容易ニ抑フルコトノ出來ナイツノ事實ナルデアラウト云フコトヲ、憂ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ農村ニ於テ勞力不足ヲ致ス、此ノ勞力ノ不足ヲ何ニ依ツテ補フカ、サウナリマスルト自然馬ヨリ外ニハ此ノ途ガナイト思フノデアリマス、是ハ何人モ異論ノナイ所デアラウト思フノデアリマス、所ガ其ノ反面今回ノ事變ニ依リマシテ徵發馬ガ相當多ク出マシテ、結局母體ガ減少致シタ、其ノ馬ガ果シテ歸ツテ來ルヤ否ヤト云フコトニ付テハ昨日モ坪山サンカラ質問ガアツタノデアリマスケ

レドモ、ソレニ對シテハ當局ニ於テモハツキリ御答ガナカツタヤウデアリマス、又歸ツタトシマシテモ是ガ果シテドレダケノ生産力ガ殘サレテ居ルカト云フコトニモ、問題ガアリマセウカラ、其ノ點カラ考ヘマシテモ、馬ノ要求ガ大デアツテソレニ應フル生産力ガ惡イ條件ニアル、惡イ條件ニアリナガラ一面生産家ノ人數ヲ殖ヤスコトガ出來ルカト云フト、一軒ノ家デ養フ所ノ馬ノ數ヲ殖ヤスコトハ可能カモ知レマセスガ、養フ人、生産家ヲ殖ヤスコト云フコトハ、今日ノ日本ノ國ニ於テハ殆ド不可能ト云ツテ宜イ程ノ狀態ニ在リハシナイカト思フ、サウシマス、更ニ馬ノ要求大デアツテ、母體ノ條件ガ惡クテ、サウシテ需要ニ應ズルダケノ生産家ヲ殖ヤスコトガ出來ナイト云ツタヤウナ、非常ニ惡イ條件ニ今日ノ馬政關係ハ立タサレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、其處ヘ持ツテ來テ此ノ軍馬資源保護法案ト、種馬統制法案ガ出ル、種馬統制法案ニ付キマシテハ生産費低下ノ上カラ考ヘマシテモ、是ハ最モ好イ施設デアリマスカラ、私ハ此處デハ論ジマセスガ、此ノ軍馬資源保護法案ニ付テハ、國家ノ要求スル馬ノ標準ガ非常ニ高イ、而モ合格スレバソレハ相當ノ値デ賣レルデセウケレドモ、不合格ニナルト云フトソレハ

非常ニ安イ値デナケレバ賣レナイト云フ關係ガ入ツテ來マスコトガ一ツ、ソレカラ馬ノ鍛鍊其ノ他ニ色々經費ノ掛ルコトヲ軍ノ方デ要求ナサツテオイデナノガ、此ノ軍馬資源保護法案デアリマス、即チ更ニ人間ノ手間ガ非常ニ要ルト云ツタヤウナ形ニナリマス、私ハ國家ノ要求ト云フモノガ相當強イ力デ茲ニ入ツテ來テ居ル爲ニ、自然ニ發展シテ行ク馬產ノ關係ヲ阻止スル——阻止スルト言ツテハ少シ言ヒ過ギルカモ知レマセヌガ——目的ヲ強制スル爲ニ、生産家ノ方デ容易ニ之ニ順應スルコトノ出來ナイ矛盾ニ立タセラレテ居リマス爲ニ、此ノ生産家ハ非常ニ大キイ犠牲ヲ拂ハナケレバナラナイ立場ニ立タセラレテ居ルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ過般本會議デ農林大臣ノ御説明ヲ承リマスルト、是ハ單リ軍ノ要求バカリデハナク、産業上ノ立場カラモ此ノ案ト云フモノヲ支持シテ提案スルト云フヤウナ御説明ガ、アラレタヤウデアリマスルガ、併シ考ヘテ見マスルト云フト、若シ此ノ軍ノ要求ガナカツタナラバ、日本ノ馬格ト云フモノハドウ云フ所ニアルノデアルカト言ヒマスレバ、是ハ産業中心ノ耕馬ト云フコトガ中心ニナリマセウカラ、モット飼育費ノ掛ラナイ、

馬格ノ或ル程度低下シタル所ノモノデモ農業生産ノ上デハ満足シテモ宜イヤウナ要求ガ一ツ出テ來ハシナイカト、斯ウ考ヘサセラルレ、隨テ之ヲ一元化セラレタ馬ノ統制ト云フコトニナリマス、今ノ點ナドカラ考ヘマシテモ、私ハ産業上ノ要求ト矛盾ノ上ニ立ツト、斯ウ云フ風ナ考ガ浮ンデ來テナラナイノデアリマス、此ノ點ニ對シテ農林大臣ハドウ云フ御考ヲ持タレテ居リマスカ

○櫻内國務大臣 農村ノ勞力ヲ補給スル上ニ於テ、馬匹ノ必要デアルト云フコトハ、森田君ノ御説ノ通りデアリマス、隨テ農村經濟ヲ維持スル上ニ於キマシテ、殊ニ勞力不足ヲ補フ上ニ於テ、農家ニ於ケル馬匹ノ増加ヲ要求スルト云フコトモ、是亦論ノナイ所デアリマス、今御話ノ如ク今回ノ案ガ軍當局カラノ要求ニ依リマシテ、農林當局ニ於テモ之ニ賛成ヲ致シテ、此ノ馬政計畫ヲ立テテ今日御協賛ヲ仰グト云フニ至リマシタ其ノ理由ニ付キマシテハ、即チ軍事上ノ必要ガ一番重要ナルモノデアリマスケレドモ、是ト同時ニ産業上ニ輔翼ト申シマスカ、産業上ニ、助ケヲ致ス、斯ウ云フ意味ガ含マレテ居ルノデアリマス、即チ平常農家ニアリマス間ニ於キマシテハ、農

家ノ耕作ニモ使フノデアリマス、又運搬ニモ使フノデアリマス、總テ農家ノ勞力不足ノ補ヒヲ平常是ガ爲スノデアリマス、隨テ馬政計畫ヲ立テテ、馬匹ノ増殖ヲ圖ルト云フコトハ、取リモ直サズ勞力ノ不足ヲ補フ上ニ於テ、少ナカラザル貢獻ヲ爲スト云フコトハ、等フベカラザル事實デアルト思ヒマス、多分森田君モソレハ御認メニナルコトト考ヘルノデアリマス、唯森田君ノ御話ノ如ク、軍用資格馬ト致シマスノニハ、馬ヲ養フ上ニ於テ、農家ニ於ケル所ノ耕作馬ト違ツテ澤山ナ金ヲ要スル、又其ノ飼育ニ少ナカラザル費用ヲ要スル、若シ農村ニ於ケル所ノ耕作ニ使用スル馬デアラナラバ、其ノ飼養費モ少クテ済ム、隨テ若シ産業上ノ意味デアラナラバ、此ノ飼育費ノ安イ馬ヲ多ク増殖シタラ宜イデハナイカ、斯ウ云フ風ナ御議論デアルト考ヘマス、其ノ點ハ御考ノ如ク、若シ軍事上ノコトヲ考ヘズシテ、所謂劣等ト申スト語弊ガアルカモ知レマセスケレドモ、軍馬ノ如キ相當ニ資格ヲ具ヘタ馬デナクトモ、耕作用ニハ間ニ合フト考ヘマス、併シナガラ併用ト云フ見地カラ考ヘマス、一面ニ於テ一朝事ガ有ツタ時ニ於テハ軍用馬トナリ、平時ハ農家ノ用ヲ足ス、此ノ建前ガ國家トシテ執ル

ベキ方針デアルト考ヘマスノデ、平常ノ飼育費ノ多少多クナリマスコトハ、ドウモ已ムヲ得ヌコトデアリマスケレドモ、軍事上ノ必要ニ應ズル爲ニ、平素カラソレダケノ準備ヲ致シテ置クト云フコトガ、最モ適當ナル措置デアラウト考ヘルノデアリマス、又平素ニ於キマシテモ、總テノ條件ノ具備シナイ、牽引力ニ於テモ弱イ、又種々ナル働キノ點ニ於テ劣ツタ馬ヲ使フヨリモ、優良ナル所ノ軍馬トナリ得ベキ資格ノアル馬ヲ造ツテ置キマスレバ、其ノ働キハ自ラ劣等ナル馬トハ違ツテ、働キモ多クナルコトデアリマスノデ、其ノ點ニ於テ私ハ經濟ガ保チ得ルノデハナカラウカト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、唯御話ノ如ク、軍馬タラシムルガ爲ニ要スル所ノ特別ナル費用ト、平常軍馬デアリ所ノ馬ヲ飼育スル費用トノ差ハ、相當アルノデアリマシテ、此ノ負擔ノ中ノ一部分ヲ國ニ於テ助成シテ行ク、斯ウ云フ建前ニナツテ此ノ案ガ出來テ居ルノデアリマス

○森田委員 大體ニ於テ諒承致シマシタ、ソコデ問題ニナルノデアリマスガ、結局此ノ國策ニ準ズル意味ニ於ケル犠牲ヲ、何人ニ於テ負擔スベキヤノ問題、是ハ只今農林大臣ノ御説明ニ依リマシテモ、軍ノ方デ相

當額ノ補助ヲ出シテト、斯ウ云フノデアリマスガ、ソレハ先程大石先輩カラモ御話ガアリマシタヤウニ、旅費日當ト申シマス、一日三十五錢カサウデアリマス、ソレハ無イヨリハ宜イト致シマシテモ、非常ニ低イ程度ノモノダト私ハ考ヘル、結局之ヲ自然調節ノ姿デヤラウト致シマス、二ツノ方法シカナイト私ハ考ヘマス、二ツノ方法トハ何デアルカト云フト、結局生産費ノ低下ト價格維持ノ問題ニ付キマシテハ、先程大石先輩カラモ御話ガアリマシタガ、資料トシテ戴キマシタ最近五箇年間ニ於ケル「軍馬補充部購買馬ノ購買價格ト物價指數トノ比較對照表」ト云フモノヲ拜見致シマシテモ、一般物價指數ノ向上シテ行ク姿ト、軍馬ノ高クナツテ行ツタ姿トヲ見マスルト、相當ノ懸隔ガアルノデアリマス、既ニ軍ニ於テ價格ノ中心ヲ成シタ指數ニ於テサヘ、斯ウ云フヤウナ事ニナツテ居ルノデアリマスカラ、外ノ場合ニ於ケルソレハ、殆ド御話ニナラナイヤウナ形ニナツテ居ルコトハ、是ハ明カダト思フ、ソコデ私ハ此ノ價格維持ノ根本的ナ方法トシテハ、ドウシテモ競馬ヲ或ル程度マデ許シテ行クト云フコトガ必要ダト考ヘルノデアリマス、然ルニ今回御提案

ニナリマシタ軍馬資源保護法ノ内容ノ、所謂地方競馬ニ代置セラレタ競走法ノソレニ依リマスルト、條件ガ非常ニ制限セラレテ居ルノデアリマス、私ノ憂フルノハ、今ハ多少馬ノ値段ハ好イノデアリマスカラ、今ナラバ何トカソレハヤツテ行ケルカモ知レマセスガ、將來ノ問題トシテ論ジマスルト、此ノ法案ニ書カレタヤウナ、非常ニ狭イ條件ノ下ニ於テ、軍馬資源保護トシテ「イデオロギー」的協力ニ依ル鍛鍊ハ、或ル程度マデ目的ハ達セラレルカモ知レマセスガ、價格調節ノ上カラ考ヘタ目的ト云フモノハ、相當缺ケタ状態ニナツテ來ルト私ハ思フノデアリマス、是ハ相當大キイ問題デアリマシテ、本案ノ中デ最モ爭ヒニナル、意見ノ多イ問題ハ、此ノ點ニ懸ツテ來ルト私ハ考ヘルノデアリマス、デ私等ノ考ヲ以テ致シマスレバ、一縣一箇所ト言ハルモノモ原則トシテ一縣一箇所デ宜イノデアリマスケレドモ、場合ニ依ツテハ例外ヲ御認メナサレタラドウデアラウカ、ソレカラ今マデ一縣三箇所アツタモノヲ、一箇所ニ縮メラレタノデアルカラ、其ノ出走日數ヲモウ少シ延バスヤウナ形ニナサレタラドウカ、更ニ他管區カラ入ル馬モ、或ル程度マデ許サユナ方法ヲ執ラレタラ如何カ、サウ云フヤ

ウナコトヲ非常ニ嚴重ニナサレタノデハ、結局ニ於テ馬ノ値段ノ調節ガ出來ナイコトニナツテ、殘ルモノハ何デアアルカト云フト、軍ニ依ツテナサレタ力ニ依ル統制デアアル、恐ラク日本ノコトデアリマスカラ、ソレハ行ヘト云ヘバ喜ンデ行フデアリマセウガ、併シ色々管理ノ方法ナドガ煩瑣ニナリマスカラ、今ノ値段ナラ宜ウゴザイマスガ、將來馬ノ値段ガ一旦安クナリ掛ケテ來タ時ニハ、恐ラクハ馬ガ牛ニ乗替ヘラレルト云フヤウナ現象ガ、必ズ起ツテ來ルト私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ先程カラ申シマシタヤウニ、日滿支ヲ一體トシタ更ニ内地ノ勞力ガ不足ニナルデアラウ將來ノ見透シノ上ニ立チマスト、ドウシテモ競馬ト云フモノハ、或ル程度御許シナサルコトガ、即チ私ガ今申上ゲマシタヤウナ程度マデ緩和ナサルコトガ、私ハ極メテ必要ナ一事ダト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ對スル農林大臣ノ御所見ヲ御伺シタイ

○櫻内國務大臣 馬ノ價格ヲ維持スル上ニ於テ、單ニ軍當局ノ馬匹買上ニノミ依存セズシテ、一般的ニ馬ノ價格ヲ維持スルノニハ、競馬ヲモウ少シ獎勵シテヤツタラドウデアルカ、或ハ今日一縣一箇所ト云フ案ヲ特例ヲ設クルトカ、或ハ競馬開催ノ日數ヲ殖ヤストカ云フ方法ヲ講ズルコトガ適當デハナイカ、斯ウ云フ風ナ御意見ノヤウニ拜聽致スノデアリマス、御意見トシテハ私モ或ル程度之ニ同意ヲ表スル者デアリマスケレドモ、現在當局ト致シマシテハ、今回提案ヲ致シマシタ即チ春秋二回、四日間ヅツ、各縣一箇所デ先ヅ目的ハ達スルノデハナカラウカ、殊ニ隣縣若クハ他縣ノ馬ヲ、其ノ縣ニ持ツテ來テ出走セシメルト云フコトニ付キマシテハ、其ノ縣々ノ馬匹ヲ増加セシムル上ニ於テ、寧ロ縣ヲ限ツタ方が、或ハ増産ノ目的ヲ達シ易イノデハナカラウカト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマス、競馬會ノ問題ニ付キマシテハ、御承知デモアリマセウガ、明治四十四年デアリマシタカ、一時全國ニ非常ニ競馬ガ勃興致シマシテ、遂ニ是ガ大キナ問題トナリマシテ、風教上ドウシテモ馬祭ヲ禁止シナケレバナラスト云フノデ、遂ニ一遍一時全然禁止サレタノデアリマス、其ノ後今日ノ公認競馬場ト云フモノガ復活サレマシテ、其ノ公認競馬場ニ限ラレテ居ツタノデアリマスケレドモ、其ノ後ニ至ツテ此ノ競馬ノ必要ナコトガ認識セラレテ、地方競馬規則ト云フモノガ出來テ、ソレニ依ツテ今日ノ競馬場ガ出來テ居ルノデアリマスケレドモ、之ヲ相當秩序

アルモノニシテ、サウシテ一定ノ統制ノ下

ニ競馬ヲ施行セシムルコトガ、馬教上ノ利益ガアルノミナラズ、又馬事教育ノ上ニ於

テモ其ノ方宜イデハナイカ、即チ地方競馬ヲ公認シテ、之ニ依ツテ何人ガ競馬場ニ

入ツテ見テモ設備ガ完備シテ居ル、斯ウ云フ風ニシタ方ガ宜イデハナイカ、斯ウ云フ

建前カラ今回ノ改正案ガ出テ居ルノデアリマスカラ、競馬日數ヲ殖ヤストカ、或ハ臨

時ニ特例ヲ設ケテ、一縣一箇所以外ニ設ケルトカ云フコトニ付キマシテハ、北海道ハ

御承知ノ通り今回モ三箇所認メルノデアリマシテ、將來或ハサウ云フコトガ起ラスト

ハ私申シマセスケレドモ、現在先ヅ之ヲ一ツノ法律ノ下ニ規定シテ統一シテ行キマス

ノニハ、差當リ一縣一箇所トシテ之ヲ施行スルコトガ適當デアラウト、斯様ニ考ヘタ

ノデアリマス、四日ト云フ議論ト、六日ト云フ議論ガ相當アリマスケレドモ、先ヅ四

日間ツツヤレバ、大體ニ於テ競馬ノ目的ハ達スルデハナカラウカ、サウ云フ風ナ研究

ノ結果カラ致シマシテ、只今ノヤウナ提案ニナツタノデアリマス、將來色々實情ニ

照シテ、或ハ變更スル必要ガ起ルカモ知レマセスケレドモ、今日現在ニ於キマシテハ、

先ヅ此ノ程度ニ於テ御諒承願ヒタイト思フ

ノデアリマス

○森田委員 馬ノ値段ニ對スル考ヘ方ハ、

アトハ意見ノ相違ニナルト思ヒマスカラ、此ノ程度ニシテ置キタイト思ヒマス、繰返

シテ申上ゲマスガ、日本ノ農村ガ勞力不足ニナルデアラウト云フコトハ、日本ノ大陸

政策ガ實行サルル限り、ドウシテモ避ケ得ナイ一ツノ現象ニナルデアリマシテ、今

日ニシテ此ノ對策ヲ講ジテ置キマセヌト、必ズヤ果ヲ貽スヤウナコトニナルト考ヘマ

スカラ、ドウカ其ノ點ニ付テハ速ニ御對策ヲオ立テアラントラ御願致シタイト思ヒ

マス

次ニ生産費低下ノ問題ニ付デアリマスガ、是ハ既ニ一通リ議論サレタヤウデアリ

マスカラ、詳シイコトハ申上ゲマセヌガ、要點ヲ擧ゲマシテ、當局ノ御施設ノアル所

ヲ御伺致シタイノデアリマス

第一ニ考ヘラルルコトハ、獸醫ノ公營ト云フコトデアリマス、ソレハ都會ニハ獸醫

ガ居リマスケレドモ、馬ノアル離レタ村ナドニハ、却テ獸醫ガ居ラスト云ツタヤウ

ナ實情ニアル、隨テ費用ガ非常ニ掛ルト云フコトニナルヤウデアリマス、故ニ公營ヲ

ナサレテハ如何カト云フ一ツノ議論ガアルノデアリマスガ、之ニ對スル御所見ヲ承リ

タイ

第二ニ飼料ノ合理的經營ニ對スル研究所

ノ問題デアリマス、是ハ馬以外ノモノニ對シテハ、或ル程度ノ御施設ガアルヤウデア

リマスガ、馬ノ飼料ニ對スル合理的研究ハ爲サツテ居ラナイト云フコトデアリマス、

之ニ對シテ將來ドウナサレルオ積リデアルカ、此ノ點ハ馬ノ生産率ノ問題ナドニモ影

響シテ參リマスノデ、私等ハ今回ノヤウナ馬政計畫ヲ立テルニハ、最モ先ニ著手スベ

キ事柄デハナカラウカト思ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテハ如何デアリマス

カ

其ノ次ニ衛生上ノ設備トシテノ獸疫調査所ノ擴充ノ問題デアリマスガ、是モ管々シ

イコトハ申上ゲマセヌガ、今農林省デ御施設ナサツテオ居デノ範圍内デハ、連モ此ノ

大計畫トシテノ馬政計畫ニハ、私ハ即應スルコトガ出來ナイト考ヘルノデアリマシ

テ、之ニ對シテモ新ナル御檢討ヲナサツテ、將來御計畫ヲ立テル必要ガアルト考ヘ

ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル御所見ハ如何デアリマスカ

其ノ次ニ自作馬ノ創設ト云フコトデアリマスガ、自作馬ト云フ言葉ガ果シテ妥當ナ

言葉デアルカドウカ、私ニモ分リマセヌ

ガ、詰リ小作自作ノ小作馬——、田畑ヲ耕

作シテ居ル場合ノソレヲ其ノ儘借りテ來テ自作馬ト云フコトヲ言ツタノデアリマス、

私等ノ地方ニ參リマス、或ル金主ガアリマシテ、馬ヲ買ツテ貸付ケルノデス、サウ

スルト其ノ借りタ人ガ其ノ馬カラ生レタ子供ヲ——大抵二歳ノ仔ヲ賣ルノデスガ、其

ノ賣ツタ時ニ、半分分ケトカ、或ハ二分トカ三分トカニ分ケルト云ツタヤウナ形デ

ヤツテ居ルノ小作馬ト言フノデス、所ガ此ノ爲ニ馬ノ生産高ト云フモノハ高マツテ

來ナイヤウナ形ニナツテ居ルノデアリマスカラ、低利資金ヲ融通シテ、自作馬ト云フ

モノヲ作ルヤウナ、詰リ自作農創定法ニ準ズルヤウナコトヲ馬ノ方ニ御適用ナサル御

意思ハナイカドウカ、此ノ點一ツ御伺致シマス、最後ニ、是ハ本會議ニ於テモ問題ニ

ナリ、更ニ此ノ委員會ニ於テモ既ニ議論シ盡サレタコトノヤウニモ思ヒマスガ、繰返

シテモウ一遍大臣ニ御願致シタイコトハ、東北地方、其ノ他全國ニモアリマセウガ、

國有林野ノ開放問題ナノデアリマス、是ハ大臣モ營林關係ニ影響ノナイ限り開放ナサ

ルト云フ御明言デアリマシタガ、此ノ間戴キマシタ資料ニ依ツテ見マシテモ、青森縣

ニ於ケル所ノ營林關係ト云フモノハ、他地

方ト比較致シマシテモ、相當廣汎ナル面積

ニ互ツテノ森林ガアルノデアリマシテ、治

山、治水ノ上カラ考ヘマシテモ、或ル程度

ノ開放ヲシテモ私等ハ差支ナイト云フ確信

ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ヲ一ツ

十分御調査下サイマシテ、ドウカ東北地方

ノ特殊性ヲ更ニ御検討下サイマシテ、此ノ

點ダケハドウカ此ノ案ヲ通ス爲ニ、而モ先

程政府委員カラノ御説明ニモアリマシタヤ

ウニ、東北ナリ或ハ北海道地方ガ中心ニナ

ツテ居ルモノダト云ツタヤウナ御話モアリ

マシタノデアリマスルカラ、特ニ東北地方

ノ爲ニハ此ノ點ヲ御考慮下サイマシテ、御

開放アランコトヲ此ノ席ニ於テハツキリト

御斷言下サイマスヤウ御願致シマシテ、私

ノ質問ヲ打切りタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 森田君ノ第一ノ御尋ハ、

獸醫ヲ公營ニシタラドウカ、斯ウ云フコト

デアリマスガ、此ノ問題ハ今日ハ未ダサウ

云フ計畫ヲ致シテ居リマセヌ、今ハ御承知

ノ通り専門學校其ノ他ノ卒業生ヲ基礎トシ

メマシタナラバ、其ノ時ニハ其ノ事ヲ計

畫シテ見タイト思ヒマスケレドモ、是ハ

先ヅ研究致ス、斯ウ云フ風ニ御承知ヲ願ヒ

タイト思ヒマス、第二點ノ飼料ノ合理的研究

ト云フモノニ付テ、研究シテ居ルカト云フ

御話デアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテ

ハ最モ必要ヲ認メテ居ルノデアリマシテ、

今總テノ家畜ニ付テ研究致スト同時ニ、馬

ニ付テモ研究致シタイ、斯様ニ思ツテ其ノ

實行方法ニ付テ考慮ヲ致シテ居リマス、第

三ノ獸疫調査所ノ擴充問題、是モ全く同感

デアリマス、隨テ將來此ノ擴充ニ付テ十分

考慮致シタイト思ヒマス、ソレカラ自作馬

ト申シマスカ、此ノ事ニ付テハ御話ノ御意

見洵ニ御尤ノヤウニ考ヘマスノデ、十分ニ

取調ヲ致シマシテ、相當ナ方法ヲ講ズルヤ

ウニ致シタイト思ヒマス

最後ニ希望付御質問ノヤウデアツタト思

ヒマスガ、東北ノ國有林ヲ開放シテ牧野ヲ設

ケルト云フ問題ニ付キマシテハ、本會議ニ

於テモ御答辯申上ゲマシタ通り、營林上差

別ニ研究ヲ致シ、調査モ致シタイト思ツテ

居リマス、勿論全國的ニ此ノ事ニ付キマシ

テハ調査研究ヲ致ス考デアリマスガ、特ニ

東北ノ問題ニ付キマシテハ考ヘテ、出來ル

ダケ御意見ニ副フヤウニ致シタイ、斯ウ思

フノデアリマス

○東委員長 大石君

○大石委員 私ハ農林大臣ニ先般本會議ノ

當時時間ノ都合上御尋致シ兼ねマシタガ、

是ハ第二次馬政計畫ト申シマセウカ、或ハ

新馬政計畫ト唱ヘルノデアリマセウカ、先

般樹立セラレマシタル第二次馬政計畫三十

年ノ期限ガ未ダ半バニモ、十分ノ一ニモ達

セザル内ニ、此ノ馬政計畫ヲ改變セラレ

タ、ソレデハ寧ロ私共ハ新馬政計畫ト見

テ御尋ヲシタイト思ヒマス、我國ニ於キマ

シテハ馬ハ固ヨリ國防上重要ナル使命ヲ有

ツテ居ルコトハ論ズルマデモアリマセヌ、

又馬產計畫上ニ於キマシテモ常ニ國防ト云

フコトハ閑却致シテ居ラス、重キヲ置イテ

來テ居ツタ譯デアリマス、然レドモ戰爭ハ年

争ニ依ツテ國ガ安定シテ行カネバナラス、

國ノ安定ハ所謂國民生活ノ安定デアアル、農

林省トシテ馬ヲ管轄シ來ツタ所以モ此處ニ

在ル、會テ馬政局ハ陸軍省ノ外局トナツテ

居リマシタ時代モアリマスケレドモ、明治

維新以來各省管轄ノ制度ニナリマシテ、主

管大臣ガ出來マシテ、ソレノ主管ノ事

務ヲ監督致スコトニナリマシテ、馬ハ農林

省ニ屬シテ來タノガ多イノデアリマス、是

ハ國防ト産業トヲ比較致シマシテ、ドチラ

ガ重クドチラガ輕イト云フコトヲ論ズルノ

デハアリマセヌガ、ヤハリ國防上有事ノ日

ニ馬ガ必要デアルト同様ニ、平時ニ於テ國

民ノ生活上、産業ノ維持保護上、最モ重要

ナル使命ヲ有ツテ居ルモノト、考ヘラレマ

ス、デアリマスカラ常ニ農林省ニ此ノ馬ノ

主管ヲ爲サシメテ、國民ノ生活及ビ産業ノ

維持保護ノ爲ニ盡ス、一朝事アル時ハ之ヲ

國防ニ供與スル、斯様ナ見地ニ立ツテ第一

次馬政計畫、第二次馬政計畫ヲ計畫セラレ

タ、又國民モ其ノ積リデ以テ馬ノ生産、育成、

利用ニ從事シテ參ツタノデアリマス、然ル

ニ昨年軍ノ要求ニ依リマシテ、農林省ハ從

來ノ計畫ヲ一變シタ、所謂軍馬本位、軍馬

第一主義トシテ産業及ビ國民生活ト云フモ

ノハ第二義的ニスル、斯ウ云フ立場ニ立ツ

第六類第九號 軍馬資源保護法案外一件委員會會議錄 第四回 昭和十四年二月十六日

三

テ來タノデハナイカト觀測セラレル節ガアリマス、ソレハ將來ノ馬政國策上重要ナル根本ノ問題デアルカラ、之ヲ吾々明ニシテ置カネバナラスト思ツテ御尋スル次第デアリマス、此ノ度農林省馬政局ニ於テ御出シニナツタ「内地馬政計畫提要」ヲ拜見致シマスト、冒頭ニ「書イテアル」「有事ニ際シ軍馬ノ供給ヲ容易ナラシムルト共ニ努メテ産業ニ及ボス支障ヲ輕減シ廣義國防上ノ要求ヲ充足スル爲軍所要ノ有能馬特ニ戰列部隊所要ノ有能馬ヲ供給スルヲ主眼トシ銳意内地保有馬ノ資質向上ヲ圖ルト共ニ産業上ノ基礎ニ立脚シ生産力ヲ擴充シ以テ從來ノ内地保有馬數百五十万頭ノ維持ニ努メ」云々トアリマス、此ノ初頭ニ「有事ニ際シ軍馬ノ供給ヲ容易ナラシムルト共ニ努メテ産業ニ及ボス支障ヲ輕減シ」トアリマシテ、非常ニ産業ニ對シ消極的方針ニ變化シテ來テ居ル、單ニ馬政計畫上ノ變革バカリデハアリマセヌ、國民生活ノ上ニ、我國ノ産業ノ維持保護ノ上ニ是ハ非常ナル變革ヲ來スモノト見ナケレバナラスノデアリマス、時ハ我國未曾有ノ大變變、日支事變ノ眞最中デアリマス、斯様ナ場合ニ於テハ、此ノ様ナ議論ハ成ベク避ケネバナラス、好マシイモノデハナイケレドモ、併シナガラ吾々國民生活、

國ノ産業ノ維持確保ノ見地カラスレバ、是ハ馬政局トシテノ根本方針ニ重大ナル關係ガアルト存ジマスノデ、敢テ此ノ點ヲ御尋シタイノデアリマス、私ハ斯様ナ書キ方ヲシテ居ラレマシテモ、馬ハ盡ク軍本位デハナイ、産業ヲ無視スルモノデハナイ、輕視スルモノデハナイト云フ見解ヲ持ツテ居ラレルト信ズルノデアリマスケレドモ、餘リニモ是ハ露骨デアリマス、「産業ニ及ボス支障ヲ輕減シ」トアリマス、輕減スルノデアリマスカラ、産業ニ支障ノアルト云フコトヲ裏書スルノト同ジヤウナ書キ方デアリマス、支障ガナケレバ輕減スル必要ハアリマセヌ、ソレヲ根絶スル、或ハ芟除スル、或ハ更ニ産業ヲ助長サセルト云フヤウニ、モウ少シ積極的ニ行カナケレバナラスガ、極端ナル消極主義デアツテ、軍馬本位ニ總テノ日本内地ノ馬ヲ生産シ、育成シ、保有シヨウト云フ建前ニ變ツテ來タ、是ハ國策上重大ナル關係アリト存ジマシテ改メテ御尋ヲ致ス所以デアリマス

○櫻内國務大臣 只今ノ大石君ノ御質疑ハ、馬政計畫ノ根幹トナルベキコトハ所謂産業計畫ニ立脚スベキモノデアル、然ルニ今回ノ新馬政計畫ハ軍馬本位ニナツテ居ル、此ノ點ニ付テノ考ハドウデアルカ、斯ウ云フ風ナ御質疑デアルヤウニ思ヒマス、私ハ馬匹ガ單ニ軍事上重要ナル役目ヲ爲スノミナラズ、平素農村ニ於テ——單ニ農村ノミナラズ産業界ニ於テ最モ重要ナル役目ヲ致シテ居ルト云フコトヲ確信致ス者デアリマス、隨テ馬政計畫ヲ立テマスル場合ニ於テ、此ノ點ニ付テ十分留意スルト云フコトハ當然ノ事柄デアリマス、大石君固ヨリ御承知デアラウト思フノデアリマスガ、昭和十一年ニ定メラレマシタ馬政第二次計畫デアリマシタカ、其ノ時ニ於キマシテモヤハリ軍事上、國防上必要ナル有能馬、殊ニ有能乘輓馬ノ充實ヲ圖ルコトガ必要デアルト云フノデ、其ノ見地カラ第二次馬政計畫ガ出來タト記憶シテ居リマス、此ノ度ハ今回ノ支那事變ノ實驗ニ徴シテ、又現在ノ國際環境ノ立場カラ、將來ノ軍事上ノ馬匹ノ必要性ガ基礎トナリマシテ、軍當局カラ從來ノ計畫ニ付キ之ヲ改メテ軍用適格馬ノ増産ヲ圖ツテ貰ヒタイ、斯ウ云フ風ナ希望モアリマシタ、ソレデ馬政局ト致シマシテハ、其ノ軍用上ノ有資格馬ヲ増産スルト云フコト、内地ノ産業上ノ必要ノアル馬ノ増産ト、之ヲ睨合セマシテ、平時ニ於テハ之ヲ産業上ニ使用シ、而シテ國防上徵發ノ必要アル場合ニ於テハ徵發ニ應ゼシムル爲ニ、是々ノ

計畫ノ下ニ此ノ計畫ヲ立テルコトガ必要デアル、斯ウ考ヘテ今回ノ計畫ガ出來上ツタノデアリマス、デ今回ノ計畫ノ順序カラ申シマスト、今大石君ノ御話ノ如ク、ドウモ軍馬本意ニシテ居ルデハナイカ、戰争ト云フモノハ一時ノモノデアツテ、平常ノ時代ガ長イ、故ニ馬政計畫ヲ立テルノニハ平素ノ産業的見地カラ馬政計畫ヲ立テナケレバナラスデハナイカ、斯様ナ御意見ノヤウニ拜聽致スノデアリマスガ、洵ニ仰セ御尤デアリマス、農林當局ト致シマシテハ、一面ニ於テ産業上必要ナル所ノ馬匹ノ増産ヲ圖ルト共ニ、一面ニ於テ國防上ノ見地カラ馬匹ノ缺陷ヲ補ヒタイ、此ノ兩建デ來テ居ルノデアリマス、唯從來ノ第二次計畫ヲ基礎トシテ茲ニ變改ヲ爲スコトノ提案ヲ致シテ御審議ヲ願フ所以ノモノハ今マデ御説明申上ゲマシタ通りニ、軍カラノ要求ガ基礎トナツテ居リマスケレドモ、其ノ軍カラノ要求ト、産業上ノ今日勞力不足シテ居ル兩面カラ考ヘマシテ、種々研究致シマシタ結果、此ノ法案ヲ提出シタヤウナ譯デアリマスカラ左様御諒承願ヒマス

○大石委員 ソレハ軍馬本位デモ産業本位デモドチラデモ宜シウゴザイマス、私ハ本來馬ノ立前ハ、ドウシテモ國民生活ト直接

關係ヲ持チ、國內産業ニ直接關係ヲ持つテ居ルモノデアルト思フ、同時ニ他國國防上ニ關係ヲ持つテ居ルノデアリマスカラ、ヤハリ是ハ只今大臣ノ御話ノ如ク兩建デ、所謂國防産業ノ並行ノ建前ニ立ツテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマス、大臣ノ只今ノ御説明中ニ兩建ヲ以テ行クト云フ御話デアリマス、併シナガラ第二次馬政計畫ガ昭和十一年ニ定メラレマス時ニ於テハ滿洲事變ノ直後デアリマスカラ、滿洲事變カラ取入レラレタ所ノ軍ノ要望ト云フモノガ多分ニ盛ラレテアルト思フノデアリマス、勿論ソレハ私共將來ノ我ガ日本ノ立場——詰リ支那事變ノ如キモノガ一昨年突如トシテ起ツテ、斯様ニ擴大シテ、長期建設ヲ叫バナケレバナラストニ至ルトハ豫想出來ナカツタノデアリマス、然レドモ「滿國境ノアノ關係ヲ考ヘマス時ハ、國民ハ口ニ言ハズトモ、必ズ近ク來ルベキモノハ所謂「ソ」滿關係デアラウ、即日「ソ」關係デアラウト豫想致シテ居ツタ、ソレガ轉ジテ日支關係ヲ惹起シタノデアリマス、此ノ關係ガ所謂北支ノ用兵作戰、或ハ中支ノ用兵作戰ガ、遂ニ尊キ經驗ヲ軍部ニ與ヘ、軍部ハ第二次計畫ノ樹立ニ對シテ到底満足スルコトガ出來ズ、茲ニ軍ノ要望ナルモノガ現ハレタノ

デアリマス、是ハ軍トセラレマシテ萬已ムヲ得ザル措置デアツテ、私共ハ之ニ對シテ彼此レト申シタクハナイ、軍ノ要望スル所ヲ、ヤハリ此ノ時局ニ際シテ、將來ノ我國ノ立場ニ考ヘテ容レルコトニ咨デナイコトハ私モ同ジデアリマス、併シ軍ノ要求ハ、別段産業ノコトニ付テ研究セラレテ居ラナイノデ、唯軍ハ軍トシテノ要求ヲセラレテ居リマス、所ガ此ノ要求ヲ第一基準トシテ容レルルニ當ツテ、而モ茲ニ書出シタ綱領ヲ見マス、是ハ甚ダ兩建ヲ失ツテ居ルト私ハ思フ、第二次馬政計畫ニ於テ、滿洲事變直後ニ乘馬一元論ガ陸軍ノ一部カラ起リマシタ當時、私ハ陸軍ノ或ル現役ノ相當ナ人ニ向ツテ、一體軍馬ハ機械デアルカ、動物デアルカ、アナタハドウ考ヘルノカト奇問ヲ發シタコトガアリマス、若シ動物デアラバ、動物ニ對スルダケノ御考ヲ願ハナケレバナラスト、機械デアラバ、機械トシテノ御取扱ヲ願ツテ宜シイ、斯ウ云フ意味デ私ハ詰問ノ意味デナクテ、半分ハ冗談交リノ心安立テノ質問デアリマシタケレドモ、自ラソコニ含蓄ガアツタと思フノデアリマス、日本ノ第一次馬政計畫ハ、日清戰爭ノ經驗所謂日本馬ノ能力ノ不足、國防上缺陷ヲ生ズル、仍テ第一次馬政計畫ガ茲

ニ立テラレマシテ、ソレカラ日露戰爭等ノ經驗ヲ積ンデ、兎モ角乘馬、挽馬——農林省ニ於テハ更ニソレヲ細分シテ輕乘馬、重乘馬、輕挽馬、重挽馬ト分ケテ、生産者ヲ指導ナサレタノデアリマス、需要者モ亦是等ヲ考ヘテ利用シ、飼育シ、育成シテ參ツタノデアリマス、第一次馬政計畫ガ三十年間ヲ過ギテ、第二次馬政計畫ヲ定メラレタ所ガ乘馬一元論ヲ唱ヘラレタ時、ドウモ今マデノ三十年間ノ指導ヲドウスルカ、成程一元モ宜イケレドモ、今マデハ一元デハナイ、區分ヲシテチヤント明瞭ニシテ獎勵ヲシ、ソレニ依ツテ三十年ノ結果ヲ得タ、然ルニ軍ノ作戰、用兵、裝備ノ上カラ申シマスト、日清戰爭ノ當時、日露戰爭ノ當時、滿洲事變ノ當時ト、斯ウ併セ考ヘマスト段々裝備ガ異ツテ參リマシテ、殊ニ北支方面滿洲方面、或ハ「シベリヤ」ト云フヤウナコトヲ豫想致シマスト、一段ト裝備ガ非常ニ重クナツテ來タ、從來ノ負擔量二十數貫位ノモノガ、今日ハ三十何貫ノ裝備ニナツテ來タ、殊ニ防寒具其ノ他色々携帯品ガ、日露戰爭、日清戰爭ノ時ヨリモ加ツテ參リマシタカラ、馬ノ負擔量ヲ俄ニ増加スルコトナツテ參リマシテ、斯様ナ關係カラ、折角三十年間掛ツテ造ツテ馬デハ間ニ合ハヌ

ト云フ結論ニ達シタ、軍トシテハ是ハ已ムヲ得ナイ、用兵作戰上ノ裝備改善デアリマセウ、併シ動物トシテノ馬ニ對シテハ註文ガ無理過ギルト私ハ思フ、三十年間ニ依ツテ得タヤウナ馬デアラバ、其ノ日本ノ馬ヲ使ハナケレバ外ニ使ヒヤウガナイ、其ノ馬ニ適スルヤウ、何トカシテ更ニ裝備改善ヲ御工夫ナサレテハ如何カトサヘ私ハ考ヘタノデスケレドモ、ソレハ出來ナイカモ知レナイ、先刻森田君ガ、南支方面ニ於テハ輕種デモ大變役ニ立ツタ、私ハサウ思フ北支トカ滿洲トカ非常ニ極寒ノ所ナラ、防寒具トカ携帯品トカガ非常ニ重イ、之ニ對シテ南支ノ方ニ行クト、交通モ便利デアツテ、サウシテ裝備ガ幾ラカ輕快デス、負擔量モ少クナツテ居ル隨テ輕種デモ間ニ合フカモ知レマセヌ、殊ニコチラカラ參リマスノニ、徵發ヲシテ何ノ訓練モ經ナイデ、アノ暑サノ砌リニ馬ヲ何日カ汽車ヤ船ニ幽閉シテ、サウシテ向フノ不慣レナ所ニ馬ヲ上ゲテ、直チニ第一線ニ向ハセル、馬ヲ取扱フ人モ不慣レデアルシ、馬モ鍛鍊ヲ經テ居ラナイ、飼料、氣候モ違フ、ソレニ長ノ道中デ過勞シテ居ル、ソレヲ直チニ戰線ニ持つテ行ツテ不慣レナ劇務ニ服サセルト云フノデハ、馬ハ其ノ任ニ堪

ヘナイト想像スル、斯様ナ關係デアリマス
ルガ、偕テ日本ノ馬ハ是シカナイカラ、之
ニ對シテ何トカモウ少シ御工夫ヲナサレタ
ラドウカト云フ意味デアツタノデアリマ
ス、ソレガ機械デアリマスルナラバ、負擔
量デモ或ハ輓引力デモ、運轉力デモ、隨テ
機械ニ相當スル能力ハ出來ルノデアリマス
ガ、動物デアル以上遺憾ナガラ左様ニハ參
ラナカツタ、ソレガ此ノ支那事變ノ勃發ト
ナリマシテ、サウシテ折角立テラレマシタ
所ノ第二次馬政計畫ガ、茲ニ第三年ニ至ツ
テ非常ナ變化ヲシテ來タ、犧牲ヲ拂フノハ
誰カト云フト馬產者デアル、ソレ等ノ資料
ハ澤山持ツテ居リマス、其ノ需要ニ當嵌ラ
ヌカラ馬ノ値段ハ著シク安クナツテ來タト
云フコトニナツタノデアリマス、先刻兵務
局長ハ、是ハ不動ノ方針デアツテ、決シテ
變革ハナイト仰セラレタケレドモ、私共ハ
馬產家トシテ考ヘマス、マダソコニ一點
ノ疑問ヲ持ツノデアリマス、是ハ後刻技術
的ニ御尋シヨウト思ヒマス、大臣ニ御尋シ
マセヌガ、兎モ角左様ナ考ニ依ツテ此ノ馬
政計畫ガ立テラレテ居ルト云フコトニ付デ
ハ、ヤハリ馬政局トシテ、産業ノ支障ヲ輕
減スルト云フヤウナ程度デハ私ハイカスト
思フ、ヤハリ國防産業ノ並行主義ヲ以テ行

カナケレバナラス、隨テ馬ノ生産ノ獎勵計
畫或ハ飼育上ノ計畫、即チ軍ニ於キマシテ
モ是等ニ對スル關係ヲ考慮セラレテ、軍馬
ノ購買徴發ニモ非常ナ影響ガアルコトと思
フノデアリマスガ、是等ニ付キマシテ、農
林大臣トシテ唯兩建デアルト云フコトデア
ツテモ、實際ニソレガ現ハレテ參リマセヌケ
レバ、迷フノハ國民デアリ、苦シムノハ國
民デアリマス、隨テ折角國防上ヨリ要求セ
ラレルダケノ立派ナ馬ヲ出ス、ソレ等ノ頭
數ヲ充實スルト云フコトハ困難デアラウト
思フノデアリマス、是等ニ付テ御意見ヲ伺
ヒマス

○櫻内國務大臣 産業上ニ及ボス支障ナカ

ラシムル爲ト云フヤウナコトガ書イテアル
ガ、洵ニ是ハ消極的デ、産業上ニ重キヲ置
イテ居ナイヤウニ見エルガト云フ御話デア
リマスガ、是ハ産業上ニ於テ更ニ馬匹ヲ極
力増加スルト云フコトデハナクシテ、先ヅ
差當リハドウシテモ軍所要ノ軍馬ヲ供給ス
ルコトガ取敢ズ急デアル、急デアルケレド
モ、此ノ軍馬ノ供給ヲスル爲ニ、産業上ニ
差支ヲ起サユウナコトガアツテハイケナ
イ、斯ウ云フ意味合デアリマシテ、馬政調
査會等ニ於キマシテモ、政府當局ト致シマ
シテハ、馬政計畫ガ産業上ノ基礎ニ立脚シテ

居ルト云フコトハ當然デアツテ、計畫ニ特
ニ明示致サナクテモ、是ハ産業上ニ根據ヲ
置クト云フコトハ申スマデモナイノデアリ
マス、要ハ其ノ上ニ所謂軍馬ノ供給ヲ充タ
スト云フ意味合ヲ含ムノデアルト云フコト
ヲ、馬政調査會ニ於テモ當局カラ説明シタ
答デアリマス、即チ其ノ意味ニ於キマシテ、

産業上ニ支障ヲ起サズ、産業上ニ貢獻ヲス
ル、産業上ノ缺陷ヲ補フ、産業上必要ナ
ル馬匹ノ増加ヲ圖ルト云フコトハ當然ノコ
トニ考ヘマシテ、實際ニ於ケル所ノ軍馬ノ
目前ニ迫ツタ必要ヲ補ツテ行クト云フコト
ヲ附加ヘテ計畫ヲ立テタ、斯ウ云フ意味ニ
御解釋下サイマスレバ、即チ一面ニ於テ産
業上ニ貢獻スルト共ニ、一面ニ於テ軍馬ノ
供給ニ應ズル、斯ウ云フコトガ明ニナルト
思フノデアリマス、日本ノ軍馬ガ急ニ今回
ノ戰爭ニ於テ、軍馬ノ體格ヲ良クシナケレ
バナライ必要ニ迫ラレタト云フコトニ對
シテ、馬ノ計畫ハ三十年來ノ計畫デ今日マ
デ來タノヲ、茲ニ一朝ニシテ急ニサウ云フ
風ニ變革ノ出來ルモノデハナイト云フ風ナ
御考モオアリデアリマセウガ、ソレハ固ヨ
リ一遍ニ全體ノ馬ノ體質ヲ良クスルト云フ
コトハ困難デアリマスケレドモ、兎ニ角茲ニ
定ツタル馬政計畫ヲ立テテ、其ノ方針ニ於

テ進ミマスレバ、遠カラズ其ノ目的ヲ達ス
ルコトデアラウト、斯様ニ考ヘルノデアリ
マス、此ノ馬匹ノ増加、又馬匹ノ産業上ニ
於ケル所ノ任務ニ付テ、十分ニ其ノ責任ヲ
果サセルト云フコトニ付キマシテハ、勿論
十分努力致シタイト考ヘテ居ルノデアリマ
ス

○大石委員 折角御親切ナル御答辯デアリ

マスカラ、先ヅ已ムヲ得ナイ御答辯ト承ツ
テ置キマス、但シ大臣ノ御説明ニナツタヤ
ウニ、假令文章ヤ文句ガ斯様ニアリマシテ
モ、ヤハリハ國防産業併進主義ヲ以テ馬
政方針トシテ、當局ハ御進ミアランコトヲ
希フノデアリマス、軍ガ時局柄此ノ要望ヲ
セラレマシタノヲ容レルコトハ固ヨリデア
リマス、併シナガラ斯様ノ要望ヲ容レルト
致シマシテ、果シテ其ノ實行上下ウナルカ、
是ガ一番問題デアリマス、此ノ方針ダケハ
是レ以上御尋致シマシテモ、御答辯ガハツ
キリ出來ナイト思ヒマシテ是ハ止メマス
ガ、軍ノ要望スル馬ト云フモノハ、改メテ申
スマデモナク「アングロ・アラブ」ラ中心トシタ
馬、サウシテ低身廣軀、四肢強健、惡癖ナク、
負擔力、輓曳力ニ富ミ、乘御、使役ニ便ニ
シテト云フヤウナ意味合ノ馬デアリマス、
此ノ低身廣軀、四肢強健、負擔力、輓

曳力ニ富ンデ、且ツ粗食ニ耐エテ、飼養管理容易ニシテ惡癖ナク、悍威アル馬ト云フモノヲ作ラウト致シマスレバ、恐ラク是ハ一万頭ニ一頭モ此ノ理想ノ馬ハ生レナイと思フ、何万頭ニ或ハ一頭位斯ウ云フ名馬ガ出來ルカモ知レマセヌガ、サウ云フ馬ハ容易ニ出來ルモノデハアリマセヌ、併シ成ベク此ノ要望ニ近イ馬ヲ生産スルヤウニ努メナケレバナラス、努メルニハ第一ノ條件ハ、繰返シテモ申上ゲマシタガ、ドウモ日本内地ニ於キマシテハ北海道ガ其ノ一部理想ニ近イモノデアリマスケレドモ、其ノ他ノ馬產地ガ其ノ理想カラ遠ザカツテ居ルト云フノハ、所謂牧野、放牧地、採草地ヲ持ツテ居ラスト云フコトデアリマス、御示ノ牧野面積ヲ見マスルト、青森縣ハ一万四千百九十「ヘクタール」デアリマス、岩手縣ハ六万九千四十一「ヘクタール」、宮城縣ハタツタ六百六「ヘクタール」、斯様ナモノヲ持ツテ居リマスガ、此ノ牧野ノ開放ニ付キマシテ、屢、本會議竝ニ委員會ニ於テ、各委員カラ大臣ニ御尋ヲ致シマシタガ、大臣ハ結局只今森田君ニ御答辯ニナリマシタノガ幾ラカ立入ツタ御答辯ニナツテ居リマスケレドモ、營林上差支ノナイ程度ト云フコトニナツテ居ル、此ノ營林上差支ナキ程度

デ納マツテ戴イテハ困ル、モツト突込ンデ戴カナケレバナラス、國防上ノ要望ニ依ツテ、總テノ産業トハ申シマセヌガ、兎ニ角産業デモ何デモ犠牲ニシテヤツテ行カナケレバナラス此ノ時局柄デアリマス、國民ガ生命財産ヲ賭シテモ、總テ軍國ノ爲ニ陛下ノ爲ニ捧ゲナケレバナラス時代デアリマヘテ居リマセヌ、併シナガラ馬ヲ作ルノニ此ノ要望ヲ實現シヨウトスルナラバ、一體如何ナル生産技術ヲ以テ斯ウ云フ馬ガ出來マスカ、種牡馬ノ統制ヲ行ヒ、種牝馬ノ研究ヲシテ配合ヲシタカラト云ツテ、中々斯様ナ馬ガ續々出テ行クト云フコトニハナラナイと思ヒマス、ヤハリドウシテモ之ニハ牧野ガ直チニ來ル問題デアリマス、大臣幾度ノ御答辯ヲ伺ヒマシテモ、營林上差支ナイ程度トシカ言ハレナイ、ドノ程度ガ差支ガアツテ、ドノ程度ガ差支ガナイノカ、固ヨリ私共ハ知ラヌ所デアリマスガ、左様ナ姑息ノ程度デハ私共ハイカスト思フ、モツト大臣ノ一大御決意ヲ要望スル者デアリマス、森林收入ノ上ニ於テ多少ソコニ減少スルモノガアリマシテモ、森林收入ニ依ツテ減少スル國格ノ損失ヨリモ、此ノ馬ガ陸軍ノ要望ニ應ズルコトノ出來ナイモノガ出來

マシタナラバ、國家ノ損失其ノ幾十倍、幾百倍タルヲ論ズルコトハ出來ナイ、斯様ナ次第デアリマスカラ、營林上差支ガアツテモ或ル程度マデハ之ヲ開放シヨウ、或ル程度マデ之ヲ牧野ニ提供シヨウト云フ御考ヲ持ツテ戴カナケレバ、是ガ解決ハ出來ナイ、之ヲ私ハ御尋スルノデアリマス、北海道ニ於テハ日本ノ約四割何分ノ國有地ヲ持ツテ居リマス、此ノ北海道ニ於テ馬ガ澤山出來テ、北海道ノ馬ガ丈夫ダト云フノハ、何處ニ原因ガアルカ、少シモ手入ヲセズ、碌ニ種馬ヤ種牝馬ノ改良ヤ統制ガ行ハレテ居ラスノニ、何故丈夫デアアルカ、帝國牧場ガアルカラデアリマス、帝國牧場デハ、先般モ本會議申上ゲマシタ通り、國有林ガ自由ニ使ハシメラレテ居ルカラデアリマス、限定地トシテ貸下ヲ受ケル、或ハ拂下ヲ受ケルト云フ手續ナシニ、其ノ國有林ニ自由ニ馬ヲ放シ、自由ニ草ヲ食ハシテ居ル、所ガ其ノ草モ近來ハ大分ヤカマシクナリマシテ、閉出シヲ食ハントシテ居ルノデアリマス、所ガ東北六縣ニ至リマシテハ到處國有林ガアルノニ、其ノ國有林カラ悉ク閉出シヲ食ツテ居ル、私有林ガ少クテ國有林ノ多イ東北地方ガ日本屈指ノ馬產地デアリマス、此ノ地方ニ於テ放牧地ガ無クシテ、

採草地ガ無クシテ、何デ軍ノ要望スル馬ガ出來マセウカ、大臣ノ御答辯ハ、幾度承リマシテモ私ニハ到底満足ガ出來ナイノデアリマス、先ヅ以テ大臣ニ、御調査ガ何時済ムカ、何時開放セラレルカ、分リマセヌガ、明日カラデモ、今日カラデモ此ノ混牧ダケハ、山林局ノ役人ノ口癖ヲ排除シテ、直チニ御許シヲ下サルヤウニ御取計ヲ願ヒタイ、而シテ更ニ調査機關ヲ督勵シテ、最モ近キ將來ニ適當ナル牧野ヲ國防上ノ爲ニ是非開放スルヤウニ御取計ヲ願ヒタイ、之ニ付キマシテモツト突込ンダ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 大石君ノ熱心ナル希望ヲ付シテノ御質疑デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、先刻森田君ニ御答シタ同一ノ御答ヲ致スノ外ハナイノデアリマスケレドモ、更ニ附加ヘテ申上ゲマス、假ニ國有林ガ開放出來ナイト致シマシタ場合ニ於テ、サウ云フ場合ガアツタト致シマシテモ、此ノ馬政計畫ヲ遂行スル上ニハ、或ハ民有林ヲ買ツテデモヤラナケレバナラス程、私ハ必要ヲ認メテ居リマス、隨テ所謂營林行政ノ上ニ於テ、即チ治山治水ノ關係モアリマスガ、色々ノ關係モ考慮致シマシテ、速ニ此ノ問題ニ對シテノ解決ヲ致シタイト私ハ

考ヘテ居リマス、唯茲ニ申上ゲテ置キタイノハ、兎ニ角此ノ馬政計畫ノ遂行ニ付キマシテハ、ドウシテモ遂行シヨウト云フ意氣込ヲ以テ進シテ居ルノデアリマシテ、隨ヒマシテ東北六縣ノ如キ國有林野ノ多イ所ニ於テ、開放地ガ無イトハ私ハ認メマセヌ、故ニ私ハ現在アリマス所ノ審議會ニ一日モ速ニ牧野整理ト云フ問題ニ對スル成案ヲ求メマシテ、而シテ相當ナ方法ヲ立テテ、若シ山林行政ノ上ニ於テ差支ノナイ所ガアリマスレバ、速ニ之ニ開放ノ途ヲ講ジタイト思ツテ居リマス、只今ノ御質問ニ對シテハソレ以上ノ御答ハ出來マセヌ

○大石委員 諄イヤウデアリマスガ、是ハ新馬政計畫ノ上ニ於テ重大ナ問題デアリマス、只今ノ開放スルト云フコトニ付キマシテノ御處置ハ、只今ノ御答辯以上ニ承ルコトガ出來ナケレバ、ソレデ致シ方ハゴザイマセヌガ、唯、今申上ゲマシタノハ、直チニ實行ノ出來ルノハ所謂混牧デアリマス、此ノ混牧ヲ實行スルコトノ御考ヲ一ツ立テテ戴キタイト云フコトデアル、混牧ハ山林局ニ於キマシテ大體調査ガ附イテ居ルト思ヒマス、若シ混牧ヲ許サレト致シマスナラバ、今ノ國有林ヲ其ノ儘、立木ノアル地方ニモ馬ヲ放チ或ハ草ヲ刈ラシメルコトガ出來得

ルト思フ、ソレヲ差當ツテ先ヅ以テ行ウテ戴キタイ、斯ウ云フ希望デアリマスガ、ソレハ如何デアリマスカ

○櫻内國務大臣 只今ノ大石君ノ御註文ノ點ニ付キマシテハ、早速取調ベテ、出來得ルダケ御趣意ニ副ヒタイト思ヒマス

○中野委員 第一ニ是ハ東北ニ取ツテハ全ク重大ナ問題デアリマス、ソレデ放牧地ガアリマシテモ、直グ此處ニ眼ノ前ニ國有林ガアルノニ、馬ハ本當ニ狹イ所デ氣ノ毒ナ飼育ヲシテ居ルノデアリマス、十分ニ跳ネ廻リ、十分ニ物ヲ食ハナケレバ良イ馬ハ一向出來ナイノデアリマスカラ、是ハ本會議デモ申上ゲマシタガ、此ノ議會ガ濟ミマシテモ、ドウゾ陸軍省ヲ保證人ニ立テテ、必ズ實行シテ戴キタイ、議會ガ濟ムトオ役人様ハドウモ送ルノガ多イ、櫻内農林大臣閣下ノ統督サレルオ役人ニハ、サウ云フ人ハ一人モ居ナイト思ヒマスガ、議會ガ濟ムトドウモ逃ゲテ歩ク、是ハ私一人ノ意見デハナイノデアリマシテ、委員全體ノ意見ヲ今大石君ガ言ツタリ、森田君ガ言ツタノデスカラ、ドウカーツ議會ガ濟ンデモ此ノ事ハ陸軍省ガ保證人ニナツテヤツテ戴キタイ、サウデナイト碌ナ馬ハ出來ナイノデアリマス、是ダケ大臣ニ固ク御願致シテ置キマス

○東委員長 今日ハ午前午後ヲ通ジテ大分勉強シマシタカラ、今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開キマス

午後五時十分散會